

高岡市民アンケート調査 報告書

令和8年6月

目次

第1章 調査の概要

1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回答の結果	1
4. 調査結果の見方	1

第2章 調査結果

F1～F11 回答者の概要	2
問1 高岡市の住みよさ	19
問2 高岡市の良さ	31
問3 高岡市での居住	37
問4 めざすまちの姿	40
問5 人口減少社会のまちづくり	58
問6 若者・女性に選ばれるまちづくり	63
問7 子育てに関するまちづくり	69
問8 地域コミュニティについて	75
問9 デジタル化について	79

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本アンケートは、令和9年度を始期とする高岡市総合計画の策定を進めるにあたり、市政全般に対する市民の満足度等を把握するとともに、現在の市民の関心や期待、意見等を的確に把握することで、現在の市民の関心や期待、意見等を的確に把握し、今後必要とされる施策や事業等を検討するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査方法

- ・調査対象者：高岡市に住民票がある18歳以上の方、5,000人
- ・調査期間：令和8年1月21日～2月10日
- ・配布方法：郵送による配布
- ・回収方法：郵送返送、インターネットによる回答

3. 回答の結果

- ・回答者数：2,334人（回収率46.7%）

4. 調査結果の見方

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。このため、百分率の合計が「100.0」にならない場合がある。
- ・複数回答の場合は、比率の合計が100.0%を上回る。
- ・無回答は「回答していないもの」、「判読不明」を表す。
- ・図表中の「n (number of case)」は、有効回答数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表している。
- ・クロス集計分析結果表の色付きのマスは各項目の第1位の選択肢である。
- ・グラフ中で経年比較を行っている設問は、令和2年10月に実施された「高岡市民アンケート調査」の結果との比較を行っている。
- ・一部グラフ、表において、回答の選択肢表記を簡略化している。

第2章 調査結果

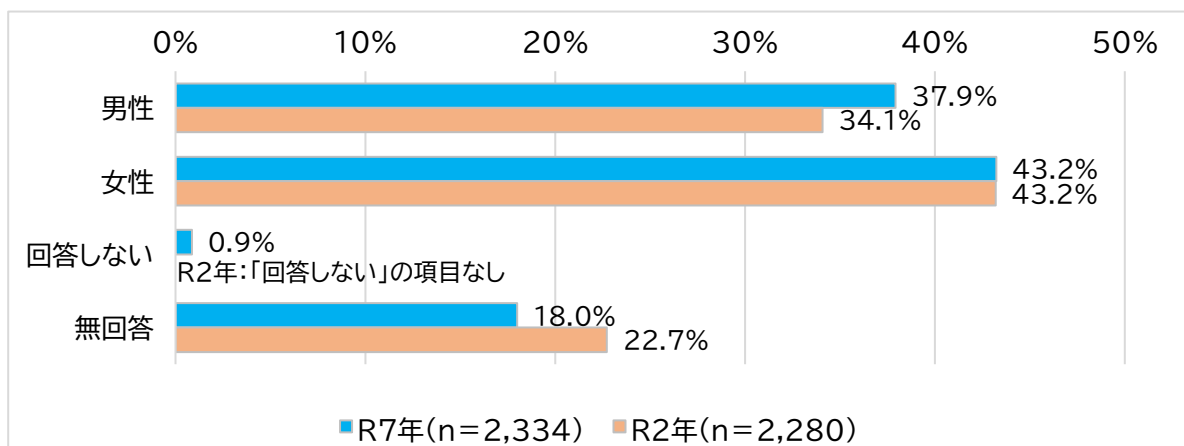
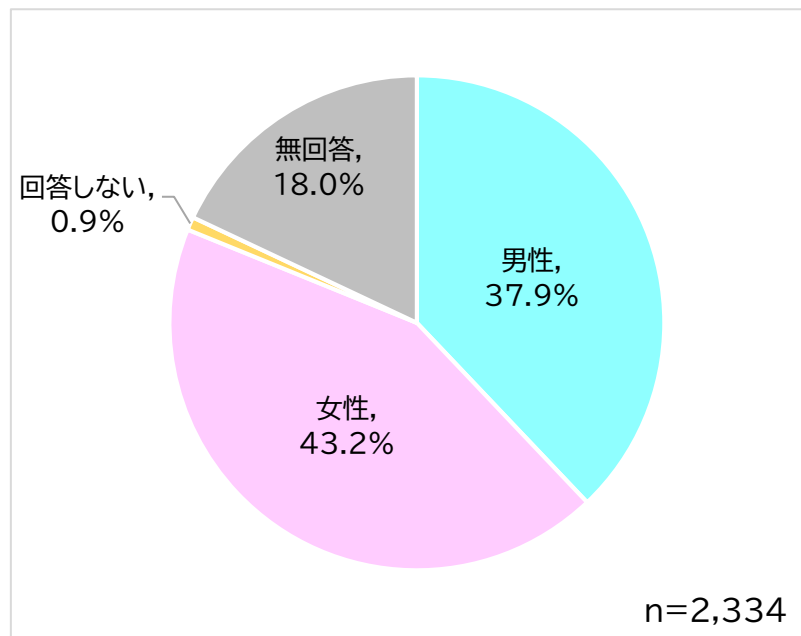
F1～F11：回答者の概要

● あなたご自身のことについてお伺いします。

該当する番号それぞれ1つに○印をつけてください。

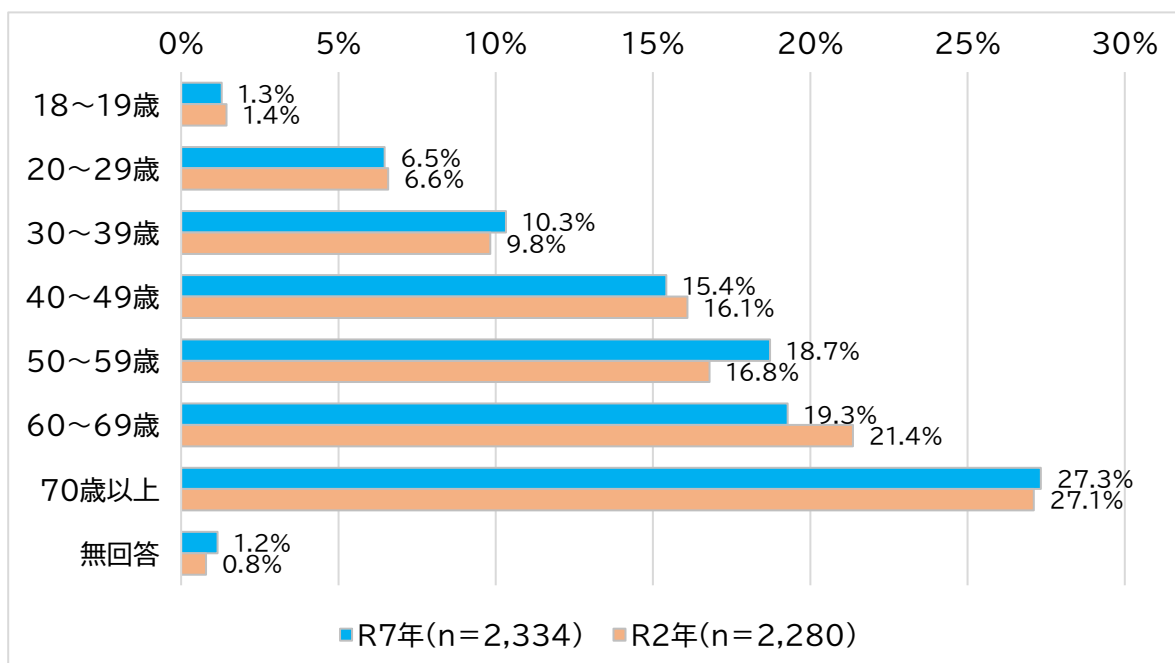
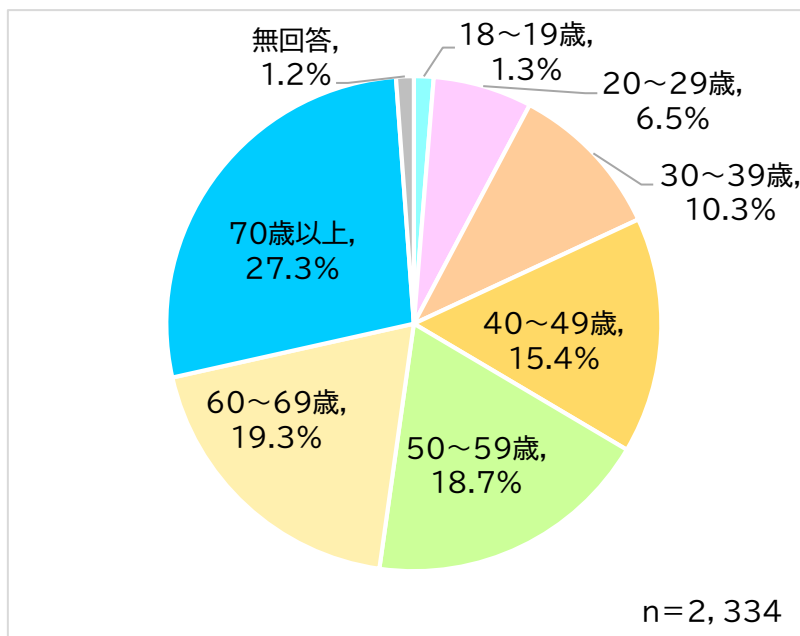
1. 性別

回答者の性別は、「男性」が37.9%、「女性」が43.2%、「回答しない」が0.9%、無回答が18.0%となっている。回答者の構成は、前回調査結果と概ね同様である。



2. 年齢

年齢は、「70歳以上」が27.3%と最も多く、次いで「60～69歳」が19.3%、「50～59歳」が18.7%となっている。回答者の構成は、前回調査結果と概ね同様である。



■参考資料■

高岡市の年齢別人口は、以下の表に示すとおりであり、今回のアンケート調査結果の年齢別の回答割合は、本市の人口構成の割合と概ね同じ傾向となっている。

【今回】

年齢	人口(人)	割合	回答者割合
18～19 歳	2,635	1.6%	1.3%
20～29 歳	14,589	9.0%	6.5%
30～39 歳	14,957	9.3%	10.3%
40～49 歳	19,760	12.2%	15.4%
50～59 歳	24,477	15.2%	18.7%
60～69 歳	19,771	12.2%	19.3%
70 歳以上	45,109	27.9%	27.3%
無回答	－	－	1.2%
合計	161,491	100.0%	100.0%

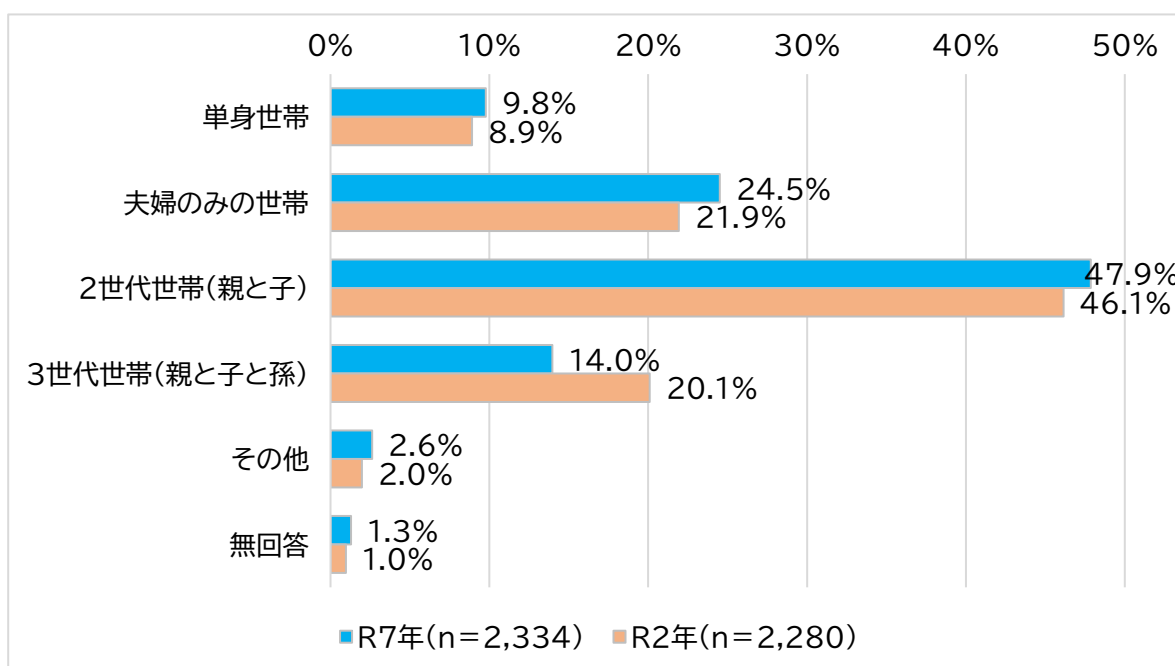
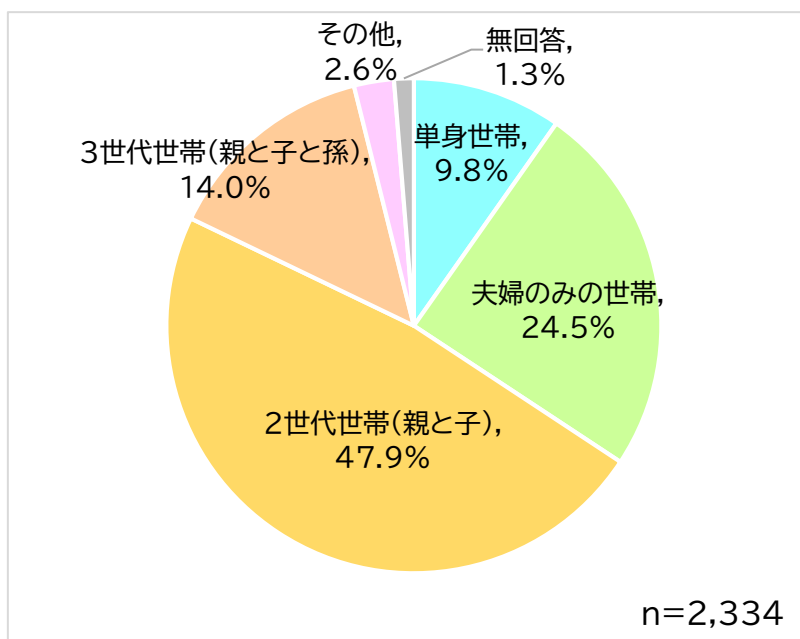
【前回】

年齢	人口(人)	割合	回答者割合
18～19 歳	2,978	2.0%	1.4%
20～29 歳	15,113	10.3%	6.6%
30～39 歳	16,699	11.4%	9.8%
40～49 歳	24,081	16.4%	16.1%
50～59 歳	21,472	14.6%	16.8%
60～69 歳	21,619	14.7%	21.4%
70 歳以上	44,832	30.5%	27.1%
無回答	－	－	0.8%
合計	146,794	100.0%	100.0%

出典:住民基本台帳(上段:令和 7 年 9 月末、下段:令和 2 年 9 月末時点)

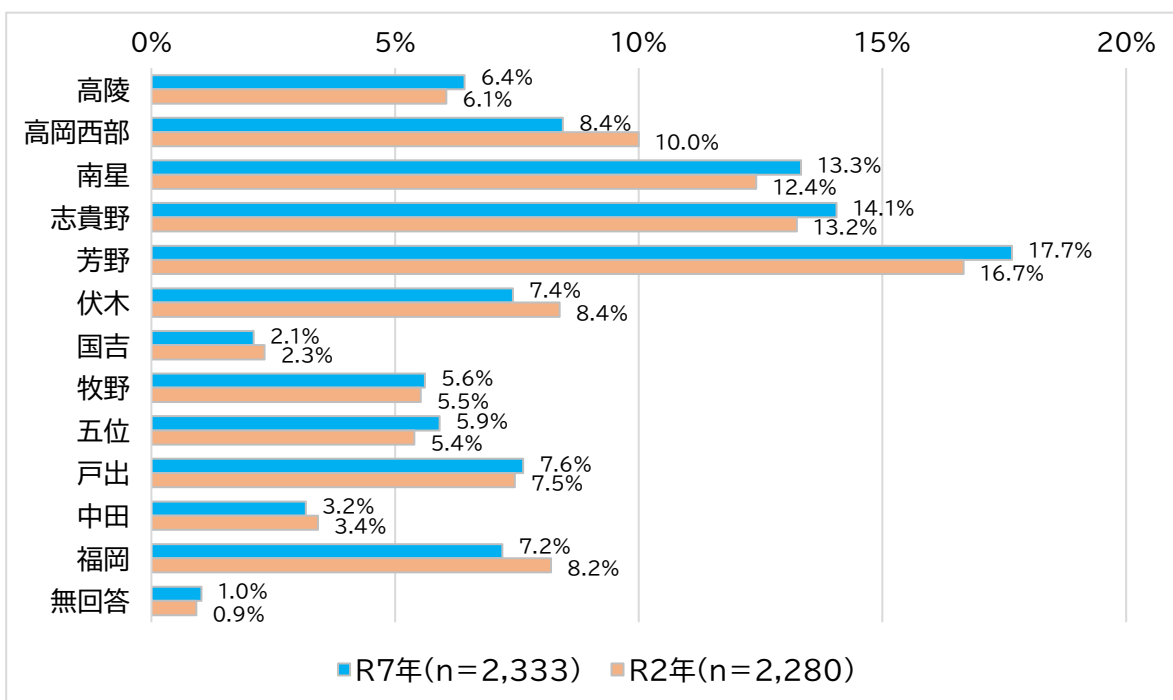
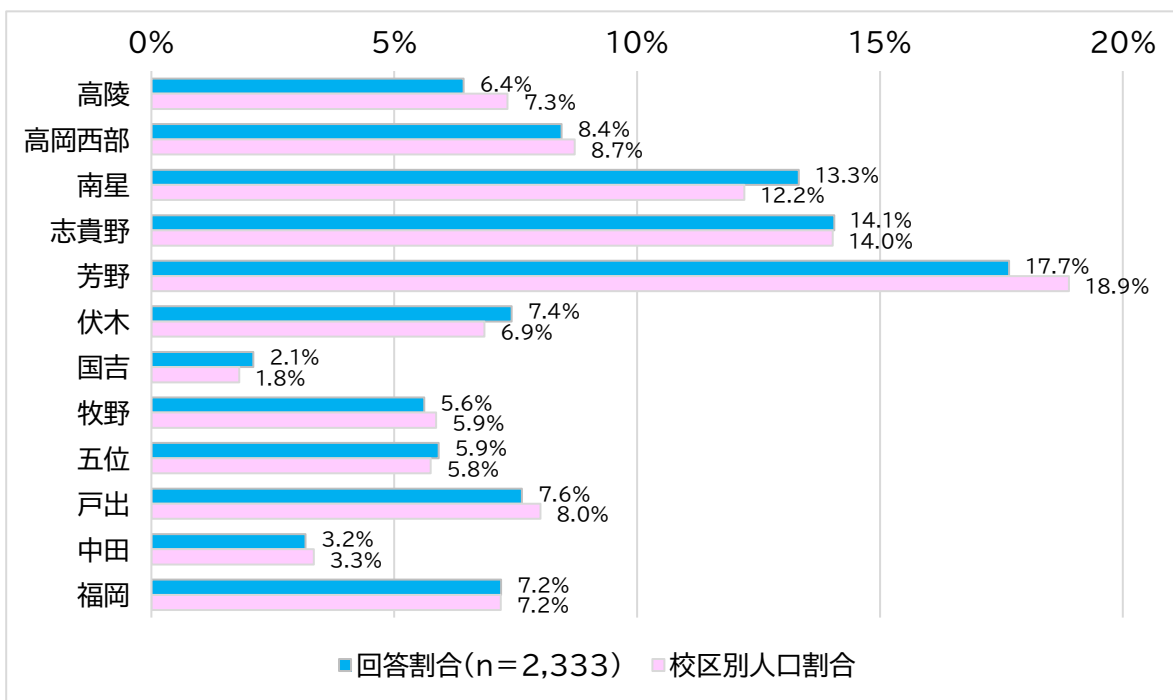
3. 家族構成

家族構成は「2世代世帯（親と子）」が47.9%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が24.5%、「3世代世帯（親と子と孫）」が14.0%となっている。前回調査結果と比較すると、「3世代世帯（親と子と孫）」が減少し、それ以外の世帯がそれぞれ微増していることから、核家族化が進んでいることが推測される。



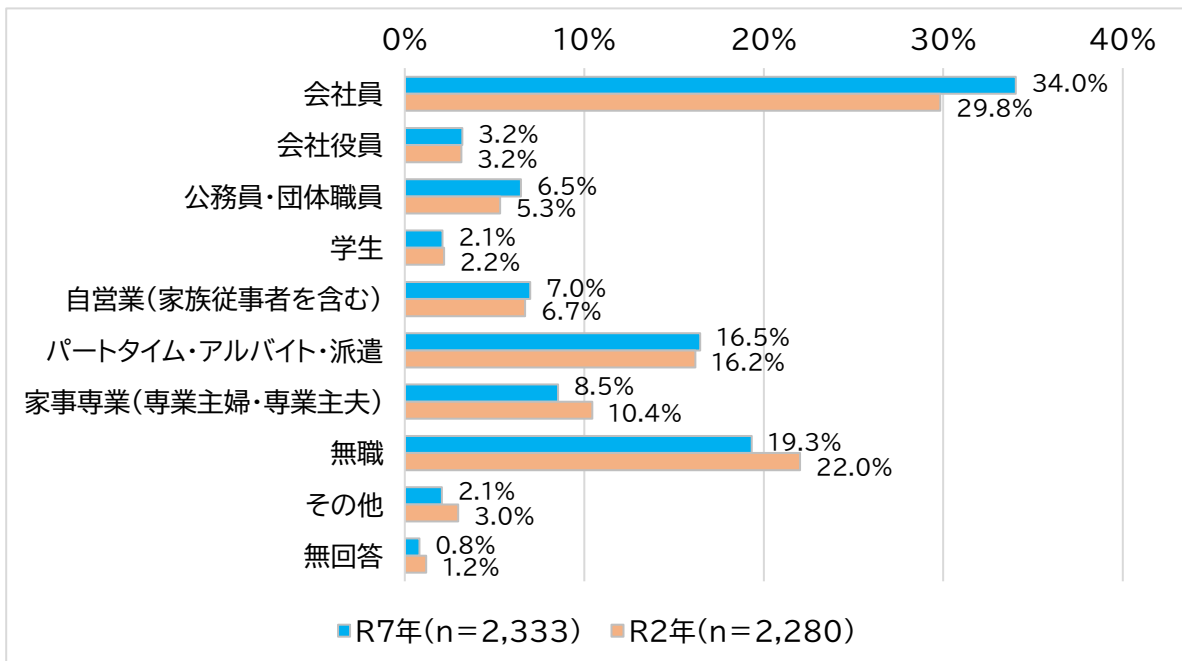
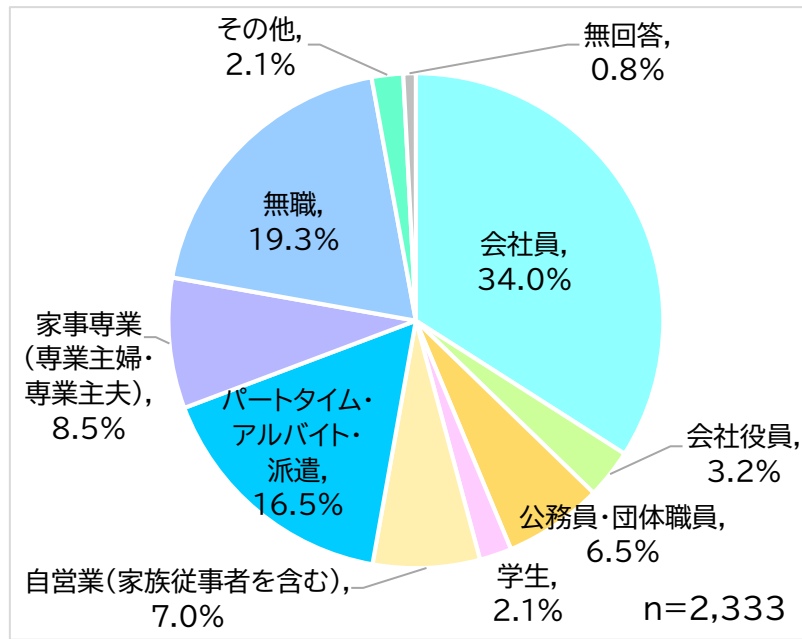
4. 居住地域

居住地域は、「芳野校区」が 17.7%と最も多く、次いで「志貴野校区」が 14.1%、「南星校区」が 13.3%となっている。一方、回答者が少ない地域は、「国吉校区」2.1%、「中田校区」3.2%となっているが、各人口比率と概ね近い数値となっている。また、前回調査と比較しても概ね同様である。



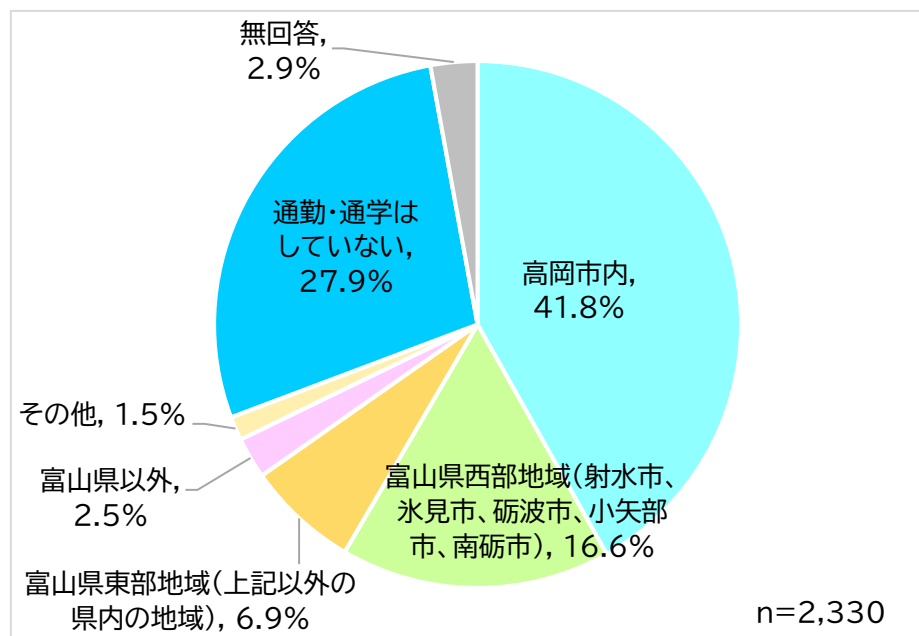
5. 職業

職業は、「会社員」が 34.0%と最も多く、次いで「無職」が 19.3%、「パートタイム・アルバイト・派遣」が 16.5%となっている。回答者の構成は、前回調査結果と概ね同様である。



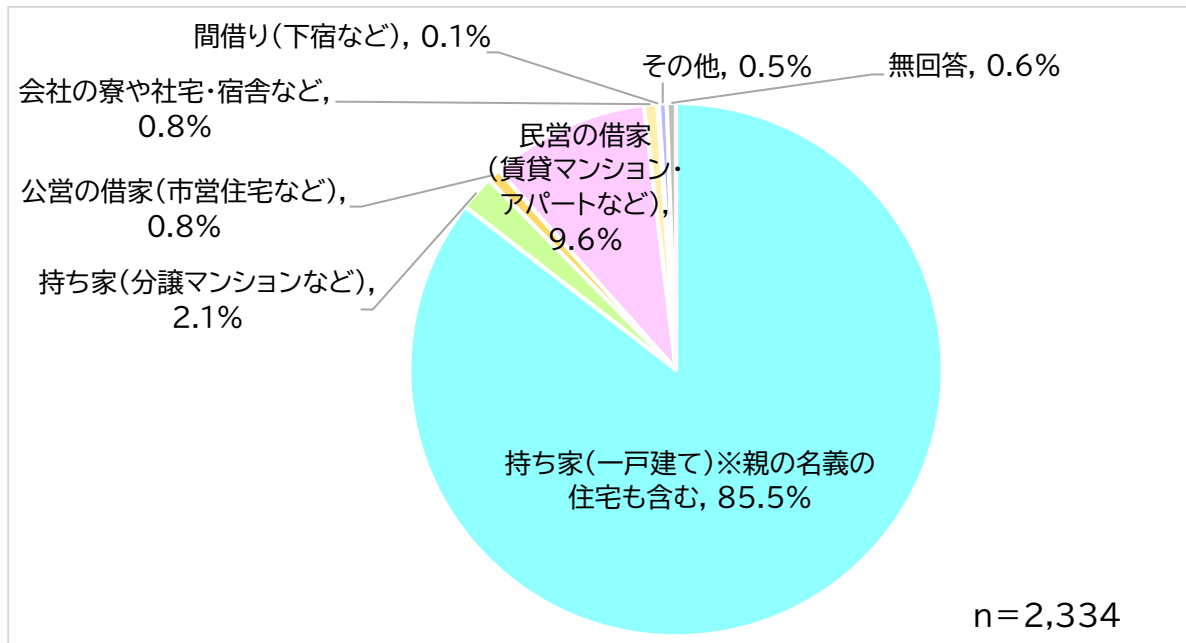
6. 通勤・通学先

通勤・通学先は「高岡市内」が41.8%と最も多く、次いで「通勤・通学はしていない」が27.9%、「富山県西部地域（射水市、氷見市、砺波市、小矢部市、南砺市）」が16.6%、「富山県東部地域（上記以外の県内の地域）」が6.9%となっている。



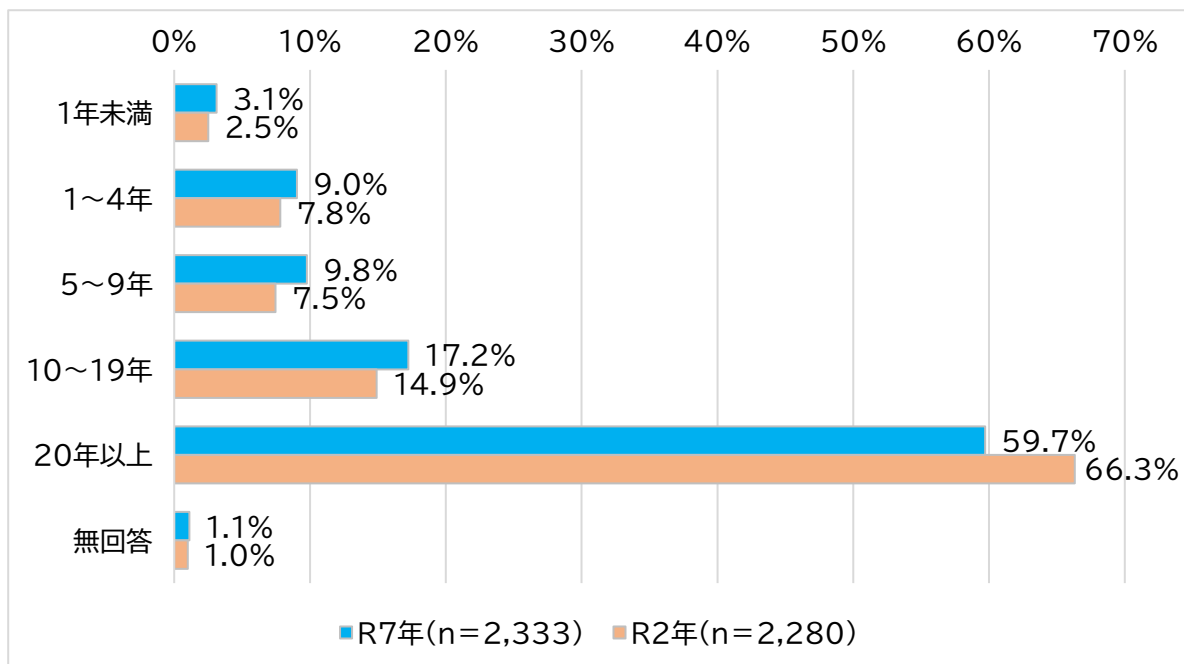
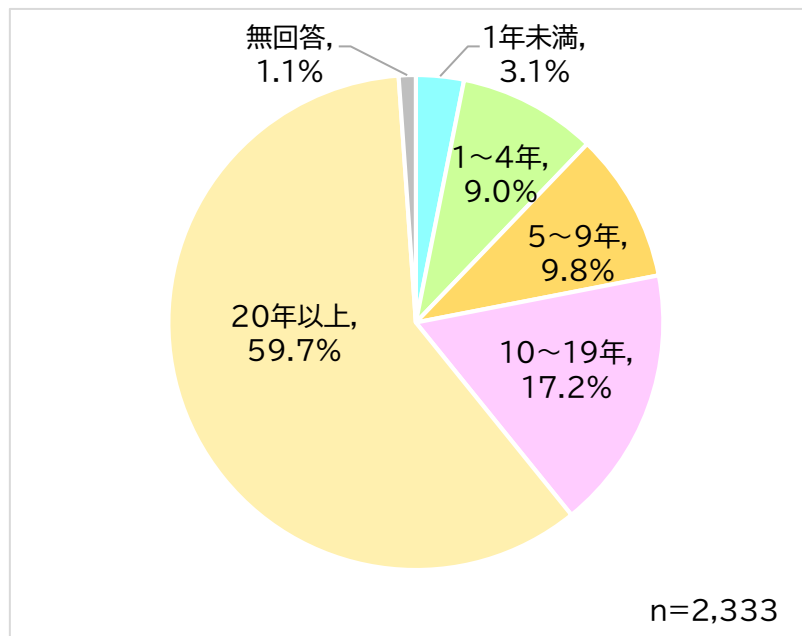
7. 住まいの形態

住まいの形態は「持ち家（一戸建て）※親の名義の住宅も含む」が 85.5%と最も多く、次いで「民営の借家（賃貸マンション・アパートなど）」が 9.6%、「持ち家（分譲マンションなど）」が 2.1%となっている。



8. 現住所に住んでいる年数

現住所に住んでいる年数は「20年以上」が59.7%と最も多く、次いで「10～19年」が17.2%、「5～9年」が9.8%となっている。前回調査結果と比較すると、「20年以上」が減少している。

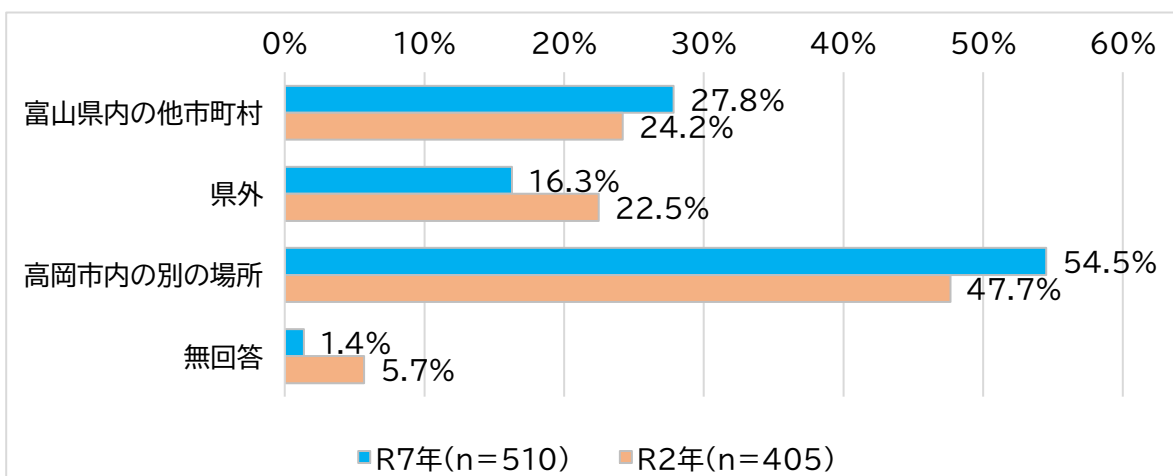
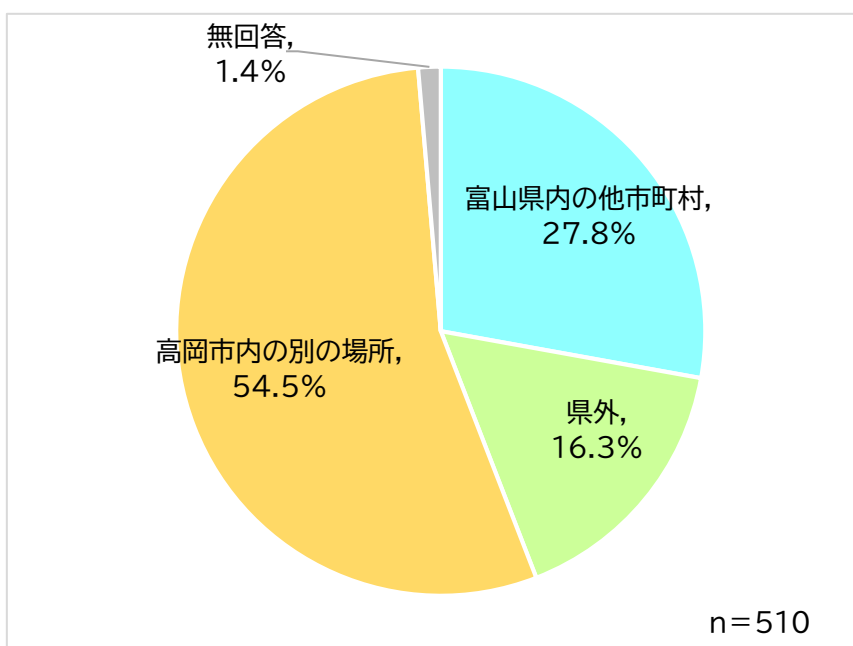


● **現住所の居住年数が10年未満の方にお伺いします。**

9. 以前のお住まいはどちらでしたか。

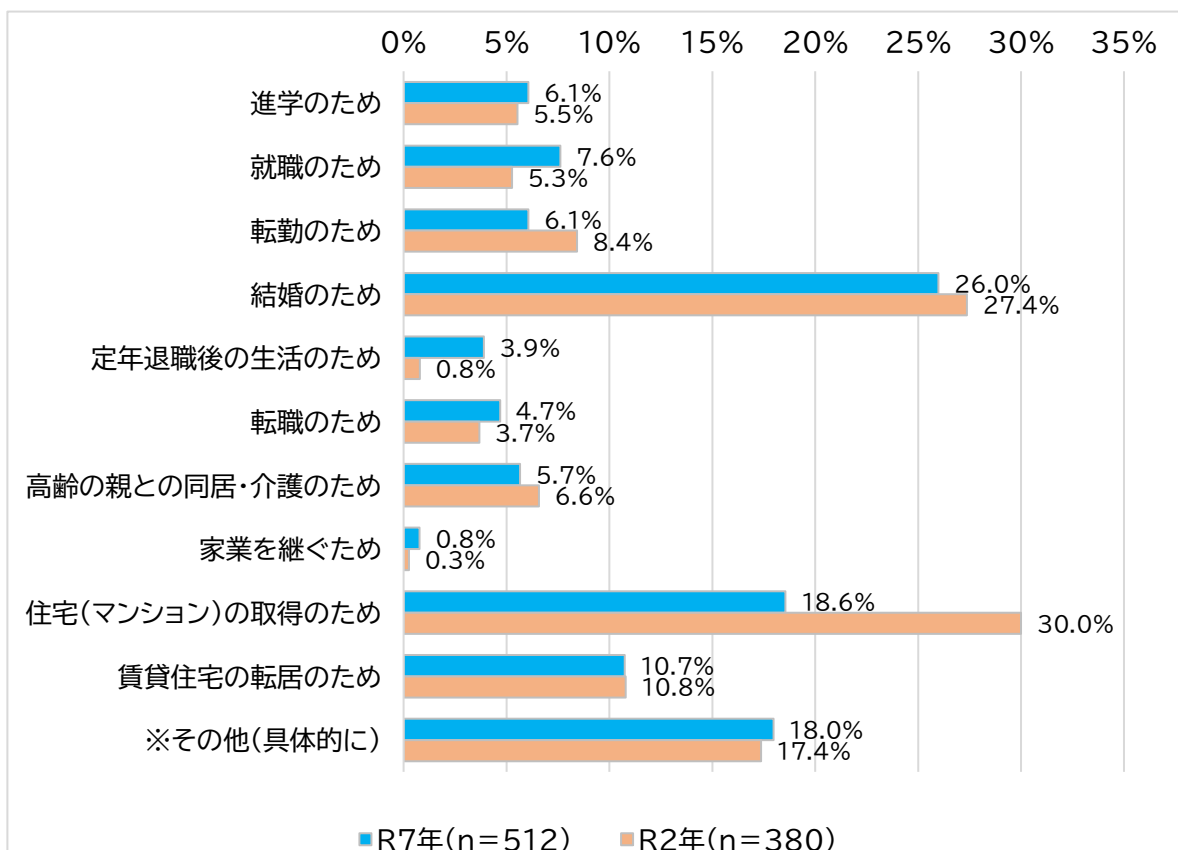
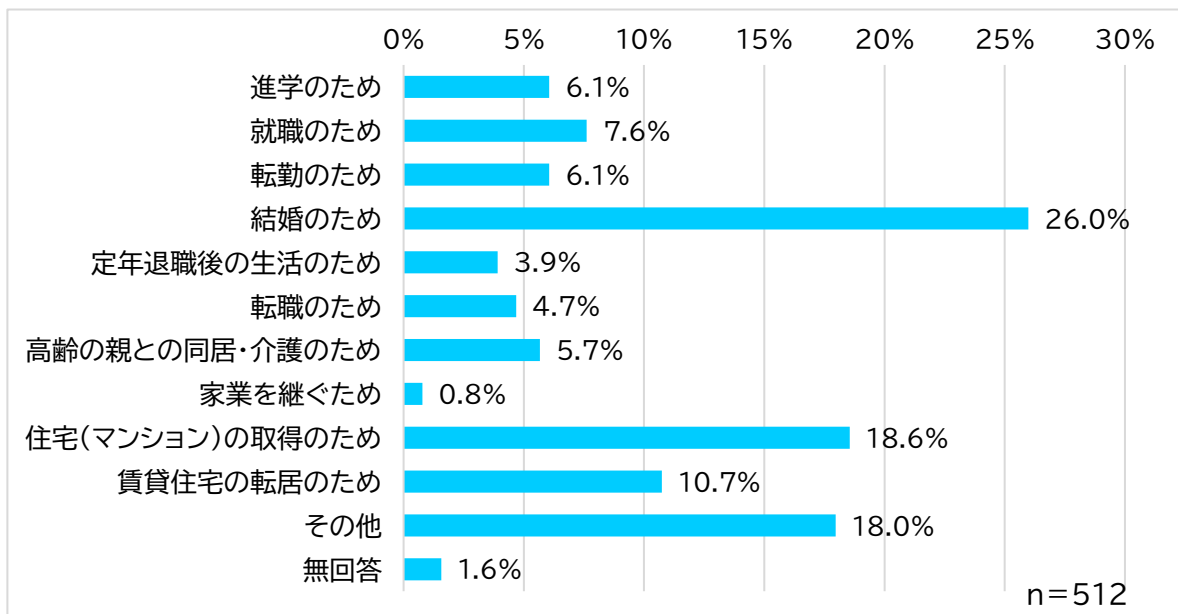
あてはまるところを1つだけ選んでください。

高岡市での居住年数が10年未満の回答者の転居前の居住地は、「高岡市内の別の場所」が54.5%と最も多く、次いで「富山県内の他市町村」が27.8%、「県外」が16.3%となっている。前回調査結果と比較すると、「高岡市内の別の場所」からが増加し、「県外」からが減少している。



10. 現住所地にお住まいになられたきっかけはどのようなものでしたか。
 次のうちからあてはまるものをすべて選んでください。

高岡市での居住年数が10年未満の回答者の転居のきっかけは「結婚のため」が26.0%と最も多く、次いで「住宅（マンション）の取得のため」が18.6%となっている。前回調査結果と比較すると、「住宅（マンション）の取得のため」が著しく減少している。



10. 住まいのきっかけ×性別

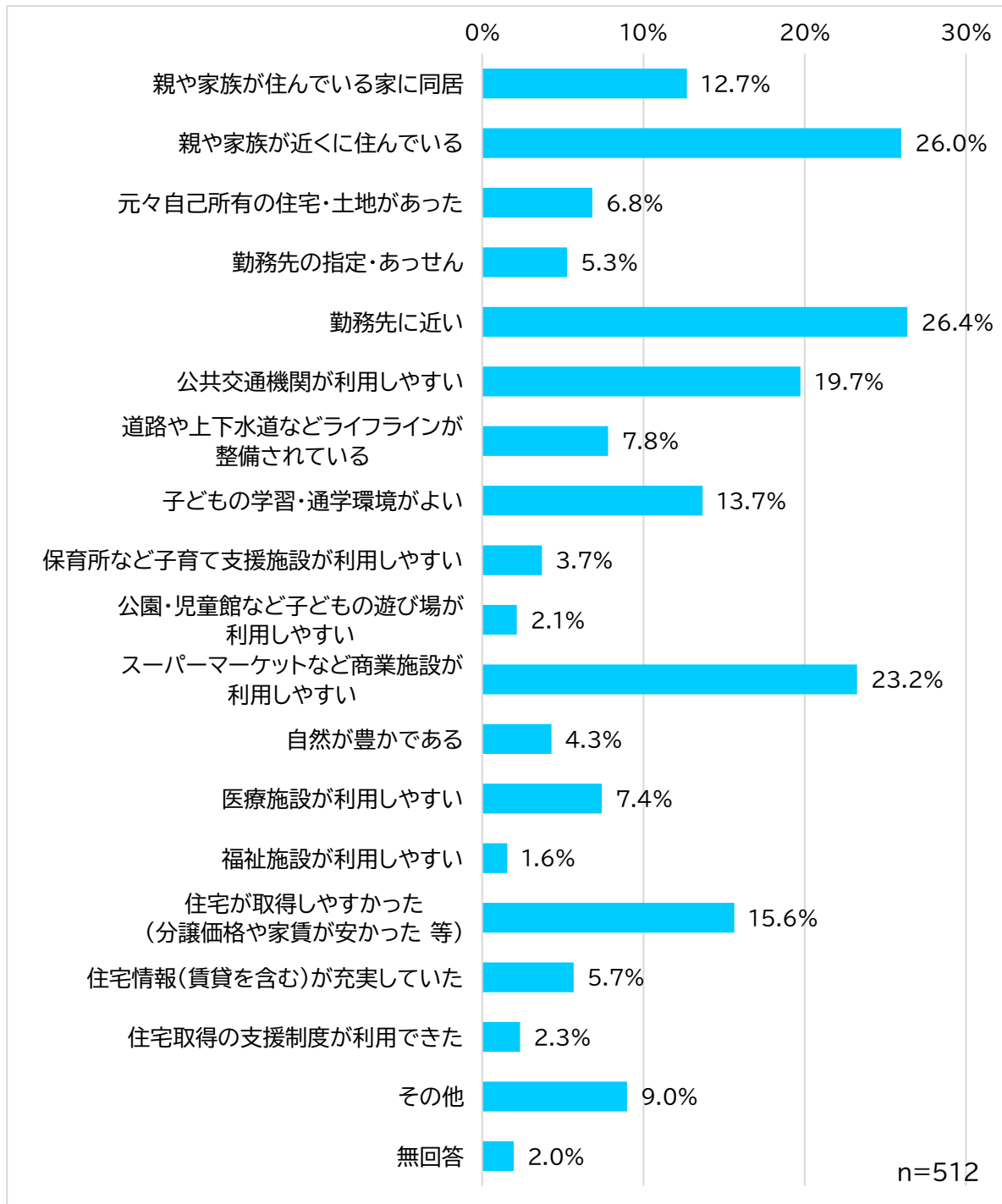
性別で見ると、男性、女性とも「結婚のため」が最も多く、男性が 22.6%、女性が 28.6%となっている。

単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
		進学のため	就職のため	転勤のため	結婚のため	定年退職後の生活のため	転職のため	高齢の親との同居・介護のため	家業を継ぐため	住宅（マンション）の取得のため	賃貸住宅の転居のため	その他
合計	512	6.1	7.6	6.1	26.0	3.9	4.7	5.7	0.8	18.6	10.7	18.0
1 男性	212	5.2	9.9	9.4	22.6	4.2	4.7	5.2	0.5	15.6	12.3	19.3
2 女性	231	6.9	6.9	3.5	28.6	3.5	4.8	4.8	0.4	21.6	10.4	16.5
3 回答しない	5	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0

11. 現住所地の場所を選択された理由はどのようなことでしたか。

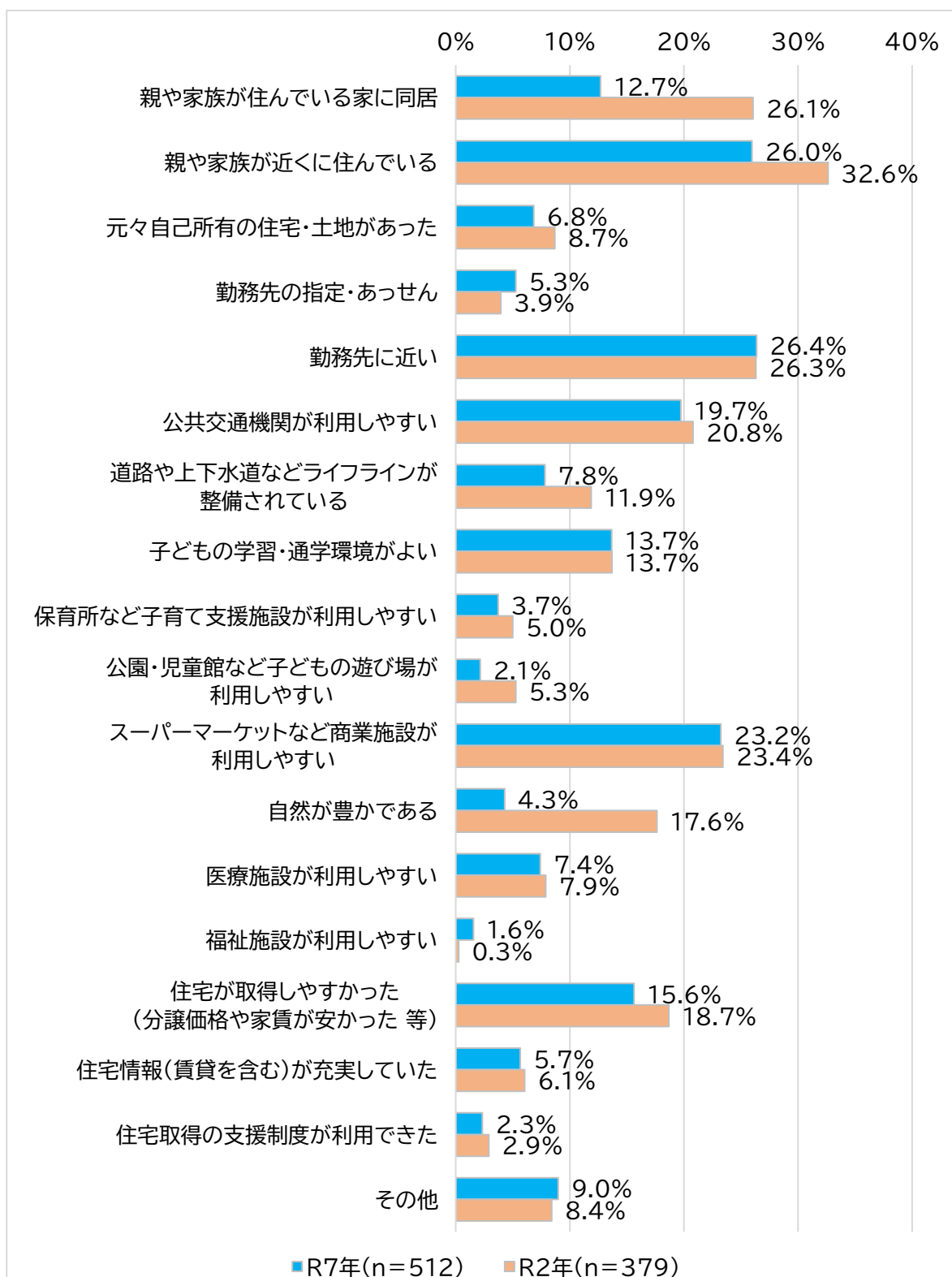
次のうちからあてはまるものをすべて選んでください。

高岡市での居住年数が10年未満の回答者が現住所地を選択された理由は「勤務先に近い」が26.4%と最も多く、次いで「親や家族が近くに住んでいる」が26.0%、「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が23.2%となっている。



11. 住まいの場所の選択理由（つづき）

前回調査と比較すると、「親や家族が住んでいる家に同居」、「親や家族が近くに住んでいる」、「自然が豊かである」が減少しており、特に「親や家族が住んでいる家に同居」、「自然が豊かである」の減少が著しい。



11. 住まいの場所の選択理由×年齢別、家族構成別

年齢別にみると、10代は「親や家族が住んでいる家に同居」、「子どもの学習・通学環境がよい」が最も多く37.5%、20～30代、60代では「勤務先に近い」が最も多い（20代：40.8%、30代：33.1%、60代：20.0%）。また、60代ではこれに加えて「住宅が取得しやすかった（分譲価格や家賃が安かった等）」も最も多い。40代では「親や家族が近く住んでいる」が最も多く38.2%、50代、70歳以上では「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が最も多い（50代：28.0%、70歳以上：30.3%）。また、市全体の傾向と比べ20代で「勤務先に近い」、「勤務先の指定・あっせん」が著しく多いことから、20代の転居者は就職による転居が多いことが推測される。また、70歳以上で「医療施設が利用しやすい」が著しく多い一方、10代で「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」、50代、70歳以上で「勤務先に近い」、10代、60代以上で「親や家族が近くに住んでいる」、70歳以上で「子どもの学習・通学環境がよい」が著しく少ない。

家族構成別にみると、単身世帯、夫婦のみの世帯では「勤務先に近い」が最も多く（単身世帯：32.6%、夫婦のみ世帯：34.0%）、2世代世帯では「親や家族が近く住んでいる」が最も多く33.7%、3世代世帯では「親や家族が住んでいる家に同居」が最も多い（3世代世帯：63.0%）。また、市全体の傾向と比べ単身世帯で「親や家族が近く住んでいる」が著しく少ないことから、多くの単身世帯が近居しない傾向がうかがえる。また、市全体の傾向と比べ3世代世帯で「親や家族が住んでいる家に同居」が著しく多い一方、「親や家族が近くに住んでいる」、「公共交通機関が利用しやすい」、「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が著しく少ない。

単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		親や家族が住んでいる家に同居	親や家族が近くに住んでいる	元々自己所有の住宅・土地があった	勤務先の指定・あっせん	勤務先に近い	公共交通機関が利用しやすい	整備されている	道路や上下水道などライフラインが	子どもの学習・通学環境がよい	子育て支援施設が利用しやすい	公園・児童館など子どもの遊び場が利用しやすい	スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい	自然が豊かである	医療施設が利用しやすい	福祉施設が利用しやすい	住宅が取得しやすかった（分譲価格や家賃が安かった等）	住宅情報（賃貸を含む）が充実していた	住宅取得の支援制度が利用できた	その他
合計	512	12.7	26.0	6.8	5.3	26.4	19.7	7.8	13.7	3.7	2.1	23.2	4.3	7.4	1.6	15.6	5.7	2.3	9.0	
年齢別	18～19歳	8	37.5	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	37.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	76	15.8	19.7	5.3	15.8	40.8	15.8	7.9	5.3	1.3	0.0	19.7	2.6	2.6	11.8	5.3	3.9	6.6	
	30～39歳	145	11.7	31.7	8.3	2.8	33.1	22.8	9.7	15.2	5.5	5.5	24.1	2.1	5.5	0.7	13.8	6.9	2.8	6.9
	40～49歳	123	10.6	38.2	4.9	4.9	25.2	14.6	5.7	22.8	4.9	0.8	22.0	5.7	7.3	1.6	15.4	3.3	1.6	8.9
	50～59歳	75	14.7	17.3	4.0	2.7	14.7	26.7	2.7	12.0	5.3	1.3	28.0	8.0	6.7	2.7	20.0	9.3	2.7	6.7
	60～69歳	50	10.0	12.0	10.0	6.0	20.0	16.0	12.0	6.0	0.0	2.0	16.0	8.0	8.0	2.0	20.0	2.0	2.0	18.0
	70歳以上	33	12.1	12.1	12.1	0.0	9.1	24.2	12.1	3.0	0.0	0.0	30.3	0.0	24.2	0.0	15.2	9.1	0.0	15.2
家族構成別	単身世帯	95	6.3	13.7	1.1	11.6	32.6	16.8	8.4	0.0	0.0	20.0	3.2	3.2	2.1	12.6	9.5	1.1	13.7	
	夫婦のみの世帯	106	4.7	24.5	6.6	4.7	34.0	20.8	12.3	4.7	0.9	25.5	5.7	13.2	1.9	15.1	12.3	3.8	11.3	
	2世代世帯	264	12.1	33.7	8.0	3.4	23.5	22.3	6.8	23.1	6.8	3.8	25.0	4.2	6.1	0.8	17.8	2.7	2.7	6.4
	3世代世帯	27	63.0	14.8	14.8	0.0	18.5	3.7	3.7	11.1	0.0	0.0	11.1	3.7	11.1	3.7	7.4	0.0	0.0	0.0
	その他	18	22.2	0.0	5.6	11.1	5.6	11.1	0.0	5.6	0.0	0.0	16.7	5.6	5.6	5.6	16.7	0.0	0.0	22.2

11. 住まいの場所の選択理由×居住地域別

居住地域別にみると、高陵校区、五位校区では「子どもの学習・通学環境がよい」が最も多く（高陵：33.3%、五位：28.6%）、高岡西部校区、戸出校区、福岡校区では「勤務先に近い」が最も多く（高岡西部：39.4%、戸出：33.3%、福岡：57.7%）、志貴野校区では「公共交通機関が利用しやすい」が最も多く28.8%、南星校区、芳野校区、牧野校区では「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が最も多く（南星：35.9%、芳野：27.6%、牧野；28.0%）、伏木校区、国吉校区、中田校区では「親や家族が住んでいる家に同居」が最も多い（伏木：30.8%、国吉：36.4%、中田：35.7%）。

牧野校区では並んで「親や家族が近くに住んでいる」も最も多く、五位校区では並んで「親や家族が近くに住んでいる」、「公共交通機関が利用しやすい」、「住宅が取得しやすかった（分譲価格や家賃が安かった等）」も最も多い。

また、市全体の傾向と比べ「親や家族が住んでいる家に同居」が伏木校区、国吉校区、中田校区で、「元々自己所有の住宅・土地があった」が国吉校区、牧野校区で著しく多い。「勤務先に近い」が高岡西部校区、福岡校区で、「公共交通機関が利用しやすい」が南星校区で、「子どもの学習・通学環境がよい」が高陵校区、五位校区で、「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が南星校区で著しく多い。「自然が豊かである」が国吉校区、中田校区、福岡校区で、「住宅が取得しやすかった（分譲価格や家賃が安かった等）」が五位校区、戸出校区で著しく多い。一方、「勤務先に近い」が中田校区で、「公共交通機関が利用しやすい」が伏木校区、牧野校区で、「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が伏木校区、中田校区で著しく少ない。

単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		親や家族が住んでいる家に同居	親や家族が近くに住んでいる	元々自己所有の住宅・土地があった	勤務先の指定・あつせん	勤務先に近い	公共交通機関が利用しやすい	整備されている	道路や上下水道などライフラインが	子どもの学習・通学環境がよい	やすい	保育所など子育て支援施設が利用し	公園・児童館など子どもの遊び場が	利用しやすい	自然が豊かである	医療施設が利用しやすい	福祉施設が利用しやすい	や家族が安かった等	住宅が取得しやすかった（分譲価格	住宅情報（賃貸を含む）が充実して
合計	512	12.7	26.0	6.8	5.3	26.4	19.7	7.8	13.7	3.7	2.1	23.2	4.3	7.4	1.6	15.6	5.7	2.3	9.0	
高陵	45	11.1	31.1	8.9	4.4	22.2	28.9	8.9	33.3	6.7	8.9	26.7	6.7	15.6	0.0	13.3	11.1	4.4	8.9	
高岡西部	33	12.1	21.2	9.1	9.1	39.4	12.1	12.1	9.1	3.0	0.0	21.2	3.0	9.1	0.0	18.2	9.1	0.0	9.1	
南星	78	6.4	26.9	7.7	3.8	23.1	32.1	11.5	9.0	6.4	2.6	35.9	0.0	10.3	2.6	12.8	6.4	2.6	7.7	
志貴野	80	15.0	26.3	5.0	6.3	25.0	28.8	8.8	16.3	5.0	1.3	26.3	1.3	13.8	1.3	15.0	2.5	1.3	8.8	
芳野	123	8.1	23.6	4.1	6.5	23.6	17.9	9.8	12.2	1.6	0.8	27.6	0.8	6.5	1.6	12.2	9.8	3.3	9.8	
伏木	26	30.8	26.9	3.8	3.8	19.2	3.8	3.8	15.4	0.0	3.8	3.8	11.5	3.8	0.0	23.1	0.0	0.0	7.7	
国吉	11	36.4	27.3	27.3	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	
牧野	25	16.0	28.0	20.0	8.0	20.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	28.0	0.0	0.0	0.0	4.0	20.0	0.0	12.0	
五位	14	14.3	28.6	7.1	0.0	21.4	28.6	0.0	28.6	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	28.6	7.1	0.0	7.1	
戸出	30	10.0	26.7	10.0	3.3	33.3	10.0	3.3	13.3	3.3	3.3	23.3	3.3	0.0	0.0	30.0	0.0	3.3	3.3	
中田	14	35.7	21.4	0.0	0.0	14.3	0.0	7.1	14.3	7.1	7.1	7.1	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	
福岡	26	11.5	30.8	0.0	0.0	57.7	11.5	3.8	7.7	3.8	0.0	0.0	19.2	0.0	3.8	23.1	0.0	3.8	19.2	

11. 住まいの場所の選択理由×通勤・通学先別、住まいの形態別

通勤・通学先別にみると、通勤・通学先が高岡市内では「勤務先に近い」が最も多く41.7%、富山県西部地域、富山県東部地域では「親や家族が近くに住んでいる」が最も多く（県西部地域：31.9%、県東部地域：40.7%）、富山県以外は「公共交通機関が利用しやすい」、「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が最も多く31.6%、通勤・通学はしていないは「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」が最も多く28.2%となっている。また、市全体の傾向と比べ「親や家族が近くに住んでいる」が富山県東部地域で、「勤務先に近い」が高岡市内で、「公共交通機関が利用しやすい」、「子どもの学習・通学環境がよい」が富山県以外で著しく多い。

住まいの形態別にみると、住まいが持ち家（一戸建て）、公営の借家（市営住宅など）では「親や家族が近くに住んでいる」が最も多く（持ち家（一戸建て）：31.8%、公営の借地：40.0%）、持ち家（分譲マンションなど）は「公共交通機関が利用しやすい」が最も多く60.0%、民営の借家（賃貸マンションなど）は「勤務先に近い」が最も多く41.7%、会社の寮や社宅・宿舍などは「勤務先の指定・あっせん」が最も多く61.1%、間借りは「親や家族が近くに住んでいる」、「その他」が50.0%となっている。

また市全体の傾向と比べ「勤務先の指定・あっせん」が会社の寮や社宅・宿舍などで、「勤務先に近い」が民営の借家（賃貸マンションなど）で著しく多く、「公共交通機関が利用しやすい」、「スーパーマーケットなど商業施設が利用しやすい」、「医療施設が利用しやすい」、「住宅が取得しやすかった（分譲価格や家賃が安かった等）」が持ち家（分譲マンションなど）で著しく多い。一方「住宅が取得しやすかった（分譲価格や家賃が安かった等）」が会社の寮や社宅・宿舍などで著しく少ない。

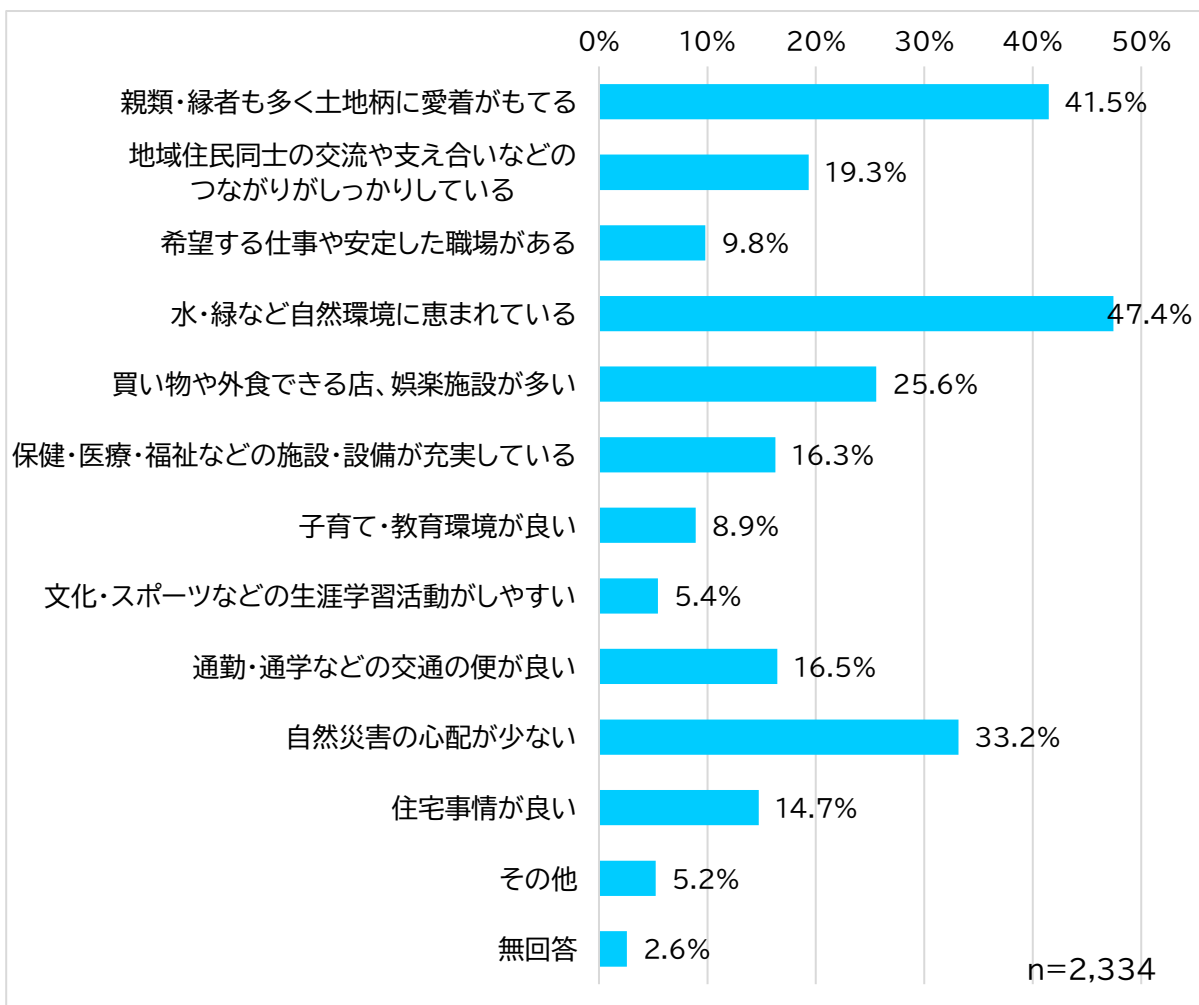
単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
		親や家族が住んでいる家に同居	親や家族が近くに住んでいる	元々自己所有の住宅・土地があった	勤務先の指定・あっせん	勤務先に近い	公共交通機関が利用しやすい	整備されている	道路や上下水道などライフラインが	子どもの学習・通学環境がよい	やす	保育所など子育て支援施設が利用し	公園・児童館など子どもの遊び場が	スーパーマーケットなど商業施設が	自然が豊かである	医療施設が利用しやすい	福祉施設が利用しやすい	住宅が取得しやすかった（分譲価格や家賃が安かった等）	住宅情報（賃貸を含む）が充実して	住宅取得の支援制度が利用できた
合計	512	12.7	26.0	6.8	5.3	26.4	19.7	7.8	13.7	3.7	2.1	23.2	4.3	7.4	1.6	15.6	5.7	2.3	9.0	
通勤・通学先別	高岡市内	247	10.1	22.3	5.3	6.9	41.7	19.0	7.3	13.0	3.2	2.8	21.9	4.9	6.5	1.6	11.7	5.7	2.4	8.5
	富山県西部地域	113	16.8	31.9	5.3	2.7	19.5	17.7	4.4	12.4	4.4	0.9	21.2	2.7	8.0	0.0	18.6	4.4	1.8	8.0
	富山県東部地域	54	11.1	40.7	7.4	3.7	5.6	22.2	11.1	20.4	7.4	3.7	22.2	3.7	7.4	1.9	24.1	3.7	1.9	9.3
	富山県以外	19	15.8	21.1	10.5	5.3	5.3	31.6	15.8	26.3	0.0	0.0	31.6	0.0	10.5	5.3	10.5	10.5	0.0	5.3
	その他	6	16.7	50.0	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0
	通勤・通学はしていない	71	15.5	18.3	12.7	4.2	7.0	19.7	11.3	11.3	2.8	1.4	28.2	7.0	8.5	2.8	19.7	8.5	2.8	12.7
住まいの形態別	持ち家（一戸建て）	289	18.3	31.8	12.1	0.7	17.3	20.1	6.9	17.6	4.2	3.1	21.5	5.2	8.7	1.0	18.3	1.7	2.8	6.9
	持ち家（分譲マンションなど）	20	5.0	20.0	0.0	0.0	25.0	60.0	15.0	15.0	5.0	5.0	45.0	0.0	25.0	0.0	35.0	10.0	0.0	5.0
	公営の借家（市営住宅など）	5	20.0	40.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
	民営の借家（賃貸マンションなど）	175	4.6	19.4	0.0	8.0	41.7	17.1	9.7	9.1	2.9	0.6	25.1	4.0	4.0	2.9	10.9	12.0	2.3	12.0
	会社の寮や社宅・宿舍など	18	0.0	0.0	0.0	61.1	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	16.7	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	5.6
	間借り	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	その他	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

● 高岡市のことについてお伺いします。

問1：高岡市の住みよさ

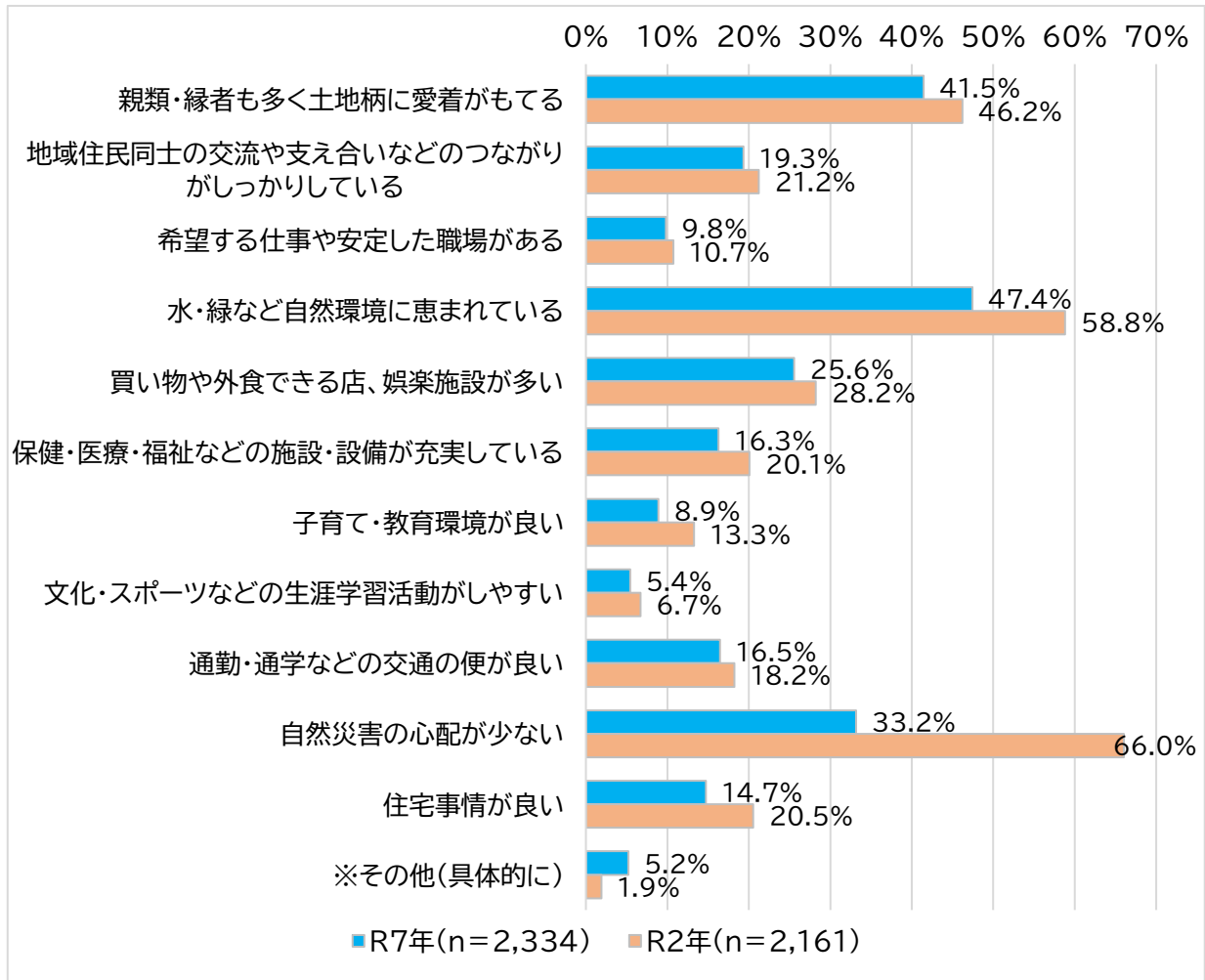
■問1（1） あなたにとって高岡市が住みよいと思う点を、次のうちからあてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

高岡市が住みよいと思う理由は「水・緑など自然環境に恵まれている」が47.4%と最も多く、次いで「親類・縁者も多く土地柄に愛着がもてる」が41.5%、「自然災害の心配が少ない」が33.2%となっている。



■問1（1）住みよい理由（つづき）

前回調査結果と比較すると、「水・緑など自然環境に恵まれている」、「自然災害の心配が少ない」が著しく減少している。特に「自然災害の心配が少ない」が大幅に減少しており、令和6年能登半島地震の影響により災害への不安が高まっていることが推測される。



■問1（1）住みよい理由×性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、通勤・通学先別、
居住年数別

性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、通勤・通学先別、居住年数別のほぼすべての項目で「水・緑など自然環境に恵まれている」が最も多い。「親類・縁者も多く土地柄に愛着がもてる」が最も多いのは年齢別で40代、居住地域別で高岡西部校区、牧野校区、通勤・通学先別で富山県西部地域、富山県以外、居住年数別で5～9年となっている。そのほか、居住地域別の戸出校区で「自然災害の心配が少ない」が最も多く、居住年数別の1年未満、1～4年で「買い物や外食できる店、娯楽施設が多い」が最も多い。

年齢別にみると、「自然災害の心配が少ない」は市全体の傾向と比べ、70歳以上で著しく多く、30代で著しく少なくなっており、災害への不安がある若年層が多いものと推測される。また、10代で「地域住民同士の交流や支え合いなどのつながりがしっかりしている」、「水・緑など自然環境に恵まれている」が著しく多く、「親類・縁者も多く土地柄に愛着がもてる」、「買い物や外食できる店、娯楽施設が多い」が著しく少ない。

居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ伏木校区、国吉校区、五位校区、中田校区で「水・緑など自然環境に恵まれている」が著しく多く、牧野校区で「水・緑など自然環境に恵まれている」が著しく少ない。また、伏木校区、福岡校区で「買い物や外食ができる店、娯楽施設が多い」、中田校区で「保健・医療・福祉などの施設・設備が充実している」が著しく少ない。加えて、「自然災害の心配が少ない」は五位校区、戸出校区で著しく多く、伏木校区、牧野校区、国吉校区で著しく少ない。

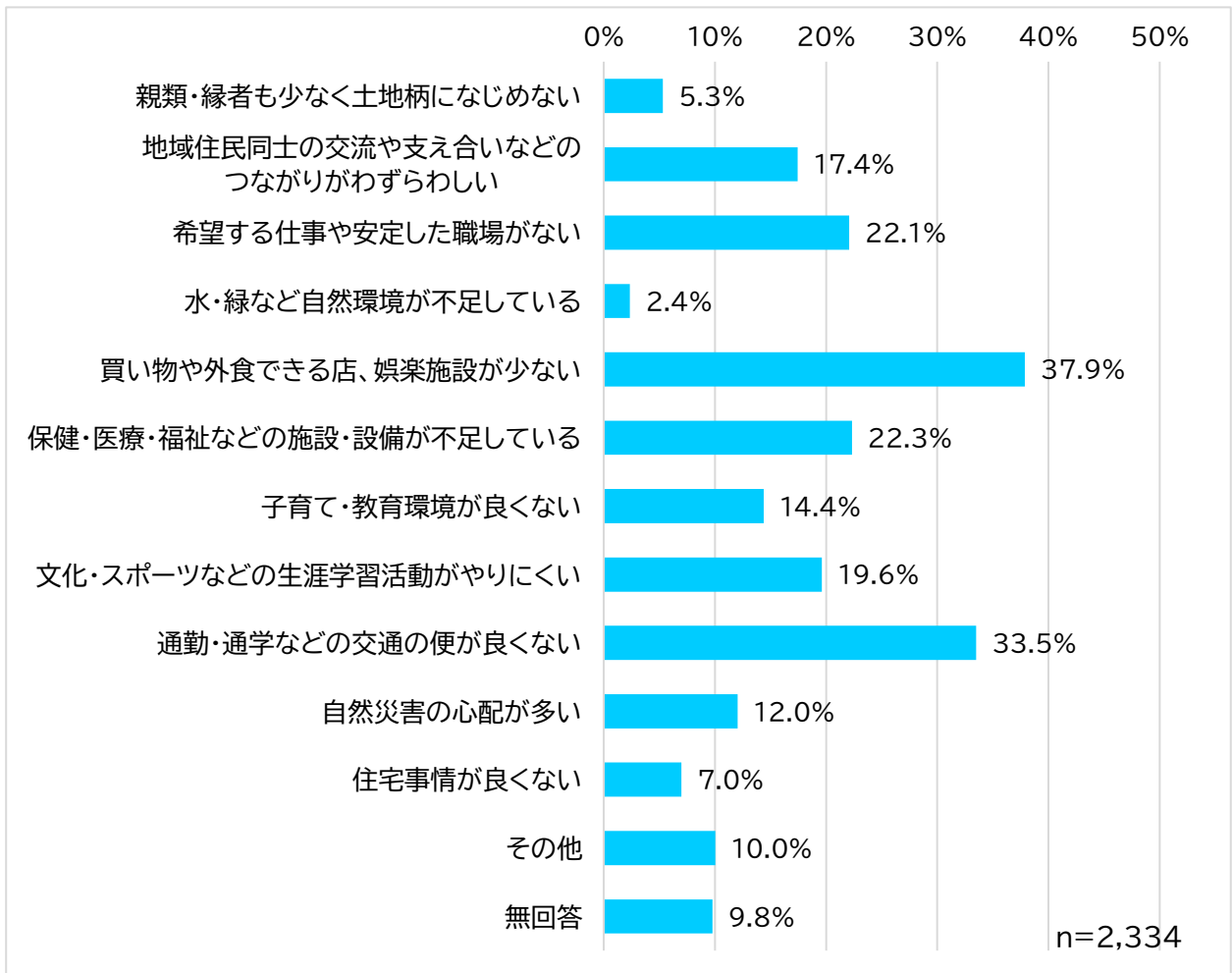
通勤・通学先別にみると、市全体の傾向と比べ「水・緑など自然環境に恵まれている」が富山県西部地域で著しく少ない。また、通勤・通学先が富山県以外で「買い物や外食ができる店、娯楽施設が多い」、「保健・医療・福祉などの施設・設備が充実している」が著しく少ないことから、他県と比較し、商業、医療・福祉施設の立地が少ないものと推測される。

居住年数別にみると、市全体の傾向と比べ居住年数1年未満で「買い物や外食できる店、娯楽施設が多い」が著しく多く、4年以下で「親類・縁者も多く土地柄に愛着がもてる」、1～4年で「地域住民同士の交流や支え合いなどのつながりがしっかりしている」、1年未満で「自然災害の心配が少ない」が著しく少ない。また、「水・緑など自然環境に恵まれている」が9年以下で著しく少なく、概ね居住年数が長いほど評価が高くなる傾向がみられる。

単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
		親類・縁者も多く土地柄に愛着がもてる	のつながりがしっかりしている	地域住民同士の交流や支え合いなど	希望する仕事や安定した職場がある	水・緑など自然環境に恵まれている	多い	買い物や外食できる店、娯楽施設が	が充実している	保健・医療・福祉などの施設・設備	子育て・教育環境が良い	文化・スポーツなどの生涯学習活動	がしやすい	通勤・通学などの交通の便が良い	自然災害の心配が少ない
合計	2,334	41.5	19.3	9.8	47.4	25.6	16.3	8.9	5.4	16.5	33.2	14.7	5.2		
性別	男性	885	42.3	19.3	10.5	45.0	24.5	16.7	8.7	5.5	16.8	15.3	6.4		
	女性	1,009	41.3	19.2	10.0	50.1	27.7	16.9	10.1	5.1	17.1	15.4	5.0		
	回答しない	20	35.0	5.0	5.0	45.0	10.0	10.0	10.0	0.0	10.0	5.0	10.0		
年齢別	18～19歳	30	26.7	30.0	3.3	63.3	13.3	10.0	6.7	6.7	6.7	6.7	3.3		
	20～29歳	151	37.7	10.6	13.2	43.7	31.1	9.9	6.0	4.0	13.9	12.6	5.3		
	30～39歳	241	34.9	10.0	13.3	37.8	32.8	13.3	11.2	3.7	17.8	9.5	5.0		
	40～49歳	360	41.9	15.6	9.4	41.7	28.9	11.7	10.8	5.6	21.9	11.1	7.5		
	50～59歳	437	41.9	15.1	11.4	45.5	23.6	12.4	10.3	3.4	18.8	14.4	6.6		
	60～69歳	450	42.7	21.6	9.1	51.6	20.4	17.3	7.8	5.3	17.3	15.8	5.8		
	70歳以上	638	44.7	27.9	7.5	53.1	24.8	24.0	7.8	7.8	11.6	43.7	19.1	2.8	
家族構成別	単身世帯	228	32.9	13.6	9.2	42.1	25.9	14.9	4.4	6.1	14.5	14.9	10.1		
	夫婦のみの世帯	572	40.9	23.1	9.4	53.1	24.3	17.7	6.3	6.1	14.0	17.5	4.7		
	2世代世帯	1,117	42.0	16.8	10.1	44.8	27.3	15.3	10.3	5.2	19.0	12.6	4.2		
	3世代世帯	326	50.6	25.2	10.1	52.8	22.7	18.1	13.8	4.9	15.0	18.4	4.9		
	その他	61	31.1	18.0	9.8	37.7	21.3	16.4	3.3	3.3	9.8	9.8	14.8		
居住地域別	高陵	150	38.7	14.0	12.0	50.0	22.0	22.0	18.7	10.7	25.3	18.7	4.7		
	高岡西部	197	50.8	21.3	10.7	43.7	34.5	21.3	5.6	6.1	19.8	12.2	3.0		
	南星	311	40.8	15.1	10.6	45.3	32.8	21.2	5.8	2.9	15.8	17.4	5.1		
	志貴野	328	41.5	21.3	7.0	44.2	29.0	18.6	7.6	4.9	20.4	11.9	5.2		
	芳野	412	37.4	13.6	9.0	40.8	34.0	13.3	9.5	5.6	18.2	15.3	6.1		
	伏木	173	45.7	28.3	6.9	66.5	12.7	15.0	11.0	11.0	7.5	22.5	12.1	5.8	
	国吉	49	49.0	28.6	10.2	61.2	18.4	12.2	4.1	2.0	10.2	22.4	12.2	6.1	
	牧野	131	45.0	13.0	10.7	29.8	19.8	17.6	9.9	2.3	9.9	21.4	16.8	11.5	
	五位	138	43.5	29.0	8.7	62.3	15.9	8.7	9.4	5.8	15.9	44.9	18.1	1.4	
	戸出	178	41.6	20.8	10.7	46.1	20.2	13.5	11.2	4.5	11.8	47.2	14.0	7.3	
	中田	74	32.4	14.9	10.8	62.2	16.2	4.1	6.8	4.1	9.5	35.1	16.2	1.4	
福岡	168	41.7	27.4	12.5	54.8	13.1	16.1	8.9	4.8	19.0	38.7	13.1	3.6		
通勤・通学先別	高岡市内	975	41.0	16.8	16.4	46.3	24.7	13.6	9.2	5.4	21.0	13.4	5.0		
	富山県西部地域	386	42.2	15.5	5.7	35.0	29.5	15.3	8.8	3.1	18.9	10.4	7.0		
	富山県東部地域	160	33.8	15.0	5.0	43.8	27.5	13.1	11.9	5.6	15.6	15.0	11.9		
	富山県以外	59	50.8	15.3	10.2	50.8	13.6	3.4	5.1	5.1	13.6	20.3	3.4		
	その他	34	47.1	23.5	2.9	58.8	17.6	14.7	14.7	5.9	17.6	32.4	26.5	5.9	
	通勤・通学はしていない	649	42.7	26.3	4.3	57.0	24.5	21.3	8.3	6.5	9.2	41.0	17.7	3.2	
居住年数別	1年未満	73	23.3	12.3	15.1	34.2	38.4	8.2	9.6	5.5	15.1	15.1	11.0		
	1～4年	211	24.6	6.6	10.4	30.8	32.2	10.4	7.1	4.3	17.1	23.2	9.0		
	5～9年	228	38.2	12.7	10.5	33.3	26.3	11.8	11.4	5.7	20.2	23.2	7.5		
	10～19年	402	40.3	13.7	9.0	44.8	26.9	13.9	11.7	5.2	18.2	32.3	10.4	5.2	
	20年以上	1,393	46.4	24.5	9.5	54.2	23.1	19.2	8.1	5.7	15.4	37.6	17.2	4.0	

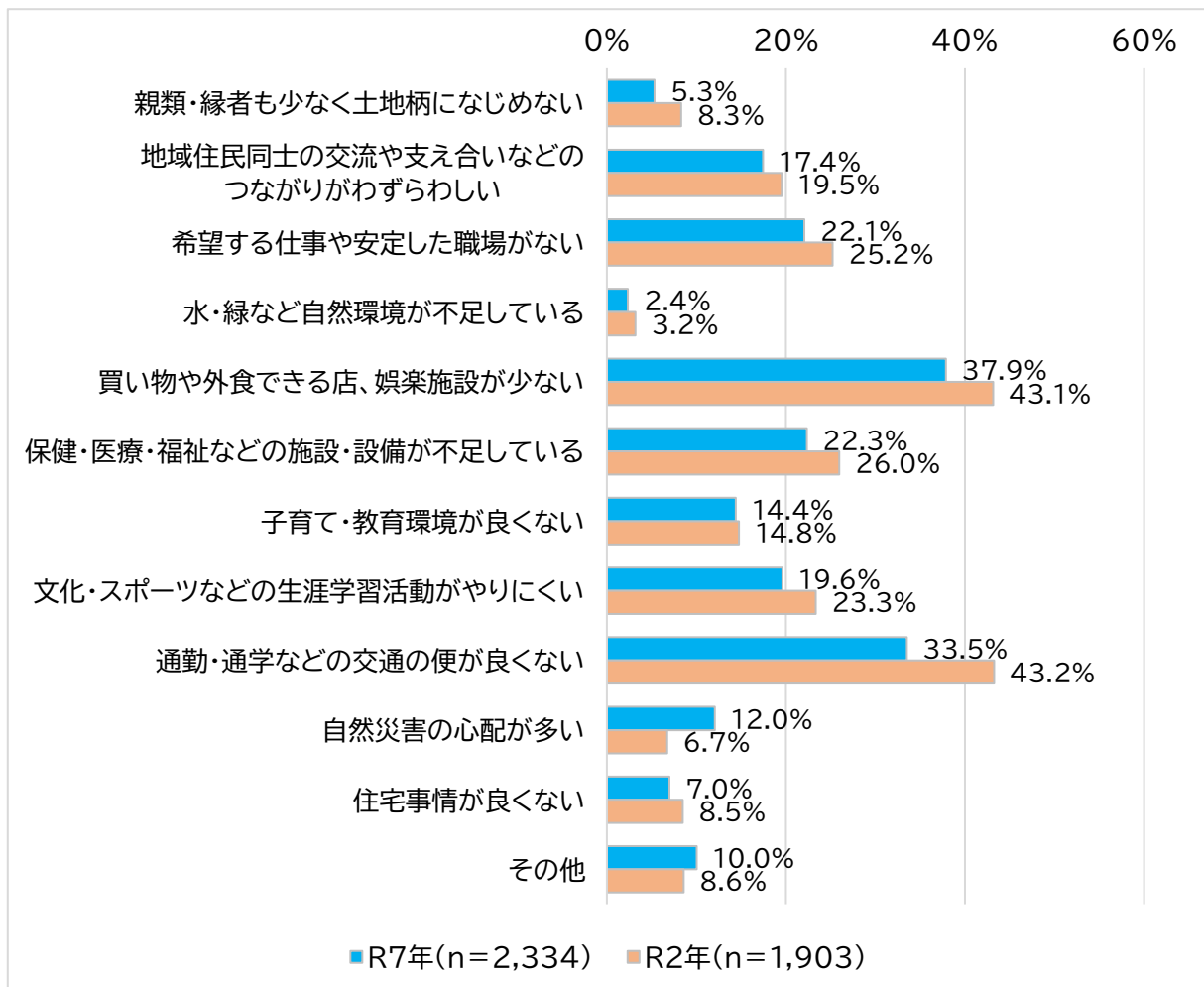
■問1（2） あなたにとって高岡市が住みにくいと思う点を、次のうちからあてはまるものをすべて選んで番号に○印をつけてください。

高岡市が住みにくいと思う理由は「買い物や外食できる店、娯楽施設が少ない」が37.9%と最も多く、次いで「通勤・通学などの交通の便が良くない」が33.5%、「保健・医療・福祉などの施設・設備が不足している」が22.3%、「希望する仕事や安定した職場がない」が22.1%となっている。



■問1（2）住みにくい理由（つづき）

前回調査結果と比較すると、「自然災害の心配が多い」が増加しており、「買い物や外食できる店、娯楽施設が少ない」、「通勤・通学などの交通の便が良くない」が減少している。



■問1（2）住みにくい理由×性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、通勤・通学先別、居住年数別

性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、通勤・通学先別、居住年数別のほぼすべての項目で「買い物や外食できる店、娯楽施設が少ない」が最も多い。「通勤・通学などの交通の便が良くない」が最も多いのは、居住地域別で南星校区、芳野校区、伏木校区、牧野校区、中田校区、通勤・通学先別で富山県東部地域となっている。このように、地域によって住みにくさが商業施設等の少なさと公共交通の不便さに大きく2分されている。

年齢別にみると、市全体の傾向と比べ20代以下で「買い物や外食できる店、娯楽施設が少ない」、30代で「子育て・教育環境が良くない」が著しく多い。また、10代で「希望する仕事や安定した職場がない」、「通勤・通学などの交通の便が良くない」が著しく多く、「地域住民同士の交流や支え合いなどのつながりがわずらわしい」が著しく少ない。

居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ「買い物や外食できる店、娯楽施設が少ない」が伏木校区、五位校区、福岡校区で著しく多く、南星校区、芳野校区で著しく少ない。また、「通勤・通学などの交通の便が良くない」が伏木校区、牧野校区、中田校区で著しく多く、高陵校区で著しく少ない。「保健・医療・福祉などの施設・設備が不足している」が牧野校区で著しく多い。

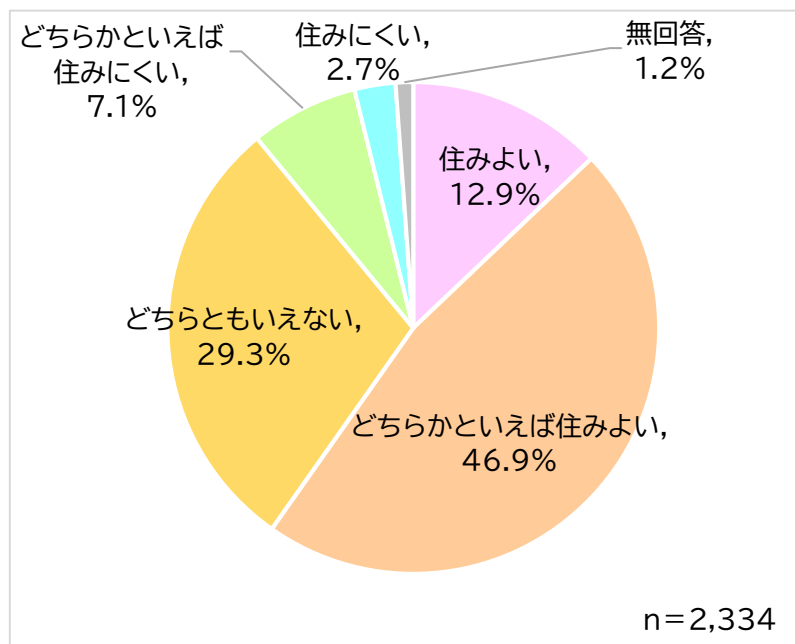
通勤・通学先別にみると、通勤・通学先が富山県東部地域、富山県以外で「希望する仕事や安定した職場がない」が著しく多く、本市よりも規模が大きい都市に比べ、職業選択の幅が少ないことが推測される。また、通勤・通学先が富山県以外で「買い物や外食できる店、娯楽施設が少ない」も著しく多い。

居住年数別にみると、1年未満で「通勤・通学などの交通の便が良くない」が著しく少ない。

単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		ない 親類・縁者も少なく土地柄になじめ	のつながりがわずらわしい 地域住民同士の交流や支え合いなど	希望する仕事や安定した職場がない	水・緑など自然環境が不足している	少ない 買い物や外食できる店、娯楽施設が	が不足している 保健・医療・福祉などの施設・設備	子育て・教育環境が良くない	がやりにくい 文化・スポーツなどの生涯学習活動	い 通勤・通学などの交通の便が良くない	自然災害の心配が多い	住宅事情が良くない	その他	
合計	2,334	5.3	17.4	22.1	2.4	37.9	22.3	14.4	19.6	33.5	12.0	7.0	10.0	
性別	男性	885	5.5	18.9	24.7	3.1	38.0	22.8	16.8	20.1	33.0	12.4	8.6	10.5
	女性	1,009	5.5	16.3	20.0	1.4	38.8	21.1	13.1	18.9	33.8	12.4	5.4	10.0
	回答しない	20	5.0	25.0	20.0	0.0	45.0	30.0	15.0	25.0	45.0	10.0	10.0	15.0
年齢別	18～19歳	30	3.3	6.7	43.3	6.7	76.7	23.3	20.0	20.0	63.3	10.0	3.3	6.7
	20～29歳	151	5.3	13.2	30.5	1.3	48.3	13.9	15.9	13.2	36.4	14.6	7.3	9.9
	30～39歳	241	8.7	23.2	21.6	3.3	41.5	21.6	34.0	24.1	30.7	13.3	8.7	9.5
	40～49歳	360	8.3	22.8	25.8	4.2	39.2	22.2	22.5	23.1	38.9	10.0	7.2	10.3
	50～59歳	437	6.9	17.8	25.9	0.9	43.2	26.1	11.7	20.8	37.1	11.4	8.7	11.7
	60～69歳	450	2.7	17.8	21.8	2.0	34.9	21.3	11.1	18.9	31.3	13.8	5.8	12.2
	70歳以上	638	3.3	13.5	14.4	2.4	30.1	22.6	5.6	17.1	28.7	11.6	6.0	7.7
家族構成別	単身世帯	228	8.8	15.4	22.4	3.9	31.1	18.0	11.0	16.2	30.3	12.3	7.9	11.8
	夫婦のみの世帯	572	4.0	16.4	19.1	2.1	36.0	23.4	10.0	19.2	27.4	11.4	7.2	11.5
	2世代世帯	1,117	6.1	19.3	23.7	2.1	39.1	22.6	16.9	20.0	36.4	12.5	6.9	8.8
	3世代世帯	326	3.1	14.7	21.5	2.8	39.3	23.6	16.3	21.8	37.7	12.0	6.1	8.9
	その他	61	4.9	18.0	23.0	0.0	49.2	18.0	11.5	19.7	34.4	8.2	4.9	18.0
居住地別	高陵	150	6.7	15.3	24.0	1.3	40.0	16.0	8.0	21.3	23.3	5.3	6.7	14.0
	高岡西部	197	4.1	17.3	18.3	2.5	29.9	24.4	16.8	21.3	27.9	13.2	7.1	11.7
	南星	311	5.8	21.2	22.8	1.6	27.7	16.4	13.5	16.4	29.6	12.9	7.7	13.5
	志貴野	328	5.5	16.8	21.0	1.8	43.0	18.6	14.0	21.6	30.5	15.5	5.8	8.2
	芳野	412	8.3	19.4	21.8	4.1	26.5	20.9	13.3	19.7	30.3	10.7	8.7	13.6
	伏木	173	3.5	15.6	22.0	1.7	48.0	26.6	13.9	17.3	51.4	21.4	6.9	7.5
	国吉	49	4.1	12.2	22.4	2.0	46.9	30.6	12.2	26.5	40.8	10.2	10.2	6.1
	牧野	131	5.3	15.3	22.1	3.8	39.7	32.8	20.6	21.4	45.8	16.0	7.6	6.9
	五位	138	5.8	21.0	28.3	0.7	49.3	29.7	13.8	22.5	27.5	8.7	5.8	5.1
	戸出	178	3.9	16.3	21.9	3.4	42.1	23.6	11.8	17.4	37.6	8.4	6.7	10.7
	中田	74	0.0	16.2	12.2	0.0	35.1	25.7	17.6	20.3	58.1	2.7	5.4	8.1
通勤・通学先別	福岡	168	1.8	14.3	25.0	2.4	55.4	25.6	19.6	16.1	31.5	10.1	4.2	4.2
	高岡市内	975	5.2	20.2	19.1	2.1	40.6	23.0	18.3	20.7	35.1	13.1	6.8	11.3
	富山県西部地域	386	4.9	17.4	27.2	3.1	40.7	23.8	17.9	21.5	37.6	11.9	8.0	8.3
	富山県東部地域	160	8.8	15.6	36.3	3.8	32.5	16.9	12.5	23.8	38.8	8.1	10.0	10.6
	富山県以外	59	5.1	15.3	45.8	0.0	50.8	22.0	11.9	11.9	39.0	5.1	6.8	13.6
	その他	34	2.9	11.8	26.5	0.0	29.4	23.5	8.8	14.7	23.5	11.8	8.8	14.7
通勤・通学はしていない	649	5.2	14.0	18.2	2.6	34.2	22.8	8.3	17.7	27.9	12.5	6.0	9.1	
居住年数別	1年未満	73	6.8	16.4	17.8	1.4	32.9	13.7	21.9	15.1	23.3	16.4	12.3	13.7
	1～4年	211	12.3	19.9	23.7	3.3	35.5	21.3	23.7	14.7	28.9	16.1	9.5	14.7
	5～9年	228	10.5	20.2	19.7	3.5	39.0	18.9	20.2	18.4	25.9	7.5	10.5	10.5
	10～19年	402	6.5	18.4	25.9	2.2	42.3	22.9	18.2	22.6	40.3	10.9	5.2	12.2
	20年以上	1,393	3.1	16.4	21.3	2.0	37.3	23.5	10.6	20.0	34.5	12.3	6.3	8.5

- 問1（3） あなたにとって高岡市は住みよいですか。
次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

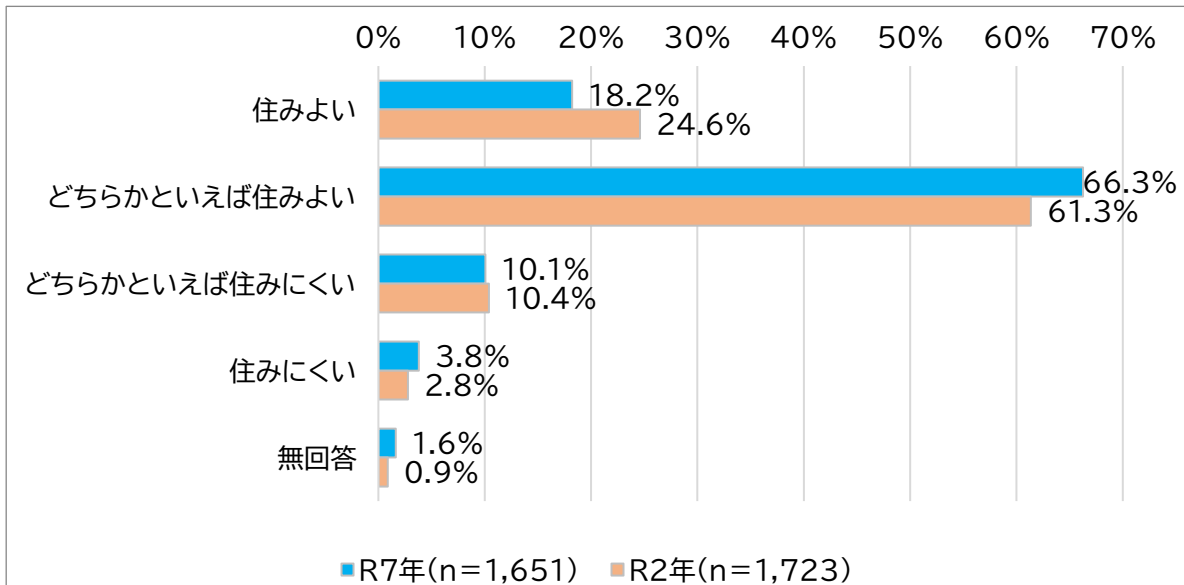
高岡市の住みよさについては、12.9%が「住みよい」、46.9%が「どちらかといえば住みよい」と回答しており、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた『住みよい』という評価は全体の 59.8%となっている。一方で、2.7%が「住みにくい」、7.1%が「どちらかといえば住みにくい」と回答しており、「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」を合わせた『住みにくい』という評価は全体の 9.8%である。



■参考資料

前回調査結果と比較するため、選択肢の「どちらともいえない」の回答数を除き、再集計を行った。

その結果、今回調査では『住みよい』は全体の 84.5%、『住みにくい』は全体の 13.9%となっており、前回調査結果より『住みよい』は 1.4 ポイント減少（85.9%⇒84.5%）、『住みにくい』は 0.7 ポイント増加（13.2%⇒13.9%）している。

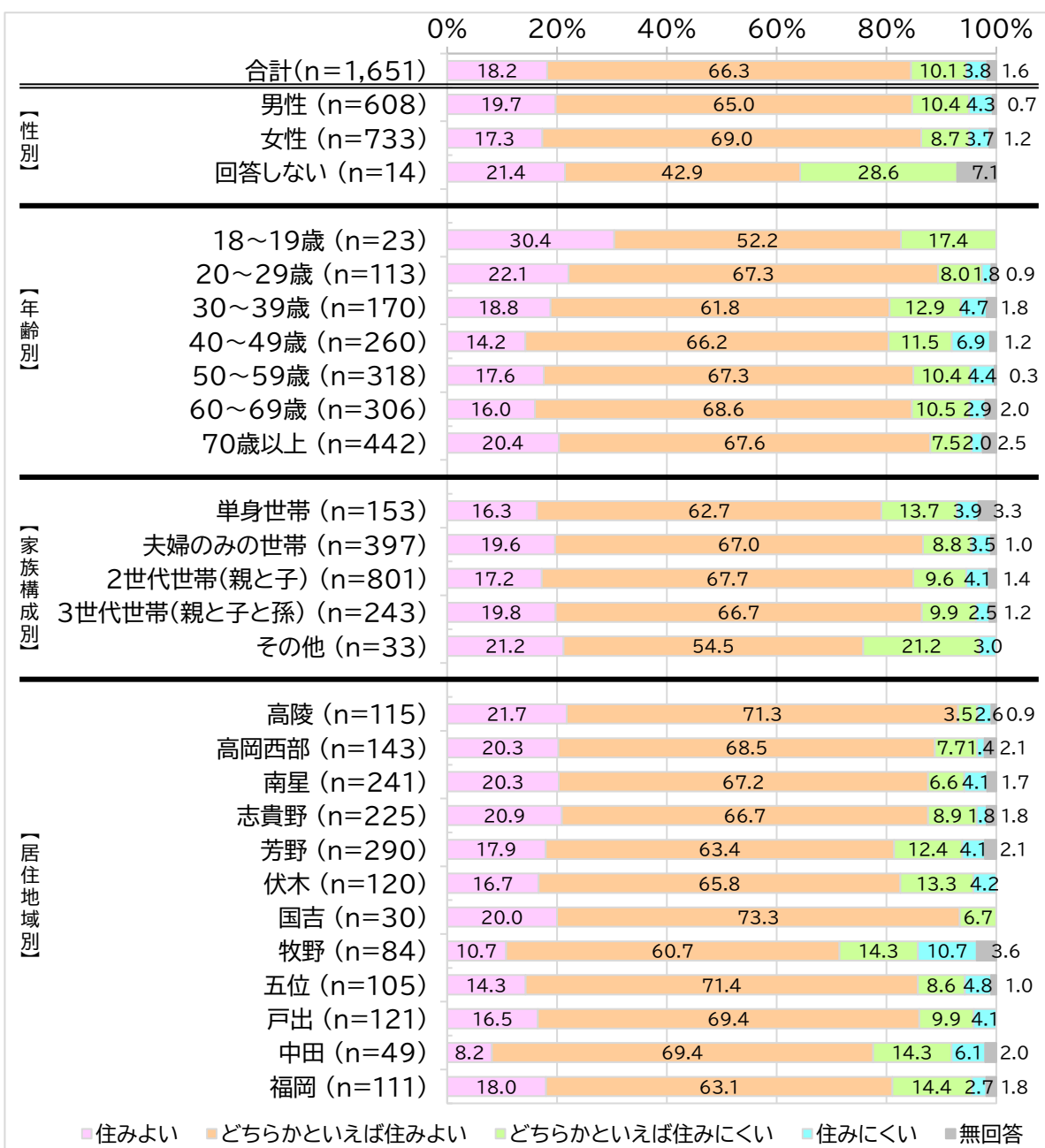


■問1（3）住みよさ×性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、通勤・通学先別、居住年数別

性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、通勤・通学先別、居住年数別のすべての項目で「どちらかといえば住みよい」が最も多い。

家族構成別にみると、『住みよい』という評価はその他が75.7%と市全体の傾向と比べて少ない。

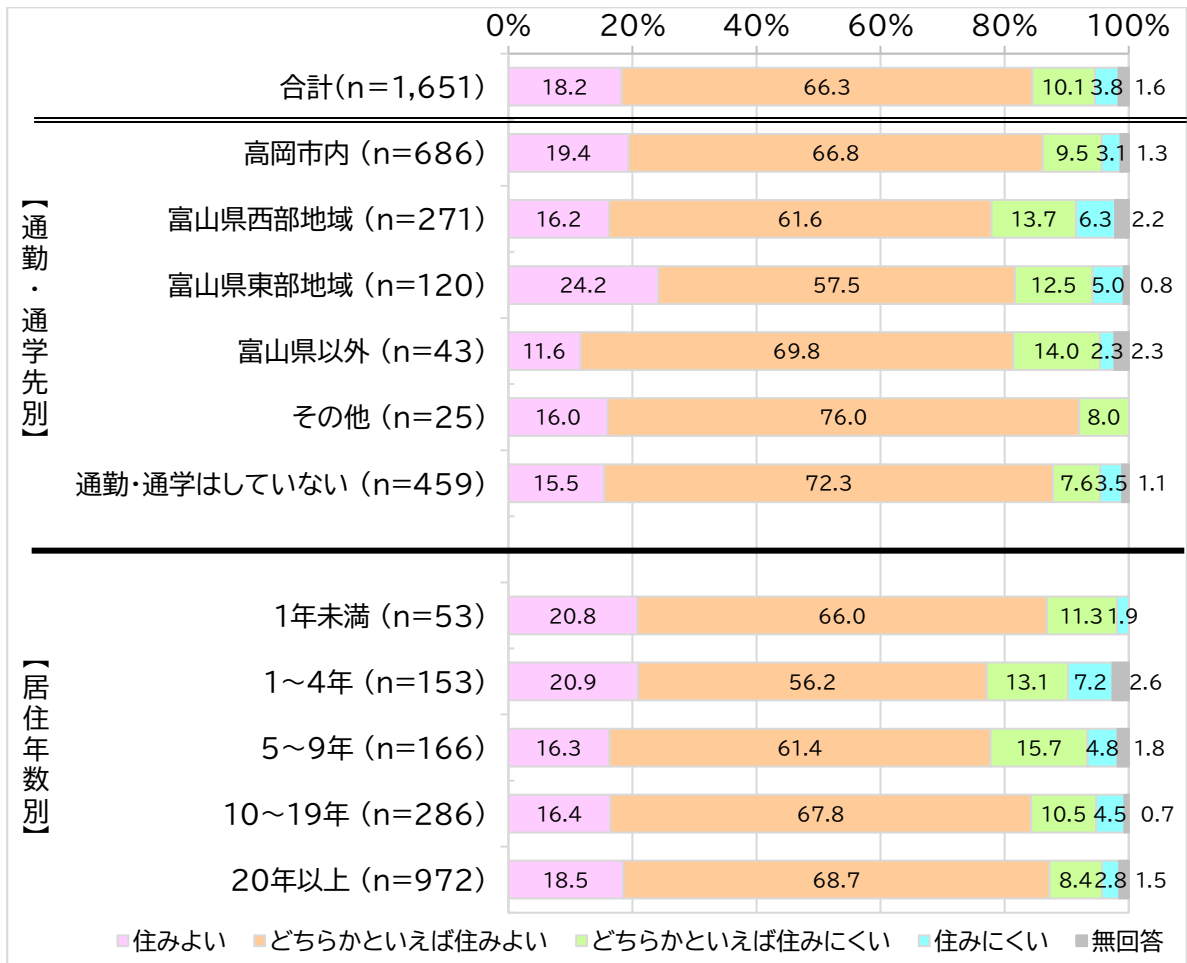
居住地域別にみると、『住みよい』という評価は高陵校区、高岡西部校区、国吉校区が市全体の傾向と比べて多く（高陵：93.0%、国吉：93.3%）、一方で、中田校区が77.6%と市全体の傾向と比べて少なく、牧野校区が71.4%と市全体の傾向と比べて著しく少ない。



■問1（3）住みよさ×性別、年齢別、家族構成別、居住地域別、通勤・通学先別、居住年数別（つづき）

通勤・通学先別にみると、『住みよい』という評価はその他が92.0%と市全体の傾向と比べて多く、富山県西部地域が77.8%と少ない。

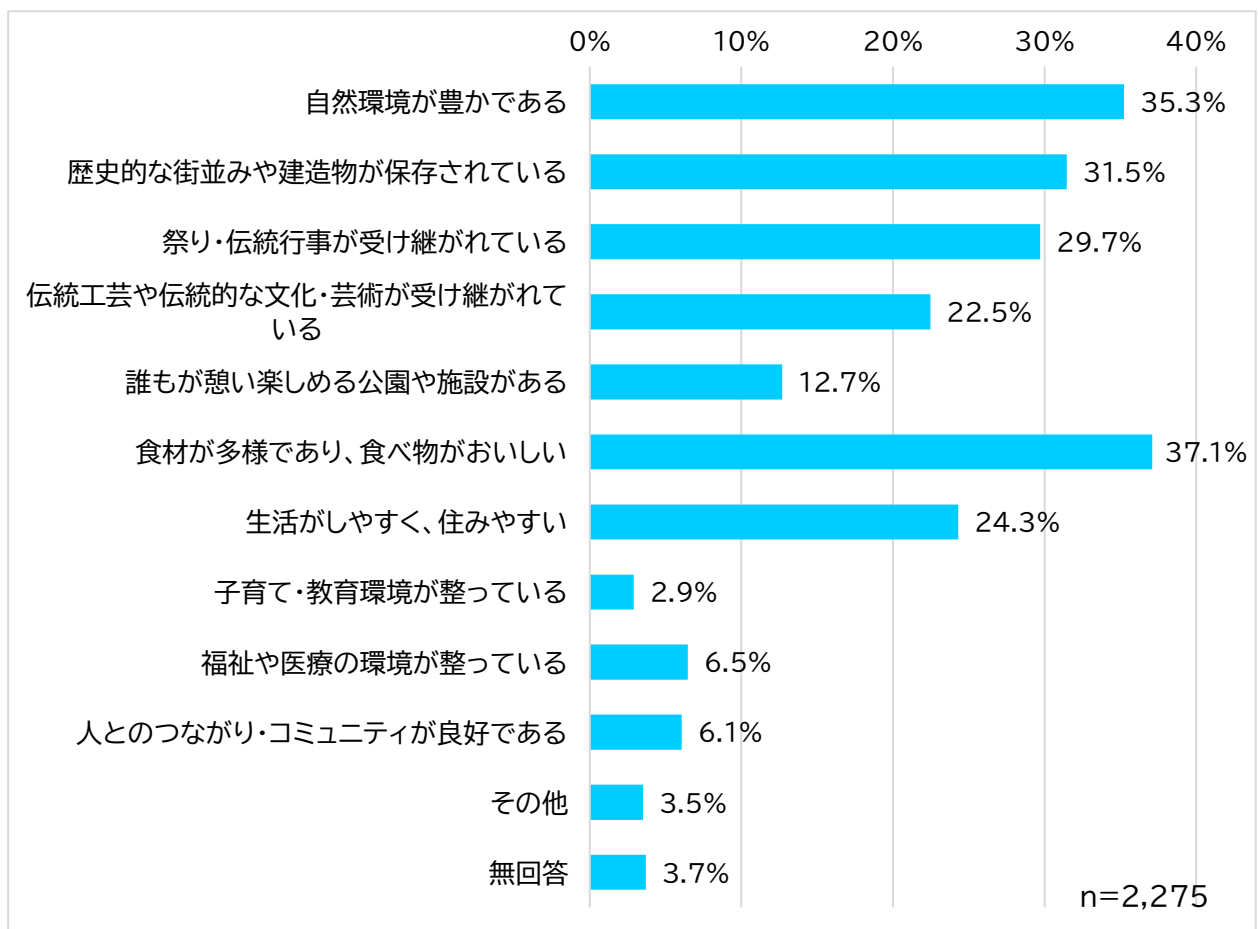
居住年数別にみると、『住みよい』という評価は1～4年、5～9年が市全体の傾向と比べて少ない（1～4年：77.1%、5～9年：77.7%）。



問2：高岡市の良さ

- 問2（1） あなたが思う高岡市の良いところ（好きなところ）はどのようなところですか。
次のうちあてはまるものを**3つ以内**で選んで番号に○印をつけてください。

高岡市の良いところについては、「食材が多様であり、食べ物がおいしい」が37.1%で最も高く、次いで「自然環境が豊かである」が35.3%、「歴史的な街並みや建造物が保存されている」が31.5%、「祭り・伝統行事が受け継がれている」が29.7%となっている。



■問2（1）高岡市の良いところ×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別の多くの項目で「食材が多様であり、食べ物がおいしい」が最も多い。「自然環境が豊かである」が最も多いのは年齢別で10代、70歳以上、居住地域別で伏木校区、国吉校区、五位校区、中田校区、福岡校区となっている。「歴史的な街並みや建造物が保存されている」が最も多いのは、年齢別で40代、居住地域別で芳野校区となっている。「生活がしやすく、住みやすい」が最も多いのは、居住年数別の1年未満のみである。

年齢別にみると、市全体の傾向と比べ10代で「祭り・伝統行事が受け継がれている」が著しく多く、「誰もが憩い楽しめる公園や施設がある」が著しく少ない。

居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ、伏木校区で「祭り・伝統行事が受け継がれている」が著しく多く、地域への帰属意識の高さがうかがえる一方、令和6年能登半島地震の影響もあり、「生活がしやすく、住みやすい」が著しく少ない。また、伏木校区、国吉校区、五位校区、中田校区で「自然環境が豊かである」が著しく多く、中田校区で「歴史的な街並みや建造物が保存されている」、国吉校区で「生活がしやすく、住みやすい」が著しく少ない。

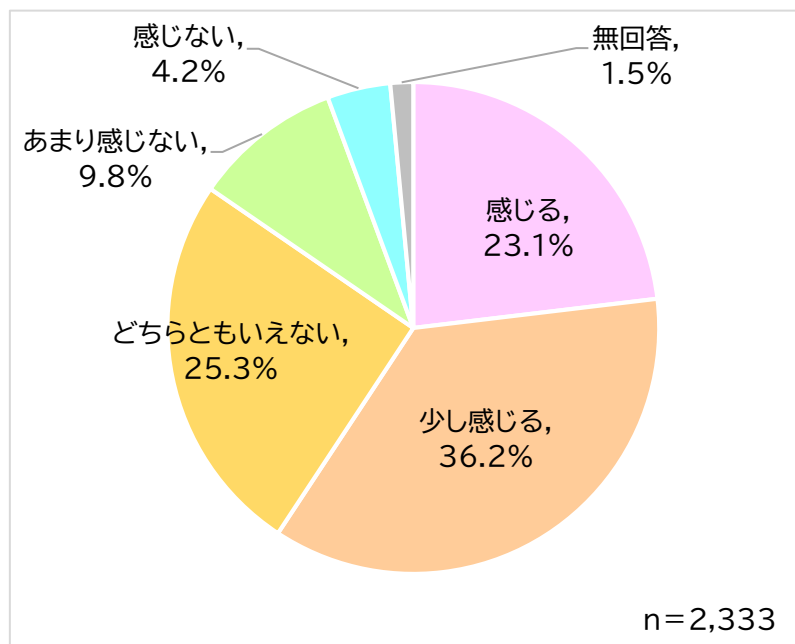
居住年数別にみると、市全体の傾向と比べ、1年未満で「祭り・伝統行事が受け継がれている」、5～9年で「自然環境が豊かである」が著しく少ない。

単位：%		n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
			自然環境が豊かである	歴史的な街並みや建造物が保存されている	祭り・伝統行事が受け継がれている	伝統工芸や伝統的な文化・芸術が受け継がれている	誰もが憩い楽しめる公園や施設がある	食材が多様であり、食べ物がおいしい	生活がしやすく、住みやすい	子育て・教育環境が整っている	福祉や医療の環境が整っている	好である	人とのつながり・コミュニティが良	その他
合計		2,275	35.3	31.5	29.7	22.5	12.7	37.1	24.3	2.9	6.5	6.1	3.5	
性別	男性	885	32.5	29.9	28.1	21.2	13.0	35.3	24.7	3.6	6.6	6.7	4.9	
	女性	1,009	35.7	32.4	29.9	22.2	13.1	38.3	24.5	2.8	6.7	5.2	2.9	
	回答しない	20	50.0	30.0	15.0	30.0	10.0	45.0	20.0	0.0	0.0	0.0	5.0	
年齢別	18～19歳	30	43.3	33.3	40.0	26.7	0.0	36.7	23.3	0.0	3.3	3.3	3.3	
	20～29歳	151	39.7	23.8	21.2	23.8	13.2	40.4	32.5	3.3	6.0	7.3	1.3	
	30～39歳	241	27.8	28.2	27.0	17.4	17.4	34.9	26.1	3.7	4.1	5.4	2.9	
	40～49歳	360	32.2	33.3	28.9	24.7	13.6	32.8	25.8	4.4	3.9	6.7	5.0	
	50～59歳	437	35.2	33.0	28.1	23.8	8.5	38.0	23.6	2.5	5.9	3.0	3.4	
	60～69歳	450	35.8	30.9	28.0	19.1	10.4	38.0	21.1	2.7	5.3	7.6	5.3	
	70歳以上	638	35.1	29.2	32.3	22.1	14.3	35.1	21.8	1.9	9.6	6.0	1.9	
居住地別	高陵	150	31.3	32.7	29.3	24.0	21.3	36.7	25.3	5.3	8.7	2.7	4.0	
	高岡西部	197	29.4	36.0	28.9	26.9	8.1	40.1	25.9	0.0	11.2	6.1	2.5	
	南星	311	25.7	32.8	23.8	24.1	15.4	37.9	28.0	3.2	7.4	4.8	6.1	
	志貴野	328	28.4	36.0	32.6	21.6	10.7	39.6	24.4	1.8	6.1	4.9	3.4	
	芳野	412	32.0	33.0	22.1	21.8	16.5	33.0	26.0	4.4	8.5	4.1	2.7	
	伏木	173	56.6	27.2	42.2	19.1	7.5	36.4	13.3	1.2	1.2	9.8	1.2	
	国吉	49	53.1	28.6	24.5	16.3	4.1	36.7	14.3	2.0	2.0	8.2	6.1	
	牧野	131	27.5	32.1	32.8	22.1	6.9	34.4	22.1	3.1	2.3	9.2	6.9	
	五位	138	48.6	23.2	30.4	19.6	9.4	46.4	17.4	2.9	2.9	7.2	1.4	
	戸出	178	32.0	23.0	28.7	24.2	11.2	32.6	27.5	2.8	4.5	6.2	2.8	
	中田	74	52.7	17.6	23.0	17.6	17.6	28.4	21.6	1.4	4.1	6.8	2.7	
福岡	168	38.1	23.8	33.9	17.3	9.5	31.0	22.0	3.6	6.5	6.5	3.0		
居住年数別	1年未満	73	30.1	24.7	19.2	15.1	15.1	31.5	32.9	5.5	5.5	4.1	6.8	
	1～4年	211	28.9	29.4	25.6	13.7	18.5	32.7	28.0	3.3	10.4	6.6	5.7	
	5～9年	228	24.1	27.6	25.0	22.8	14.5	33.3	26.3	5.7	6.6	5.7	5.7	
	10～19年	402	33.6	30.8	29.9	26.6	12.4	34.3	24.1	2.5	4.2	4.2	3.2	
	20年以上	1,393	37.8	31.4	30.3	22.1	11.1	38.2	22.0	2.2	6.2	6.4	2.6	

■問2（2） 高岡市に愛着や誇りを感じますか。

次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

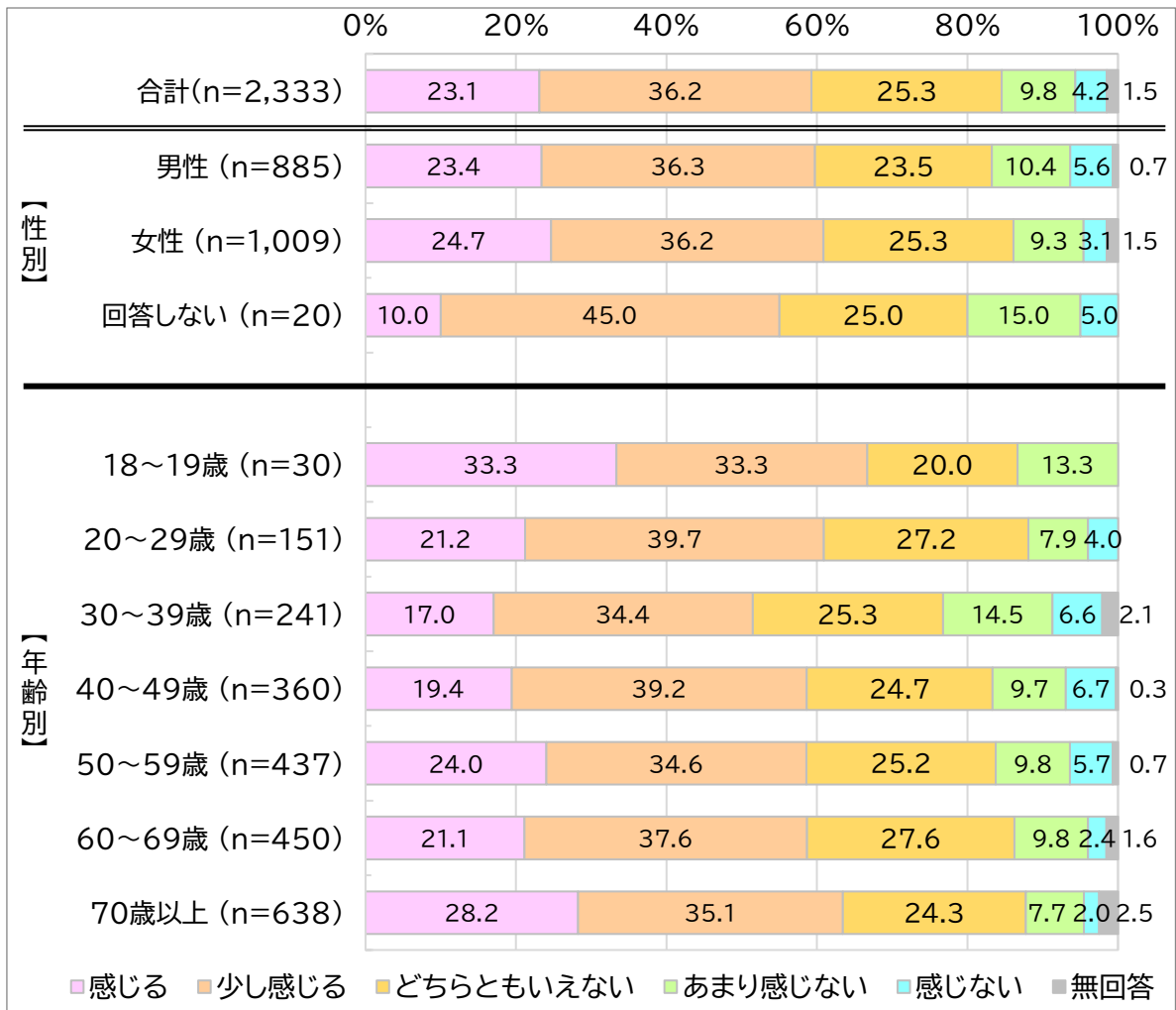
高岡市に愛着や誇りを感じるかについては、23.1%が「感じる」、36.2%が「少し感じる」と回答しており、「感じる」と「少し感じる」を合わせた『感じる』という評価は全体の59.3%となっている。一方で、4.2%が「感じない」、9.8%が「あまり感じない」と回答しており、「感じない」と「あまり感じない」を合わせた『感じない』という評価は全体の14.0%である。



■問2（2）高岡市への愛着・誇り×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のすべての項目で「少し感じる」が最も多い。
 年齢別では10代で「感じる」も最も多い。

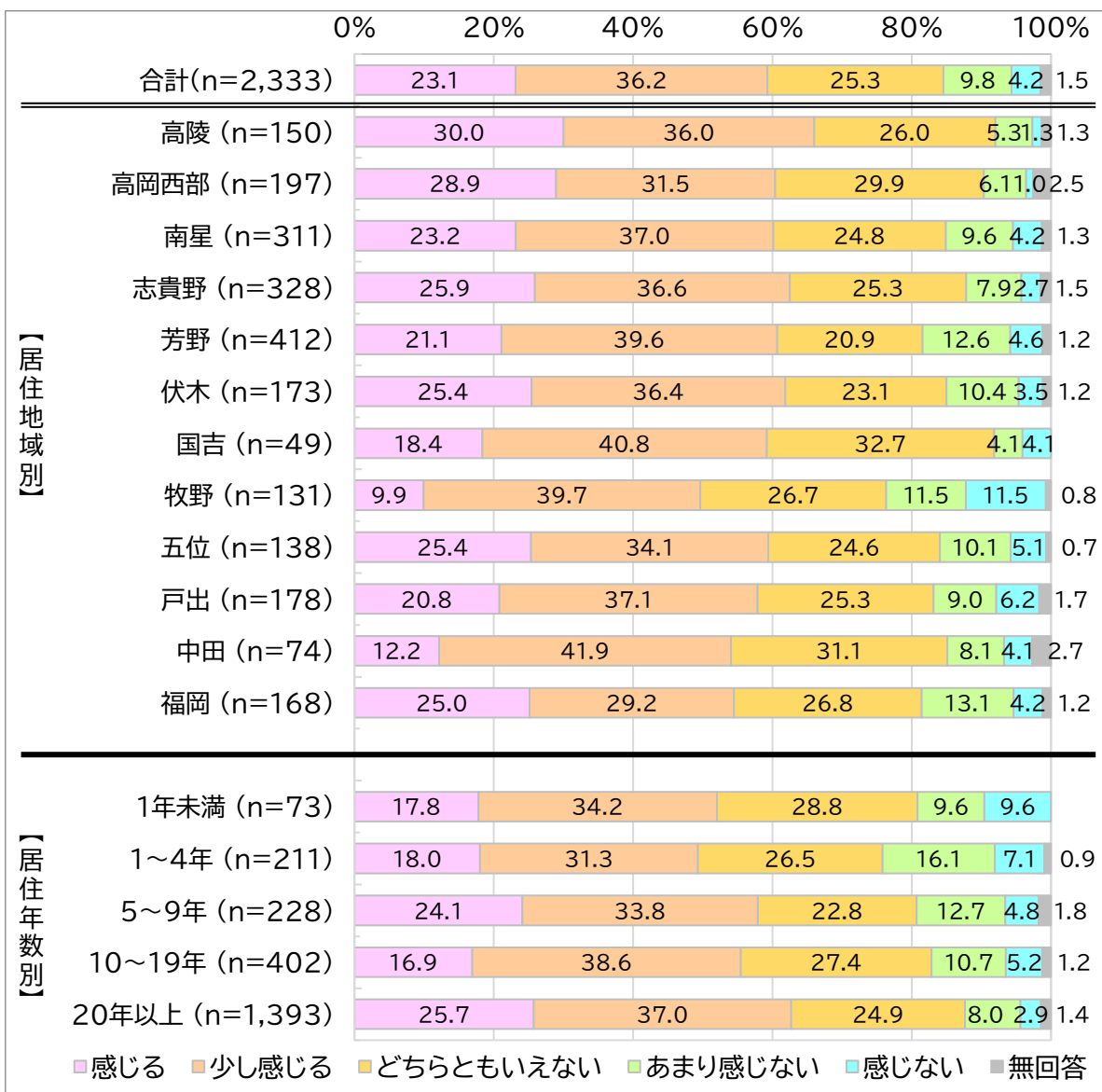
年齢別にみると、『感じる』という評価は10代が66.6%と市全体の傾向と比べて多く、『感じない』という評価は30代が21.1%と市全体の傾向と比べて多い。



■問2（2）高岡市への愛着・誇り×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別（つづき）

居住地域別にみると、『感じる』という評価は高陵校区が66.0%と市全体の傾向と比べて多く、牧野校区、中田校区、福岡校区は市全体の傾向と比べて少ない（牧野校区：49.6%、中田校区：54.1%、福岡校区：54.2%）。特に牧野校区、中田校区では「感じるが」著しく少ない。また、『感じない』という評価は牧野校区が23.0%と市全体の傾向と比べて著しく多く、高陵校区、高岡西部校区、国吉校区が市全体の傾向と比べて少ない（高陵校区：6.6%、高岡西部校区：7.1%、国吉校区：8.2%）。

居住年数別にみると、『感じる』という評価は1年未満が52.0%と市全体の傾向と比べて少なく、1～4年が49.3%と著しく少ない。

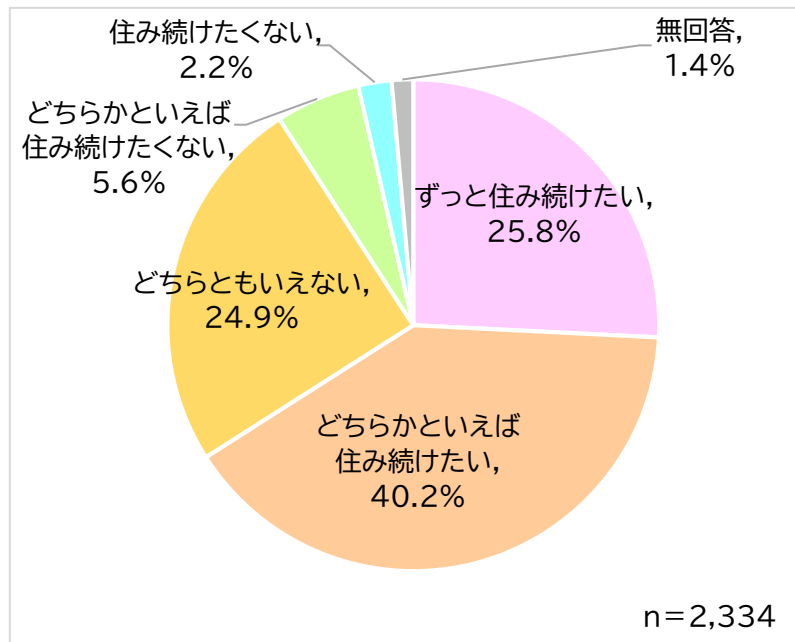


問3：高岡市での居住

■問3 あなたは、今後も高岡市に住み続けたいですか。

次のうちあてはまるものを**1つだけ**選んで番号に○印をつけてください。

高岡市での居住継続については、25.8%が「ずっと住み続けたい」、40.2%が「どちらかといえば住み続けたい」と回答しており、「ずっと住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせた『住み続けたい』という意向は全体の66.0%となっている。一方で、2.2%が「住み続けたくない」、5.6%が「どちらかといえば住み続けたくない」と回答しており、「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」を合わせた『住み続けたくない』という意向は全体の7.8%である。



■問3 高岡市で居住×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別、以前の住まい別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別、以前の住まい別のほぼすべての項目で「どちらかといえば住みたい」が最も多い。「どちらともいえない」が最も多いのは、年齢別では20代、居住年数別では1～4年、以前の住まい別では県外となっている。年齢別にみると70歳以上で「ずっと住みたい」が最も多い。

年齢別にみると、『住みたい』という意向は70歳以上が75.9%と市全体の傾向と比べて多く、40代以下で少ない（10代：56.7%、20代：51.7%、30代：57.7%、40代：59.7%）。また、20代において「どちらともいえない」が多くなっています。就職や結婚といったライフイベントにより転居する可能性を示唆していると推測される。

居住地域別にみると、『住みたい』という意向は南星校区、国吉校区、五位校区が市全体の傾向と比べて多く（南星校区：73.0%、国吉校区：75.5%、五位：71.8%）、牧野校区が54.9%と市全体の傾向と比べて著しく少ない。特に牧野校区では「ずっと住みたい」が著しく少ない。

居住年数別にみると、『住みたい』という意向は20年以上が市全体の傾向と比べて71.0%と多い一方、1年未満、10～19年が市全体の傾向と比べて少ない（1年未満：60.3%、10～19年：59.7%）。特に、1～4年が51.7%と著しく少ない。また、居住年数1～4年において「どちらともいえない」が著しく多い。

以前の住まい別にみると、『住みたい』という意向は以前の住まいが富山県内の他市町村、県外が市全体の傾向と比べて著しく少なく（富山県内の他市町村：54.2%、県外：39.8%）、『住みたくない』という意向は富山県内の他市町村が14.1%と多く、県外が21.7%と著しく多い。また、以前の住まいが県外において、「ずっと住みたい」、「どちらかといえば住みたい」が著しく少なく、「どちらともいえない」が著しく多くなっていることから、定住に向けた本市の良さをPRする取り組みが必要であると考えられる。

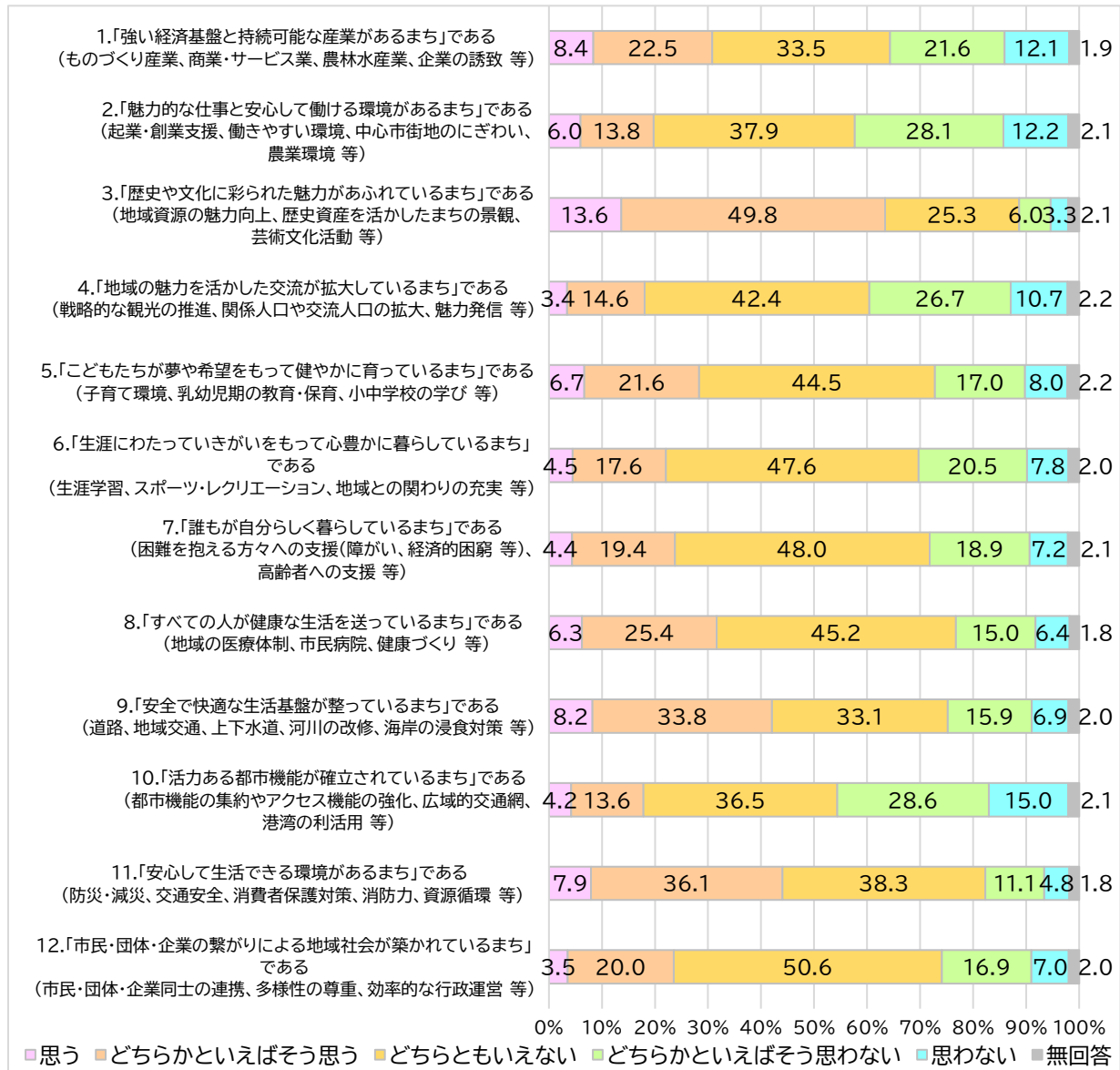
問4：めざすまちの姿

■問4（1） 高岡市では「住みたいまち 高岡」の実現のために、以下に示す12のめざすまちの姿を実現することが重要と考えています。

あなたは、現在の高岡市について、どのようなまちだと思いますか。

それぞれあてはまるものを**1つだけ**選んで番号に○印をつけてください。

現在の高岡市について、「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』は「3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である」が63.4%と最も多く、次いで「11.「安心して生活できる環境があるまち」である」（44.0%）、「9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である」（42.0%）となっている。一方、「思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』は「10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である」が43.6%と最も多く、次いで「2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である」（40.3%）、「4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である」（37.4%）となっている。



■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×性別

1～6について性別でみると、「1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である」は男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多い。

「2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である」は全性別で「どちらともいえない」が最も多い。

「3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である」は全性別で「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

「4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である」、「5.「子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」である」は全性別で「どちらともいえない」が最も多い。

「6.「生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち」である」は男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多い。

		1	2	3	4	5		
		思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答	
単位：%		n						
1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である	合計	2,334	8.4	22.5	33.5	21.6	12.1	1.9
	1 男性	885	11.1	20.9	28.9	23.5	14.1	1.5
	2 女性	1,009	6.4	24.2	37.7	19.5	10.8	1.4
	3 回答しない	20	5.0	30.0	25.0	30.0	10.0	0.0
2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である	合計	2,334	6.0	13.8	37.9	28.1	12.2	2.1
	1 男性	885	8.1	12.5	36.0	28.2	13.7	1.4
	2 女性	1,009	4.0	15.0	40.0	28.0	11.2	1.8
	3 回答しない	20	5.0	15.0	35.0	35.0	10.0	0.0
3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である	合計	2,334	13.6	49.8	25.3	6.0	3.3	2.1
	1 男性	885	13.2	51.2	23.6	6.7	3.8	1.5
	2 女性	1,009	15.1	52.0	24.0	4.8	2.5	1.7
	3 回答しない	20	10.0	45.0	40.0	5.0	0.0	0.0
4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である	合計	2,334	3.4	14.6	42.4	26.7	10.7	2.2
	1 男性	885	4.4	14.5	39.9	27.3	12.5	1.4
	2 女性	1,009	3.0	15.3	44.0	26.8	9.1	1.9
	3 回答しない	20	5.0	5.0	40.0	30.0	20.0	0.0
5.「子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」である	合計	2,334	6.7	21.6	44.5	17.0	8.0	2.2
	1 男性	885	7.9	19.7	43.1	17.3	10.4	1.7
	2 女性	1,009	6.1	24.3	46.0	16.7	5.3	1.7
	3 回答しない	20	5.0	15.0	50.0	25.0	5.0	0.0
6.「生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち」である	合計	2,334	4.5	17.6	47.6	20.5	7.8	2.0
	1 男性	885	5.1	16.7	45.8	22.3	8.9	1.2
	2 女性	1,009	4.0	19.6	50.7	17.4	6.6	1.6
	3 回答しない	20	5.0	10.0	30.0	40.0	15.0	0.0

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×性別（つづき）

7～12 について性別でみると、「7.「誰もが自分らしく暮らしているまち」である」、「8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である」、「11.「安心して生活できる環境があるまち」である」、「12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である」は全性別で「どちらともいえない」が最も多い。

「9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である」は男性で「どちらかといえばそう思う」が最も多く、女性で「どちらともいえない」が最も多い。

「10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である」は男性、女性ともに「どちらともいえない」が最も多い。

	単位：%	n	1	2	3	4	5	
			思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答
7.「誰もが自分らしく暮らしているまち」である	合計	2,334	4.4	19.4	48.0	18.9	7.2	2.1
	1 男性	885	5.0	18.1	49.6	18.1	7.9	1.4
	2 女性	1,009	4.0	20.9	47.9	18.1	7.3	1.8
	3 回答しない	20	5.0	10.0	55.0	25.0	5.0	0.0
8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である	合計	2,334	6.3	25.4	45.2	15.0	6.4	1.8
	1 男性	885	8.4	25.9	43.7	14.4	6.3	1.4
	2 女性	1,009	5.0	27.7	44.3	15.6	6.0	1.5
	3 回答しない	20	5.0	20.0	50.0	20.0	5.0	0.0
9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である	合計	2,334	8.2	33.8	33.1	15.9	6.9	2.0
	1 男性	885	11.0	35.0	28.9	16.2	7.5	1.5
	2 女性	1,009	6.4	34.3	36.4	15.2	6.1	1.6
	3 回答しない	20	5.0	25.0	20.0	40.0	10.0	0.0
10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である	合計	2,334	4.2	13.6	36.5	28.6	15.0	2.1
	1 男性	885	5.6	14.8	34.1	28.8	15.3	1.4
	2 女性	1,009	3.1	12.9	38.9	28.8	14.7	1.7
	3 回答しない	20	5.0	20.0	20.0	25.0	30.0	0.0
11.「安心して生活できる環境があるまち」である	合計	2,334	7.9	36.1	38.3	11.1	4.8	1.8
	1 男性	885	8.9	35.9	36.7	11.8	5.3	1.4
	2 女性	1,009	7.2	38.7	38.8	9.9	4.0	1.5
	3 回答しない	20	5.0	20.0	45.0	20.0	10.0	0.0
12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である	合計	2,334	3.5	20.0	50.6	16.9	7.0	2.0
	1 男性	885	4.4	20.7	47.8	18.3	7.6	1.2
	2 女性	1,009	2.5	22.3	51.7	15.2	6.4	1.9
	3 回答しない	20	5.0	10.0	60.0	20.0	5.0	0.0

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×年齢別

1～4について年齢別にみると、「1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である」はほとんどの年齢で「どちらともいえない」が最も多く、20代で「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

「2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である」は全ての年齢で「どちらともいえない」が最も多い。市全体の傾向と比べ10代で「思わない」が著しく多い。

「3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である」は全ての年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も多い。市全体の傾向と比べ20代以下で「思う」が著しく多いことから、多くの若年層では歴史や文化の魅力を感じていることが推測される。

「4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である」は全ての年齢で「どちらともいえない」が最も多い。市全体の傾向と比べ10代で「思わない」が著しく多い。

		単位：%	n	1	2	3	4	5	
				思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答
1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である	合計	2,334		8.4	22.5	33.5	21.6	12.1	1.9
	1 18～19歳	30		16.7	23.3	33.3	13.3	13.3	0.0
	2 20～29歳	151		15.9	31.8	29.1	13.9	9.3	0.0
	3 30～39歳	241		7.5	24.9	29.0	20.7	16.2	1.7
	4 40～49歳	360		7.8	25.0	31.1	22.8	13.1	0.3
	5 50～59歳	437		6.2	21.5	34.8	22.4	14.9	0.2
	6 60～69歳	450		9.1	20.2	33.3	24.4	10.9	2.0
	7 70歳以上	638		7.7	20.2	37.9	21.2	8.9	4.1
2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である	合計	2,334		6.0	13.8	37.9	28.1	12.2	2.1
	1 18～19歳	30		6.7	10.0	36.7	16.7	30.0	0.0
	2 20～29歳	151		11.3	20.5	30.5	26.5	10.6	0.7
	3 30～39歳	241		4.6	17.8	37.3	22.8	15.8	1.7
	4 40～49歳	360		6.7	13.3	36.4	31.4	11.9	0.3
	5 50～59歳	437		4.8	13.0	39.4	28.8	13.7	0.2
	6 60～69歳	450		6.7	13.8	35.6	30.2	11.8	2.0
	7 70歳以上	638		5.3	11.8	42.2	27.3	9.1	4.4
3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である	合計	2,334		13.6	49.8	25.3	6.0	3.3	2.1
	1 18～19歳	30		30.0	53.3	6.7	3.3	6.7	0.0
	2 20～29歳	151		27.8	47.0	19.2	5.3	0.7	0.0
	3 30～39歳	241		17.4	55.6	16.2	5.0	3.7	2.1
	4 40～49歳	360		13.6	53.9	23.6	4.7	3.9	0.3
	5 50～59歳	437		12.8	55.6	23.3	5.3	2.7	0.2
	6 60～69歳	450		10.7	48.7	28.4	6.2	3.8	2.2
	7 70歳以上	638		10.7	43.3	31.5	7.4	2.8	4.4
4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である	合計	2,334		3.4	14.6	42.4	26.7	10.7	2.2
	1 18～19歳	30		13.3	20.0	30.0	13.3	23.3	0.0
	2 20～29歳	151		9.3	19.2	36.4	24.5	10.6	0.0
	3 30～39歳	241		5.0	19.9	34.9	22.4	15.8	2.1
	4 40～49歳	360		2.8	15.6	42.5	25.6	13.3	0.3
	5 50～59歳	437		3.4	12.1	44.2	27.7	12.4	0.2
	6 60～69歳	450		2.4	14.9	42.0	30.2	8.4	2.0
	7 70歳以上	638		2.0	12.5	46.4	27.4	6.7	4.9

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×年齢別（つづき）

5～8について年齢別にみると、「5.「子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」である」はほとんどの年齢で「どちらともいえない」が最も多く、10代で「どちらかといえばそう思う」、「思わない」が最も多い。

「6.「生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち」である」は全ての年齢で「どちらともいえない」が最も多い。市全体の傾向と比べ10代で「思わない」が著しく多く、10代、30代で「どちらともいえない」が著しく少ない。

「7.「誰もが自分らしく暮らしているまち」である」は全ての年齢で「どちらともいえない」が最も多い。また、10代は並んで「どちらかといえばそう思う」も最も多い。

「8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である」はほとんどの年齢で「どちらともいえない」が最も多く、10代で「思う」が最も多い。市全体の傾向と比べ10代で「思う」が著しく多く、「どちらともいえない」が著しく少ない。

		単位：%	n	1 思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらともい えない	4 どちらかといえ ばそう思わな い	5 思わ ない	無 回 答
5.「子どもたちが 夢や希望をもっ て健やかに育っ ているまち」である	合計	2,334		6.7	21.6	44.5	17.0	8.0	2.2
	1 18～19歳	30		13.3	26.7	23.3	10.0	26.7	0.0
	2 20～29歳	151		13.9	21.9	41.7	16.6	6.0	0.0
	3 30～39歳	241		7.1	20.7	39.4	16.2	14.9	1.7
	4 40～49歳	360		7.5	21.9	42.5	16.7	10.8	0.6
	5 50～59歳	437		5.3	22.9	45.3	18.1	8.2	0.2
	6 60～69歳	450		6.2	20.0	48.0	17.3	6.4	2.0
	7 70歳以上	638		5.3	21.9	46.7	17.2	3.8	5.0
合計	2,334		4.5	17.6	47.6	20.5	7.8	2.0	
6.「生涯にわたっ ていきがいをも って心豊かに暮ら しているまち」であ る	合計	2,334		10.0	20.0	26.7	20.0	23.3	0.0
	1 18～19歳	30		10.6	26.5	41.7	15.2	6.0	0.0
	2 20～29歳	151		5.8	19.9	35.7	23.7	13.3	1.7
	3 30～39歳	241		4.4	13.3	51.4	21.7	8.6	0.6
	4 40～49歳	360		4.3	15.8	49.4	21.7	8.5	0.2
	5 50～59歳	437		4.0	16.2	51.1	21.1	5.6	2.0
	6 60～69歳	450		2.7	19.6	49.2	18.5	5.8	4.2
	7 70歳以上	638		2.7	19.6	49.2	18.5	5.8	4.2

		単位：%	n	1 思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらともい えない	4 どちらかといえ ばそう思わな い	5 思わ ない	無 回 答
7.「誰もが自分ら しく暮らしてい るまち」である	合計	2,334		4.4	19.4	48.0	18.9	7.2	2.1
	1 18～19歳	30		20.0	26.7	26.7	13.3	13.3	0.0
	2 20～29歳	151		7.3	25.8	51.0	10.6	5.3	0.0
	3 30～39歳	241		3.3	22.8	45.2	15.4	11.6	1.7
	4 40～49歳	360		4.2	12.8	55.3	18.3	8.9	0.6
	5 50～59歳	437		5.3	19.2	47.4	18.5	8.9	0.7
	6 60～69歳	450		2.7	18.4	49.1	23.3	4.4	2.0
	7 70歳以上	638		3.9	21.2	45.5	19.7	5.3	4.4
合計	2,334		6.3	25.4	45.2	15.0	6.4	1.8	
8.「すべての人が 健康な生活を送 っているまち」であ る	合計	2,334		33.3	16.7	30.0	10.0	10.0	0.0
	1 18～19歳	30		11.9	31.8	41.1	9.3	6.0	0.0
	2 20～29歳	151		5.8	30.7	40.7	11.6	9.1	2.1
	3 30～39歳	241		7.2	21.9	50.0	13.9	6.7	0.3
	4 40～49歳	360		6.2	27.0	45.3	15.1	6.2	0.2
	5 50～59歳	437		5.3	24.4	45.1	18.4	4.9	1.8
	6 60～69歳	450		4.1	24.3	46.4	15.7	6.0	3.6
	7 70歳以上	638		4.1	24.3	46.4	15.7	6.0	3.6

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×年齢別（つづき）

9～12について年齢別にみると、「9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である」はほとんどの年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も多く、60代、70歳以上で「どちらともいえない」が最も多いことから、地域交通網など生活基盤に対する高齢者の評価の低さがうかがえる。また、市全体の傾向と比べ10代で「思う」、「思わない」が著しく多く、「どちらともいえない」が著しく少ない。

「10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である」は全ての年齢で「どちらともいえない」が最も多い。

「11.「安心して生活できる環境があるまち」である」はほとんどの年齢で「どちらかといえばそう思う」が最も多く、40代、60代、70歳以上で「どちらともいえない」が最も多い。市全体の傾向と比べ20代以下で「どちらともいえない」が著しく少なく、「思う」が多い。

「12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である」は全ての年齢で「どちらともいえない」が最も多い。市全体の傾向と比べ20代を中心とした若年層で「どちらかといえばそう思う」が多い傾向があり、若年層から市民が主役のまちづくりや、多様性の尊重等の施策について一定の評価を得ているものと考えられる。

		単位：%	n	1	2	3	4	5	
				思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答
9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である	合計	2,334		8.2	33.8	33.1	15.9	6.9	2.0
	1 18～19歳	30		20.0	30.0	20.0	10.0	20.0	0.0
	2 20～29歳	151		16.6	39.1	23.2	14.6	6.0	0.7
	3 30～39歳	241		7.9	36.9	32.8	12.9	7.9	1.7
	4 40～49歳	360		9.2	35.0	32.8	15.6	7.2	0.3
	5 50～59歳	437		7.1	36.2	29.7	18.5	8.0	0.5
	6 60～69歳	450		7.3	28.9	40.0	14.9	6.9	2.0
	7 70歳以上	638		6.9	33.5	34.0	16.6	4.9	4.1
10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である	合計	2,334		4.2	13.6	36.5	28.6	15.0	2.1
	1 18～19歳	30		13.3	13.3	33.3	26.7	13.3	0.0
	2 20～29歳	151		7.3	21.9	36.4	22.5	11.9	0.0
	3 30～39歳	241		3.7	19.1	34.9	24.1	16.6	1.7
	4 40～49歳	360		5.0	15.6	32.8	28.1	18.1	0.6
	5 50～59歳	437		4.1	14.2	32.3	30.0	19.2	0.2
	6 60～69歳	450		4.4	10.4	36.7	33.6	12.9	2.0
	7 70歳以上	638		2.7	10.2	42.9	28.2	11.6	4.4
11.「安心して生活できる環境があるまち」である	合計	2,334		7.9	36.1	38.3	11.1	4.8	1.8
	1 18～19歳	30		30.0	40.0	20.0	3.3	6.7	0.0
	2 20～29歳	151		17.2	43.0	27.8	9.9	2.0	0.0
	3 30～39歳	241		7.5	37.3	36.5	12.0	5.0	1.7
	4 40～49歳	360		7.8	38.3	39.2	8.9	5.3	0.6
	5 50～59歳	437		6.9	37.5	36.2	12.8	5.9	0.7
	6 60～69歳	450		7.6	32.7	41.6	12.2	4.0	2.0
	7 70歳以上	638		6.1	34.3	41.5	10.5	4.2	3.3
12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である	合計	2,334		3.5	20.0	50.6	16.9	7.0	2.0
	1 18～19歳	30		16.7	26.7	36.7	6.7	13.3	0.0
	2 20～29歳	151		6.6	34.4	46.4	6.6	6.0	0.0
	3 30～39歳	241		3.3	27.8	42.3	17.4	7.5	1.7
	4 40～49歳	360		5.0	20.3	51.7	15.3	7.5	0.3
	5 50～59歳	437		3.7	19.2	52.2	16.5	8.2	0.2
	6 60～69歳	450		2.0	18.4	52.7	18.9	6.0	2.0
	7 70歳以上	638		2.5	14.7	53.0	19.4	6.1	4.2

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×居住地域別

1～4について居住地域別にみると、「1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である」は全ての地域で「どちらともいえない」が最も多い。市全体の傾向と比べ国吉校区で「どちらともいえない」が著しく多く、「どちらかといえばそう思う」が著しく少ない。

「2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である」はほとんどの地域で「どちらともいえない」が最も多く、南星校区で「どちらかといえばそう思わない」が最も多い。

「3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である」は全ての地域で「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

「4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である」は全ての地域で「どちらともいえない」が最も多い。

		単位：%	n	1	2	3	4	5	
				思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答
1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である	合計	2,334		8.4	22.5	33.5	21.6	12.1	1.9
	1 高陵	150		8.0	25.3	32.7	21.3	10.7	2.0
	2 高岡西部	197		9.6	22.8	32.0	22.8	10.7	2.0
	3 南星	311		6.4	21.5	33.4	24.4	11.9	2.3
	4 志貴野	328		9.1	23.5	32.0	19.5	13.7	2.1
	5 芳野	412		9.0	22.3	31.6	22.8	12.9	1.5
	6 伏木	173		4.0	24.3	37.0	22.0	11.6	1.2
	7 国吉	49		14.3	12.2	44.9	20.4	8.2	0.0
	8 牧野	131		6.9	28.2	32.1	15.3	16.8	0.8
	9 五位	138		10.9	26.1	31.2	19.6	9.4	2.9
	10 戸出	178		8.4	23.6	36.5	20.2	9.6	1.7
	11 中田	74		5.4	16.2	43.2	23.0	10.8	1.4
	12 福岡	168		11.3	15.5	35.1	25.6	11.3	1.2
2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である	合計	2,334		6.0	13.8	37.9	28.1	12.2	2.1
	1 高陵	150		6.7	15.3	36.7	26.7	12.7	2.0
	2 高岡西部	197		7.1	8.6	39.1	29.9	13.2	2.0
	3 南星	311		3.2	14.5	33.4	34.4	12.2	2.3
	4 志貴野	328		5.2	15.2	37.2	27.4	12.2	2.7
	5 芳野	412		8.0	13.3	38.8	25.5	12.9	1.5
	6 伏木	173		1.7	11.6	39.3	34.7	11.0	1.7
	7 国吉	49		8.2	12.2	38.8	34.7	6.1	0.0
	8 牧野	131		5.3	16.8	40.5	23.7	13.0	0.8
	9 五位	138		8.7	16.7	39.9	22.5	9.4	2.9
	10 戸出	178		6.2	14.6	41.6	24.2	11.2	2.2
	11 中田	74		2.7	12.2	41.9	31.1	9.5	2.7
	12 福岡	168		8.9	13.7	36.9	26.8	13.1	0.6
3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である	合計	2,334		13.6	49.8	25.3	6.0	3.3	2.1
	1 高陵	150		16.7	50.0	24.0	5.3	2.0	2.0
	2 高岡西部	197		15.7	46.7	26.9	6.1	2.0	2.5
	3 南星	311		13.2	52.7	21.5	6.1	4.2	2.3
	4 志貴野	328		16.8	48.8	26.8	3.0	2.4	2.1
	5 芳野	412		13.3	50.7	25.5	5.1	3.9	1.5
	6 伏木	173		15.0	53.8	22.5	4.6	1.7	2.3
	7 国吉	49		18.4	40.8	30.6	6.1	4.1	0.0
	8 牧野	131		8.4	58.0	18.3	8.4	4.6	2.3
	9 五位	138		13.0	47.1	23.9	8.0	5.1	2.9
	10 戸出	178		10.7	48.3	29.2	9.6	1.1	1.1
	11 中田	74		8.1	43.2	35.1	6.8	4.1	2.7
	12 福岡	168		10.1	48.8	28.6	7.1	4.8	0.6
4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である	合計	2,334		3.4	14.6	42.4	26.7	10.7	2.2
	1 高陵	150		2.7	14.0	40.0	30.7	10.7	2.0
	2 高岡西部	197		4.1	12.7	41.6	27.4	12.2	2.0
	3 南星	311		2.9	13.2	41.8	30.9	9.0	2.3
	4 志貴野	328		3.4	14.3	40.9	28.7	10.4	2.4
	5 芳野	412		3.6	14.1	42.5	27.2	10.9	1.7
	6 伏木	173		4.0	19.1	40.5	24.9	9.8	1.7
	7 国吉	49		8.2	10.2	44.9	28.6	6.1	2.0
	8 牧野	131		1.5	19.8	45.8	21.4	10.7	0.8
	9 五位	138		5.1	12.3	42.0	26.8	10.9	2.9
	10 戸出	178		2.2	12.9	43.3	23.6	15.7	2.2
	11 中田	74		2.7	10.8	47.3	24.3	12.2	2.7
	12 福岡	168		3.6	20.8	46.4	20.2	7.7	1.2

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×居住地域別（つづき）

5～8について居住地域別にみると、「5.「子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」である」、「6.「生涯にわたっていきがいをもち心豊かに暮らしているまち」である」、「7.「誰もが自分らしく暮らしているまち」である」、「8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である」は全ての地域で「どちらともいえない」が最も多い。

		単位：%	n	1 思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらともい えない	4 どちらかといえ ばそう思わな い	5 思わない	無 回答
5.「子どもたちが 夢や希望をもつ て健やかに育つ ているまち」である	合計	2,334		6.7	21.6	44.5	17.0	8.0	2.2
	1 高陵	150		5.3	22.0	46.7	16.7	6.7	2.7
	2 高岡西部	197		8.6	19.8	45.7	17.3	6.6	2.0
	3 南星	311		4.8	20.9	47.9	15.8	7.7	2.9
	4 志貴野	328		5.5	17.4	48.8	19.5	6.7	2.1
	5 芳野	412		6.6	24.3	43.7	16.5	7.0	1.9
	6 伏木	173		6.4	22.0	41.0	17.3	11.6	1.7
	7 国吉	49		14.3	20.4	36.7	18.4	8.2	2.0
	8 牧野	131		9.2	23.7	36.6	17.6	12.2	0.8
	9 五位	138		7.2	23.2	42.0	20.3	5.1	2.2
	10 戸出	178		7.9	20.8	47.2	13.5	9.0	1.7
	11 中田	74		5.4	18.9	50.0	14.9	8.1	2.7
	12 福岡	168		7.7	25.6	41.1	16.7	8.3	0.6
6.「生涯にわた っていきがいを もち心豊かに暮 らしているまち」である	合計	2,334		4.5	17.6	47.6	20.5	7.8	2.2
	1 高陵	150		2.0	16.0	54.7	20.0	6.0	1.3
	2 高岡西部	197		4.1	17.8	47.7	22.3	6.1	2.0
	3 南星	311		3.5	19.3	46.6	20.6	8.0	1.9
	4 志貴野	328		4.3	14.3	50.6	21.3	7.0	2.4
	5 芳野	412		4.1	18.4	47.3	19.9	8.3	1.9
	6 伏木	173		2.9	21.4	46.8	20.2	7.5	1.2
	7 国吉	49		10.2	16.3	42.9	20.4	10.2	0.0
	8 牧野	131		6.1	16.8	48.9	18.3	8.4	1.5
	9 五位	138		5.1	17.4	49.3	15.2	10.9	2.2
	10 戸出	178		5.1	15.2	46.1	24.2	8.4	1.1
	11 中田	74		5.4	9.5	52.7	21.6	8.1	2.7
	12 福岡	168		6.5	25.0	40.5	20.2	6.5	1.2

		単位：%	n	1 思う	2 どちらかといえ ばそう思う	3 どちらともい えない	4 どちらかといえ ばそう思わな い	5 思わない	無 回答
7.「誰もが自分 らしく暮らして いるまち」である	合計	2,334		4.4	19.4	48.0	18.9	7.2	2.1
	1 高陵	150		4.0	14.7	56.0	17.3	5.3	2.7
	2 高岡西部	197		5.6	15.2	48.7	22.8	5.6	2.0
	3 南星	311		4.5	20.6	46.9	19.6	6.1	2.3
	4 志貴野	328		3.4	20.4	49.4	18.3	6.4	2.1
	5 芳野	412		4.4	20.4	46.8	18.4	7.8	2.2
	6 伏木	173		2.9	19.1	48.6	22.5	5.8	1.2
	7 国吉	49		10.2	20.4	49.0	10.2	10.2	0.0
	8 牧野	131		3.8	22.1	46.6	16.8	9.9	0.8
	9 五位	138		5.8	18.1	48.6	15.2	10.1	2.2
	10 戸出	178		4.5	18.0	48.9	19.1	7.9	1.7
	11 中田	74		4.1	18.9	51.4	16.2	5.4	4.1
	12 福岡	168		4.8	22.6	44.0	19.0	8.9	0.6
8.「すべての人 が健康な生活 を送っている まち」である	合計	2,334		6.3	25.4	45.2	15.0	6.4	1.8
	1 高陵	150		8.0	26.7	43.3	16.7	4.0	1.3
	2 高岡西部	197		6.6	24.4	49.2	12.7	5.1	2.0
	3 南星	311		4.2	26.7	45.7	14.5	7.1	1.9
	4 志貴野	328		5.2	24.1	49.1	15.9	4.0	1.8
	5 芳野	412		6.3	26.9	43.7	15.3	6.6	1.2
	6 伏木	173		5.8	23.7	41.6	20.2	7.5	1.2
	7 国吉	49		12.2	16.3	51.0	14.3	6.1	0.0
	8 牧野	131		7.6	22.1	48.9	12.2	8.4	0.8
	9 五位	138		5.1	29.0	45.7	10.9	6.5	2.9
	10 戸出	178		7.9	24.2	43.3	14.0	9.6	1.1
	11 中田	74		8.1	21.6	48.6	13.5	5.4	2.7
	12 福岡	168		6.5	29.8	39.9	16.7	6.0	1.2

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×居住地域別（つづき）

9～12 について居住地域別にみると、「9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である」は半数以上の地域で「どちらかといえばそう思う」が最も多く、芳野校区、伏木校区、国吉校区、五位校区、中田校区、福岡校区で「どちらともいえない」が最も多い。

「10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である」はほとんどの地域で「どちらともいえない」が最も多く、伏木校区で「どちらかといえばそう思わない」が最も多い。

「11.「安心して生活できる環境があるまち」である」は半数以上の地域で「どちらともいえない」が最も多く、高陵校区、芳野校区、国吉校区、五位校区、福岡校区で「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

「12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である」は全ての地域で「どちらともいえない」が最も多い。

		1	2	3	4	5		
単位：%		思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	無回答	
n								
9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である	合計	2,334	8.2	33.8	33.1	15.9	6.9	2.0
	1 高陵	150	6.0	39.3	31.3	16.7	4.0	2.7
	2 高岡西部	197	8.6	35.0	33.5	14.2	6.6	2.0
	3 南星	311	7.7	36.3	31.5	15.8	6.8	1.9
	4 志貴野	328	7.9	34.8	31.7	16.8	6.7	2.1
	5 芳野	412	10.4	32.0	32.0	16.0	8.0	1.5
	6 伏木	173	4.0	28.9	34.1	21.4	10.4	1.2
	7 国吉	49	8.2	36.7	42.9	6.1	6.1	0.0
	8 牧野	131	6.9	35.1	33.6	13.0	9.9	1.5
	9 五位	138	8.0	30.4	36.2	16.7	5.8	2.9
	10 戸出	178	10.1	34.8	33.1	16.3	4.5	1.1
	11 中田	74	9.5	27.0	31.1	21.6	6.8	4.1
	12 福岡	168	8.3	36.9	38.1	10.7	5.4	0.6
10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である	合計	2,334	4.2	13.6	36.5	28.6	15.0	2.1
	1 高陵	150	4.7	14.7	38.7	28.0	12.0	2.0
	2 高岡西部	197	5.1	11.7	38.1	26.9	15.7	2.5
	3 南星	311	1.9	10.6	41.5	31.2	12.9	1.9
	4 志貴野	328	5.2	13.4	34.1	31.1	14.0	2.1
	5 芳野	412	4.1	17.0	35.0	26.9	15.3	1.7
	6 伏木	173	2.3	15.0	28.9	29.5	23.1	1.2
	7 国吉	49	10.2	14.3	38.8	22.4	14.3	0.0
	8 牧野	131	6.1	13.0	33.6	28.2	18.3	0.8
	9 五位	138	5.1	11.6	35.5	31.9	13.0	2.9
	10 戸出	178	3.9	15.2	39.3	27.0	12.9	1.7
	11 中田	74	2.7	8.1	43.2	24.3	18.9	2.7
	12 福岡	168	4.2	13.7	39.9	28.6	12.5	1.2
11.「安心して生活できる環境があるまち」である	合計	2,334	7.9	36.1	38.3	11.1	4.8	1.8
	1 高陵	150	10.0	40.7	35.3	9.3	2.7	2.0
	2 高岡西部	197	8.6	35.0	38.6	11.2	4.1	2.5
	3 南星	311	6.4	35.7	39.5	12.5	3.5	2.3
	4 志貴野	328	8.2	35.4	39.6	11.0	4.0	1.8
	5 芳野	412	8.7	35.9	35.4	12.6	6.1	1.2
	6 伏木	173	5.2	32.9	40.5	15.6	4.6	1.2
	7 国吉	49	8.2	40.8	36.7	10.2	4.1	0.0
	8 牧野	131	5.3	33.6	42.7	9.9	6.9	1.5
	9 五位	138	8.7	41.3	31.9	10.1	5.8	2.2
	10 戸出	178	8.4	37.1	39.3	8.4	5.6	1.1
	11 中田	74	9.5	32.4	41.9	12.2	1.4	2.7
	12 福岡	168	8.3	39.9	39.3	7.1	4.8	0.6
12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である	合計	2,334	3.5	20.0	50.6	16.9	7.0	2.0
	1 高陵	150	2.7	17.3	54.0	19.3	4.7	2.0
	2 高岡西部	197	4.6	22.3	46.2	17.3	7.6	2.0
	3 南星	311	1.0	19.9	51.4	16.7	9.0	1.9
	4 志貴野	328	2.4	18.6	55.2	17.4	4.3	2.1
	5 芳野	412	4.1	18.9	48.3	18.4	8.5	1.7
	6 伏木	173	3.5	27.2	42.2	19.7	6.4	1.2
	7 国吉	49	6.1	22.4	49.0	14.3	8.2	0.0
	8 牧野	131	3.1	16.8	57.3	13.7	8.4	0.8
	9 五位	138	5.8	21.7	49.3	15.2	5.1	2.9
	10 戸出	178	3.9	18.5	53.4	15.7	6.7	1.7
	11 中田	74	1.4	18.9	52.7	17.6	6.8	2.7
	12 福岡	168	6.5	22.0	50.6	13.7	6.0	1.2

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×居住年数別

1～6について居住年数別にみると、「1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である」はほとんどの年数で「どちらともいえない」が最も多く、1年未満で「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

「2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である」は全ての年数で「どちらともいえない」が最も多い。

「3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である」は全ての年数で「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

「4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である」は全ての年数で「どちらともいえない」が最も多い。

「5.「子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」である」は全ての年数で「どちらともいえない」が最も多い。市全体の傾向と比べ居住年数1年未満で「思う」が著しく多いことから、直近の転居者から子育て施策への評価が高いものと推測される。

「6.「生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち」である」は全ての年数で「どちらともいえない」が最も多い。市全体の傾向と比べ居住年数1年未満で「思う」が著しく多いことから、直近の転居者から、生涯学習等に関する施策への評価が高いものと推測される。

		単位：%	n	1 思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 思わない	無回答
1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である	合計	2,334		8.4	22.5	33.5	21.6	12.1	1.9
	1 1年未満	73		15.1	30.1	26.0	15.1	13.7	0.0
	2 1～4年	211		8.5	26.5	32.2	15.6	15.2	1.9
	3 5～9年	228		10.5	23.2	32.5	21.1	11.4	1.3
	4 10～19年	402		8.0	23.6	33.1	20.4	13.4	1.5
	5 20年以上	1,393		7.8	21.1	34.9	23.3	11.1	1.9
	合計	2,334		6.0	13.8	37.9	28.1	12.2	2.1
2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である	1 1年未満	73		9.6	23.3	32.9	24.7	9.6	0.0
	2 1～4年	211		5.7	17.5	37.9	22.3	14.7	1.9
	3 5～9年	228		7.5	19.7	34.2	25.0	11.8	1.8
	4 10～19年	402		7.0	13.4	38.1	26.6	13.4	1.5
	5 20年以上	1,393		5.3	12.1	39.0	30.0	11.6	2.1
		合計	2,334		13.6	49.8	25.3	6.0	3.3
3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である	1 1年未満	73		28.8	49.3	16.4	5.5	0.0	0.0
	2 1～4年	211		19.0	52.1	17.1	5.2	4.7	1.9
	3 5～9年	228		15.4	52.6	22.8	3.9	2.6	2.6
	4 10～19年	402		14.2	52.2	22.9	5.0	4.5	1.2
	5 20年以上	1,393		11.6	48.5	28.3	6.7	2.9	2.0
		合計	2,334		13.6	49.8	25.3	6.0	3.3

		単位：%	n	1 思う	2 どちらかといえばそう思う	3 どちらともいえない	4 どちらかといえばそう思わない	5 思わない	無回答
4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である	合計	2,334		3.4	14.6	42.4	26.7	10.7	2.2
	1 1年未満	73		9.6	21.9	37.0	23.3	8.2	0.0
	2 1～4年	211		5.7	19.4	34.6	23.2	14.7	2.4
	3 5～9年	228		5.7	17.1	35.1	28.5	11.8	1.8
	4 10～19年	402		4.0	15.9	42.3	24.4	12.2	1.2
	5 20年以上	1,393		2.2	12.8	45.3	28.0	9.5	2.2
	合計	2,334		6.7	21.6	44.5	17.0	8.0	2.2
5.「子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」である	1 1年未満	73		17.8	20.5	45.2	11.0	5.5	0.0
	2 1～4年	211		8.1	18.0	43.6	17.5	10.9	1.9
	3 5～9年	228		8.3	21.1	41.2	14.5	13.2	1.8
	4 10～19年	402		9.2	20.6	39.1	20.4	9.2	1.5
	5 20年以上	1,393		4.9	22.7	47.0	16.8	6.3	2.3
		合計	2,334		4.5	17.6	47.6	20.5	7.8
6.「生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち」である	1 1年未満	73		15.1	21.9	39.7	16.4	5.5	1.4
	2 1～4年	211		5.2	20.4	41.7	19.9	11.4	1.4
	3 5～9年	228		6.1	18.4	39.9	24.1	9.6	1.8
	4 10～19年	402		5.5	14.4	46.5	23.4	8.7	1.5
	5 20年以上	1,393		3.2	17.9	50.7	19.5	6.8	1.9
		合計	2,334		4.5	17.6	47.6	20.5	7.8

■問4（1）現在の高岡市のまちの姿について×居住年数別（つづき）

7～12 について居住年数別にみると、「7.「誰もが自分らしく暮らしているまち」である」、「8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である」、「10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である」、「12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である」は全ての年数で「どちらともいえない」が最も多い。

「9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である」は居住年数9年以下で「どちらかといえばそう思う」が最も多く、10年以上で「どちらともいえない」が最も多い。

「11.「安心して生活できる環境があるまち」である」は半数以上の年数で「どちらともいえない」が最も多く、1年未満、5～9年で「どちらかといえばそう思う」が最も多い。

単位：%		n	1	2	3	4	5	無回答
			思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	
合計		2,334	4.4	19.4	48.0	18.9	7.2	2.1
7.「誰もが自分らしく暮らしているまち」である	1 1年未満	73	13.7	16.4	54.8	9.6	5.5	0.0
	2 1～4年	211	4.7	19.4	49.3	15.6	9.5	1.4
	3 5～9年	228	5.7	18.4	44.3	19.7	10.1	1.8
	4 10～19年	402	6.0	17.9	48.0	17.4	8.7	2.0
	5 20年以上	1,393	3.2	20.1	48.7	20.0	6.0	2.1
合計		2,334	6.3	25.4	45.2	15.0	6.4	1.8
8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である	1 1年未満	73	12.3	26.0	43.8	11.0	5.5	1.4
	2 1～4年	211	8.1	27.5	41.2	15.6	5.7	1.9
	3 5～9年	228	7.9	24.6	46.1	14.0	5.7	1.8
	4 10～19年	402	10.0	22.1	44.5	14.4	7.7	1.2
	5 20年以上	1,393	4.3	26.1	46.4	15.3	6.2	1.6
合計		2,334	8.2	33.8	33.1	15.9	6.9	2.0
9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である	1 1年未満	73	13.7	34.2	31.5	9.6	9.6	1.4
	2 1～4年	211	12.8	35.5	28.9	11.8	9.0	1.9
	3 5～9年	228	10.1	34.6	27.6	18.4	7.5	1.8
	4 10～19年	402	10.2	30.8	33.3	16.7	7.5	1.5
	5 20年以上	1,393	6.3	34.6	34.9	16.2	6.2	1.9

単位：%		n	1	2	3	4	5	無回答
			思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない	
合計		2,334	4.2	13.6	36.5	28.6	15.0	2.1
10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である	1 1年未満	73	11.0	21.9	34.2	19.2	12.3	1.4
	2 1～4年	211	6.2	18.0	35.5	24.2	14.2	1.9
	3 5～9年	228	5.7	18.9	28.9	28.5	16.2	1.8
	4 10～19年	402	5.5	15.7	35.8	26.1	15.7	1.2
	5 20年以上	1,393	2.9	11.1	38.5	30.8	14.7	2.0
合計		2,334	7.9	36.1	38.3	11.1	4.8	1.8
11.「安心して生活できる環境があるまち」である	1 1年未満	73	13.7	38.4	30.1	16.4	1.4	0.0
	2 1～4年	211	8.5	35.1	37.9	9.5	7.1	1.9
	3 5～9年	228	9.2	37.7	36.4	9.2	5.7	1.8
	4 10～19年	402	9.5	36.1	37.3	10.2	5.5	1.5
	5 20年以上	1,393	6.9	36.3	39.5	11.6	4.1	1.7
合計		2,334	3.5	20.0	50.6	16.9	7.0	2.0
12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である	1 1年未満	73	8.2	24.7	46.6	13.7	6.8	0.0
	2 1～4年	211	4.7	26.1	46.0	13.7	7.6	1.9
	3 5～9年	228	3.5	21.9	46.5	19.7	6.6	1.8
	4 10～19年	402	5.2	18.4	53.5	13.4	8.0	1.5
	5 20年以上	1,393	2.6	19.2	51.7	18.0	6.7	1.9

■問4（1）満足度

回答者の意識を総合的に反映した分析を行うため、以下の算出法にしたがって、個々のめざすまちの姿の各選択肢に得点をつけ、満足度の指標を算出した。

◆満足度の指標の算出法

- ・「思う」の回答数 × 5点
- ・「どちらかといえばそう思う」の回答数 × 4点
- ・「どちらともいえない」の回答数 × 3点
- ・「どちらかといえばそう思わない」の回答数 × 2点
- ・「思わない」の回答数 × 1点

満足度指数は上限「5」（満足）、下限「1」（不満）で、中間値は「3」となる。

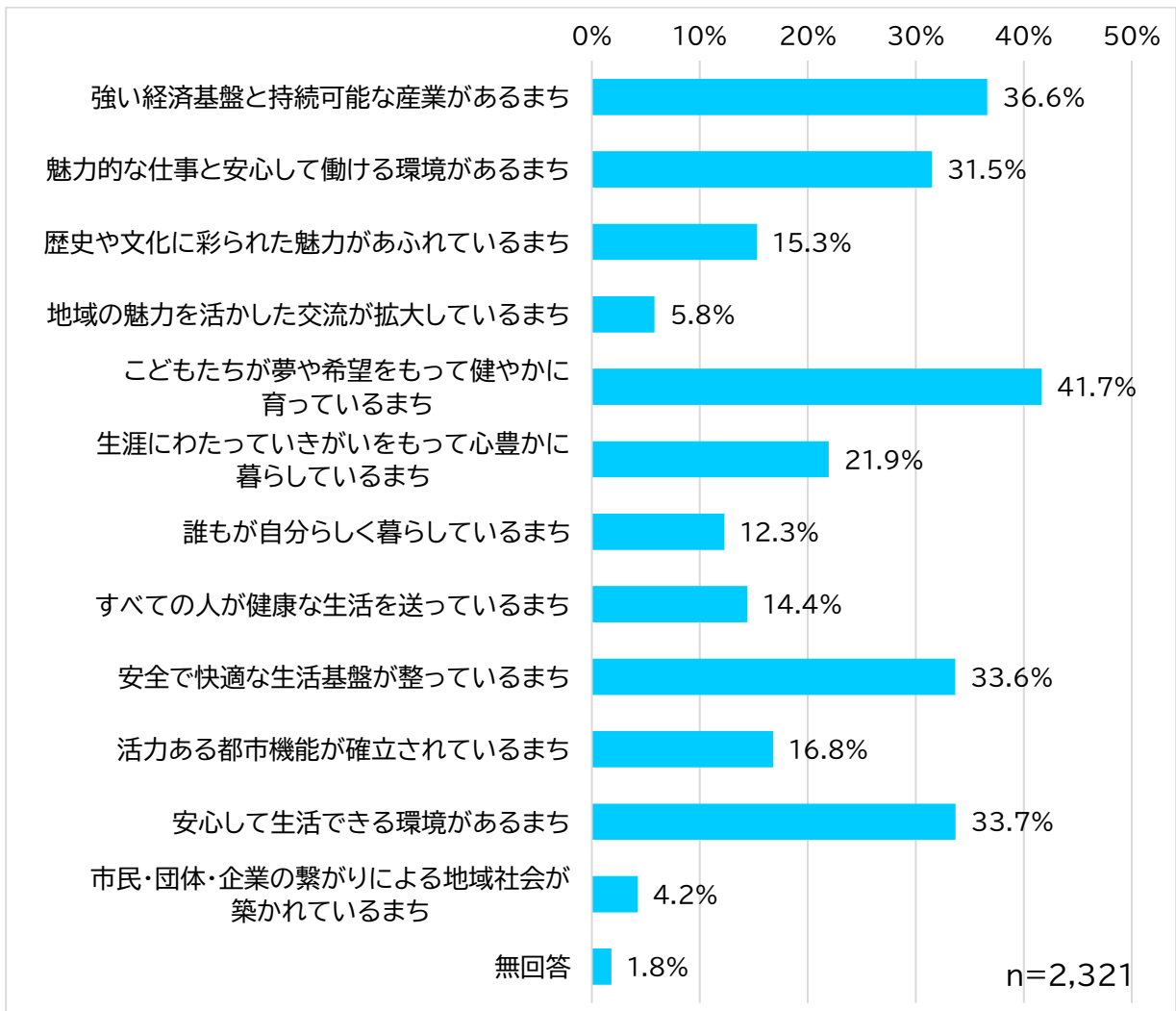
なお、満足度が[3]（中間値）以上である、めざすまちの姿は「3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である」、「8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である」、「9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である」、「11.「安心して生活できる環境があるまち」である」の4つである。

単位：件数	回答数	1	2	3	4	5	無回答	満足度の指標化
		思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	思わない		
1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である	2,334	195	524	783	504	283	45	2.88
2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である	2,334	139	322	885	655	284	49	2.67
3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である	2,334	318	1,162	590	139	76	49	3.58
4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である	2,334	80	341	989	623	250	51	2.67
5.「子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」である	2,334	156	505	1,038	397	186	52	2.95
6.「生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち」である	2,334	104	411	1,112	478	182	47	2.84
7.「誰もが自分らしく暮らしているまち」である	2,334	102	453	1,121	440	168	50	2.88
8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である	2,334	146	592	1,054	350	150	42	3.05
9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である	2,334	192	790	773	370	162	47	3.15
10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である	2,334	98	318	853	668	349	48	2.57
11.「安心して生活できる環境があるまち」である	2,334	185	843	893	259	111	43	3.26
12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である	2,334	82	467	1,181	394	164	46	2.90

■問4（2） 12のめざすまちの姿のうち、特に力を入れて目指していくべきものはどれだと思いますか。

次のうちあてはまるものを3つ以内で選んで番号に○印をつけてください。
また、市に期待する取組があれば自由に記載してください。

特に力を入れて目指していくべきまちの姿は、「こどもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」が41.7%で最も多く、次いで「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」が36.6%、「安心して生活できる環境があるまち」が33.7%、「安全で快適な生活基盤が整っているまち」が33.6%、「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」が31.5%となっている。



■問4（2）目指すべき高岡市のまちの姿について×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別の多くの項目で「5. こどもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」が最も多い。「1. 強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」が最も多いのは性別で男性、年齢別で 50 代、居住地域別で高陵校区、高岡西部校区、芳野校区、戸出校区となっている。「2. 魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」が最も多いのは、年齢別で 10 代、居住年数別で 1 年未満となっている。「9. 安全で快適な生活基盤が整っているまち」が居住地域別の福岡校区で最も多くなっている。また「11. 安心して生活できる環境があるまち」が最も多いのは、年齢別で 60 代、居住地域別で中田校区となっている。

年齢別にみると、市全体の傾向と比べ 30 代で「5. こどもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」が著しく多く、子育て世代における重要な課題であると推測される。また、市全体の傾向と比べ 10 代で「2. 魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」、「4. 地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」、「7. 誰もが自分らしく暮らしているまち」が著しく多く、「1. 強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」、「9. 安全で快適な生活基盤が整っているまち」、「11. 安心して生活できる環境があるまち」が著しく少ない。

居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ国吉校区、中田校区で「8. すべての人が健康な生活を送っているまち」が著しく多い。

単位：%		n												
		1 まち 強い経済基盤と持続可能な産業がある	2 あるまち 魅力的な仕事と安心して働ける環境がある	3 いるまち 歴史や文化に彩られた魅力があふれている	4 いるまち 地域の魅力を活かした交流が拡大している	5 に育っているまち 子どもたちが夢や希望をもって健やかに暮らしている	6 生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち	7 誰もが自分らしく暮らしているまち	8 まち すべての人が健康な生活を送っている	9 ち 安全で快適な生活基盤が整っている	10 ち 活力ある都市機能が確立されている	11 安心して生活できる環境があるまち	12 市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち	
合計	2,321	36.6	31.5	15.3	5.8	41.7	21.9	12.3	14.4	33.6	16.8	33.7	4.2	
性別	男性	885	41.0	33.2	15.7	5.9	40.8	19.8	9.4	14.6	32.1	19.7	30.3	3.7
	女性	1009	32.9	29.9	14.3	5.6	43.5	22.4	14.8	13.6	36.7	15.6	36.3	4.1
	回答しない	20	25.0	30.0	15.0	5.0	35.0	45.0	10.0	15.0	35.0	10.0	30.0	0.0
年齢別	18～19歳	30	20.0	60.0	10.0	16.7	40.0	20.0	23.3	16.7	20.0	26.7	16.7	3.3
	20～29歳	151	32.5	31.1	12.6	6.6	45.0	15.2	14.6	10.6	38.4	22.5	27.8	2.6
	30～39歳	241	36.9	28.6	16.2	6.2	56.0	15.8	11.2	9.5	34.4	23.7	24.9	3.3
	40～49歳	360	37.5	32.2	13.1	5.8	49.4	17.5	13.3	13.1	37.5	16.4	29.2	2.8
	50～59歳	437	40.0	36.6	15.8	6.2	35.0	22.9	9.8	13.7	33.2	20.1	34.3	3.9
	60～69歳	450	35.1	32.4	13.6	5.1	38.4	22.9	11.3	17.1	30.9	15.6	39.3	4.2
	70歳以上	638	36.2	26.3	17.6	5.3	37.1	26.6	13.2	15.7	32.0	11.1	37.0	5.6
居住地域別	高陵	150	38.0	30.7	20.7	6.7	37.3	22.0	9.3	10.7	34.7	19.3	33.3	2.7
	高岡西部	197	38.1	28.4	17.3	8.1	36.0	21.8	11.2	15.7	32.5	18.8	33.5	5.1
	南星	311	37.9	30.9	17.4	4.8	44.1	20.3	13.5	12.9	34.1	13.8	34.1	5.8
	志貴野	328	37.2	28.0	16.2	3.4	44.5	20.1	11.0	14.9	35.4	20.4	34.5	2.4
	芳野	412	41.5	31.3	16.0	5.8	40.5	23.8	12.9	11.2	30.8	16.7	28.9	4.4
	伏木	173	30.1	31.8	16.2	6.4	45.1	24.3	9.2	14.5	31.2	19.7	38.7	4.0
	国吉	49	38.8	32.7	8.2	6.1	49.0	16.3	14.3	24.5	28.6	10.2	38.8	4.1
	牧野	131	27.5	28.2	9.2	4.6	44.3	20.6	15.3	17.6	32.8	20.6	33.6	6.9
	五位	138	31.2	40.6	16.7	7.2	43.5	19.6	12.3	15.9	30.4	15.9	30.4	2.9
	戸出	178	39.9	32.6	12.9	5.1	37.6	20.8	13.5	14.6	34.8	15.2	31.5	2.8
居住年数別	中田	74	35.1	27.0	10.8	10.8	33.8	23.0	14.9	25.7	27.0	13.5	41.9	4.1
	福岡	168	32.1	36.3	9.5	7.1	41.7	26.2	10.7	12.5	42.9	8.9	38.1	4.8
	1年未満	73	34.2	37.0	19.2	9.6	35.6	13.7	8.2	12.3	26.0	21.9	28.8	5.5
	1～4年	211	33.2	30.8	12.3	5.2	48.8	18.0	15.2	12.3	34.1	21.3	24.6	3.3
	5～9年	228	41.7	29.4	16.7	7.5	47.4	17.5	12.7	13.6	34.2	18.4	33.3	1.3
10～19年	402	35.6	34.6	13.7	5.2	44.8	20.4	12.4	11.9	33.8	16.9	31.6	2.7	
20年以上	1393	36.6	30.7	15.6	5.7	38.7	24.0	11.8	15.6	33.4	15.6	35.9	5.1	

■問4（2）重要度

回答者の意識を総合的に反映した分析を行うため、個々のめざすまちの姿の各選択肢の回答数を偏差値化し、重要度の指標を算出した。偏差値であるため指標の基準値は「50」である。

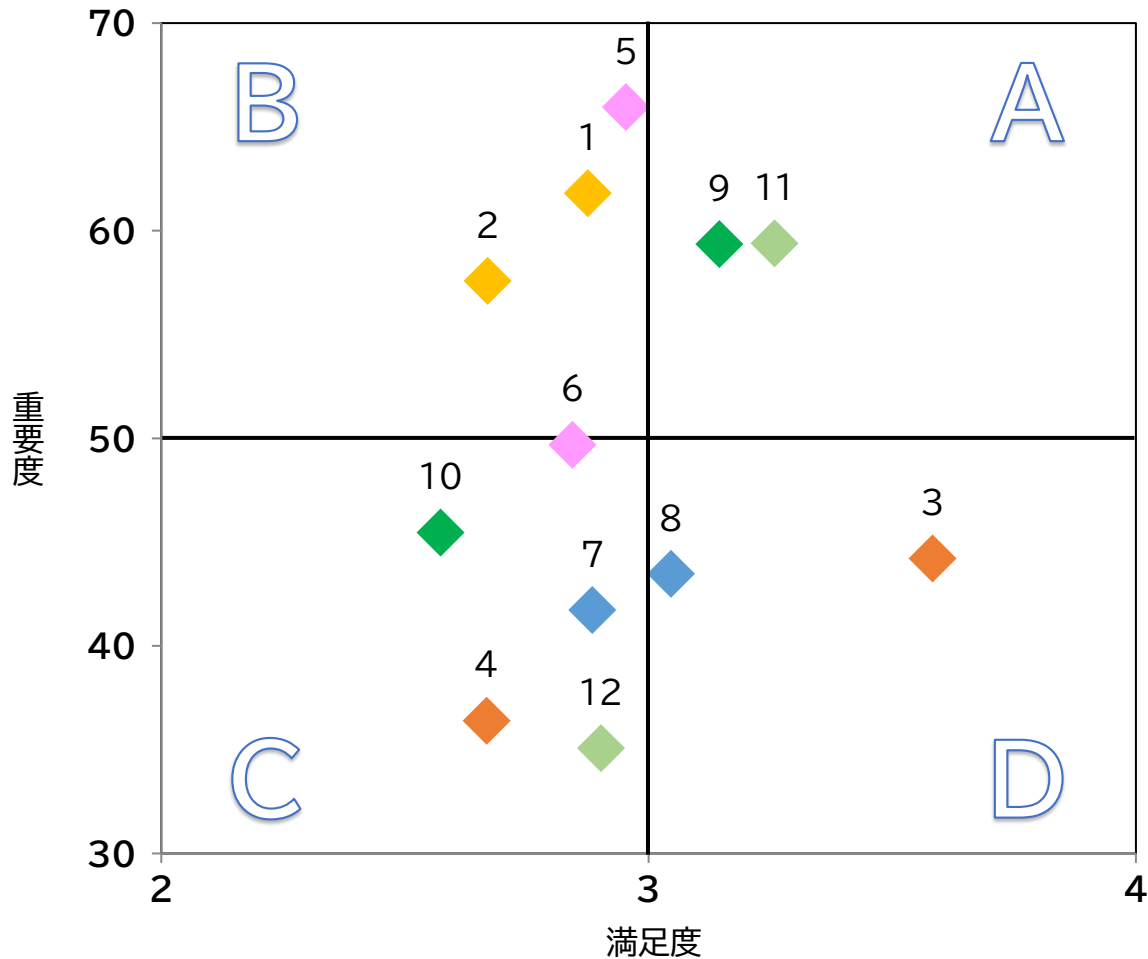
なお、重要度（偏差値）が 50.0 以上である、めざすまちの姿は「1.強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」、「2.魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」、「5.子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」、「9.安全で快適な生活基盤が整っているまち」、「11.安心して生活できる環境があるまち」の5つである。

No	回答の内容	回答数	回答率	偏差値
1	強い経済基盤と持続可能な産業があるまち	850	36.6%	61.79
2	魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち	731	31.5%	57.57
3	歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち	355	15.3%	44.20
4	地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち	135	5.8%	36.39
5	子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち	967	41.7%	65.95
6	生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち	509	21.9%	49.68
7	誰もが自分らしく暮らしているまち	285	12.3%	41.72
8	すべての人が健康な生活を送っているまち	334	14.4%	43.46
9	安全で快適な生活基盤が整っているまち	781	33.6%	59.34
10	活力ある都市機能が確立されているまち	390	16.8%	45.45
11	安心して生活できる環境があるまち	782	33.7%	59.38
12	市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち	98	4.2%	35.07

■問4（1）満足度×問4（2）重要度

〈12のめざすまちの姿への満足度と優先度〉

12のめざすまちの姿のそれぞれを満足度（問4（1））を横軸に、重要度（問4（2））を縦軸にとり、その関係を図示した。



A	満足度も重要度も高い	9.安全で快適な生活基盤が整っているまち 11.安心して生活できる環境があるまち
B	満足度は低く、重要度が高い	1.強い経済基盤と持続可能な産業があるまち 2.魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち 5.こどもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち
C	満足度も重要度も低い	4.地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち 6.生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち 7.誰もが自分らしく暮らしているまち 10.活力ある都市機能が確立されているまち 12.市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち
D	満足度は高く、重要度が低い	3.歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち 8.すべての人が健康な生活を送っているまち

■問4（2）＜市に期待する取組＞

市に期待する取組についていただいたご意見を 12 のめざすまちの姿それぞれでカテゴリ分類を行い意見の集計を行った。市に期待する取組については、「9.安全で快適な生活基盤が整っているまち」に係る「公共交通・コミュニティバスの充実」を期待する意見が最も多く、次いで「5.子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」に係る「子育ての経済的負担軽減と支援体制」を期待する意見が多い。

12のめざすまちの姿	回答の内容	回答数	回答率
1.「強い経済基盤と持続可能な産業があるまち」である	大手・優良企業の誘致による雇用創出	21	5.5%
	経済発展と地域活性化に向けた企業誘致	18	4.7%
	既存産業の強化と経済基盤の安定	8	2.1%
2.「魅力的な仕事と安心して働ける環境があるまち」である	若者・学生の就労支援とUターン促進	14	3.7%
	現役世代の活躍支援と職場環境づくり	9	2.4%
	多様な人材（高齢者・障がい者等）の就労支援	3	0.8%
3.「歴史や文化に彩られた魅力があふれているまち」である	歴史的建造物・伝統文化の活用	18	4.7%
	ドラえもん等キャラクターの観光活用	7	1.8%
	古城公園の整備と魅力向上	15	3.9%
4.「地域の魅力を活かした交流が拡大しているまち」である	文化・伝統の次世代への継承	2	0.5%
	観光拠点の整備・滞在型観光の推進	8	2.1%
	観光客誘致と経済効果の獲得	8	2.1%
5.「子どもたちが夢や希望をもって健やかに育っているまち」である	イベント開催と交流機会の創出	9	2.4%
	子育ての経済的負担軽減と支援体制	33	8.6%
	全天候型・屋内外の子どもの遊び場整備	9	2.4%
6.「生涯にわたっていきがいをもって心豊かに暮らしているまち」である	教育環境の充実と学びの機会提供	7	1.8%
	スポーツ施設・運動環境の整備	14	3.7%
	図書館および学習環境の拡充	6	1.6%
7.「誰もが自分らしく暮らしているまち」である	文化・芸術・生涯学習拠点の充実	6	1.6%
	結婚支援・ライフプラン応援	7	1.8%
	障がい者・生活弱者・不登校児童への支援	5	1.3%
8.「すべての人が健康な生活を送っているまち」である	多様な属性・世帯（女性・単身・外国人・ペット等）への配慮と共生社会づくり	5	1.3%
	市民病院・医療体制の改善と充実	5	1.3%
	高齢者やリハビリ向けの医療支援・負担軽減	3	0.8%
9.「安全で快適な生活基盤が整っているまち」である	健康維持・予防・検診の促進	3	0.8%
	公共交通・コミュニティバスの充実	47	12.3%
	除雪体制の強化と融雪設備の整備	21	5.5%
10.「活力ある都市機能が確立されているまち」である	道路・インフラ整備と生活基盤の維持	12	3.1%
	駅周辺・中心市街地の再開発と活性化	26	6.8%
	鉄道・交通拠点を軸とした都市機能の集約	9	2.4%
11.「安心して生活できる環境があるまち」である	商業・娯楽施設の充実と空き店舗等の有効活用	15	3.9%
	防災・震災復興と災害への備え	7	1.8%
	治安・防犯・交通安全の確保	11	2.9%
12.「市民・団体・企業の繋がりによる地域社会が築かれているまち」である	高齢者・低所得者への生活支援・物価高対策	8	2.1%
	窓口サービスの向上と利便性改善	5	1.3%
	窓口サービスの向上と利便性改善	5	1.3%
	市政の透明化・行財政改革とスピード感	12	3.1%
	市長・市議会への要望と市民との対話	9	2.4%
	地域コミュニティのあり方と情報発信	5	1.3%

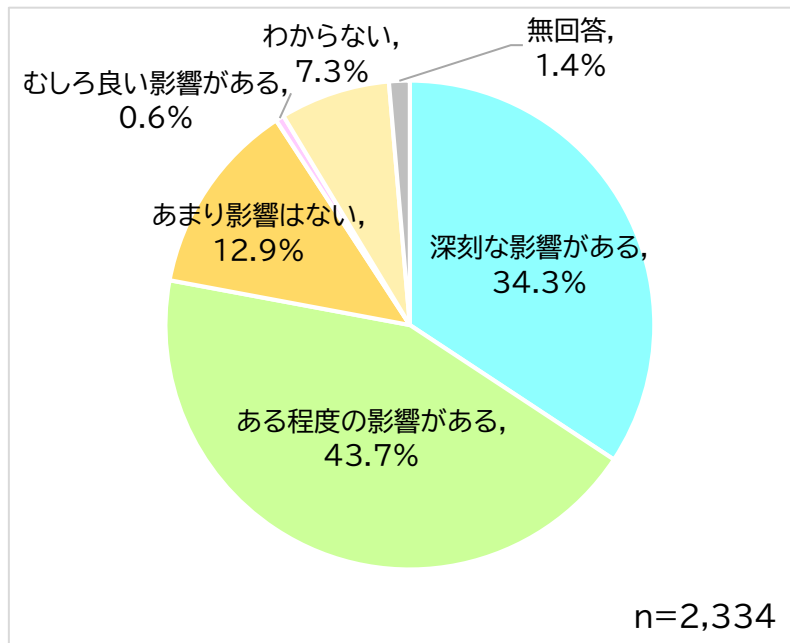
● 人口減少社会におけるまちづくりについてお伺いします。

問5：人口減少社会のまちづくり

■問5（1） 人口減少が今後ますます進行することについて、あなたの生活にどの程度影響があると思いますか。

次のうちあてはまるものを **1つだけ** 選んで番号に○印をつけてください。

人口減少の進行による生活への影響については、34.3%が「深刻な影響がある」、43.7%が「ある程度の影響がある」と回答しており、「深刻な影響がある」と「ある程度の影響がある」を合わせた『影響がある』という評価は全体の78.0%となっている。一方で、12.9%が「あまり影響はない」、0.6%が「むしろ良い影響がある」と回答している。



■問5（1）人口減少の影響×性別、年齢別、居住地域別、職業別

性別、年齢別、居住地域別のすべての項目で「ある程度の影響がある」が最も多い。職業別のほぼすべての項目で「ある程度の影響がある」が最も多いが、会社役員、公務員・団体職員では「深刻な影響がある」が最も多い。また、すべての項目で「深刻な影響がある」と「ある程度の影響がある」を合わせた『影響がある』という評価が高く、多くの市民が人口減少に対する社会への悪影響を懸念しているものと考えられる。

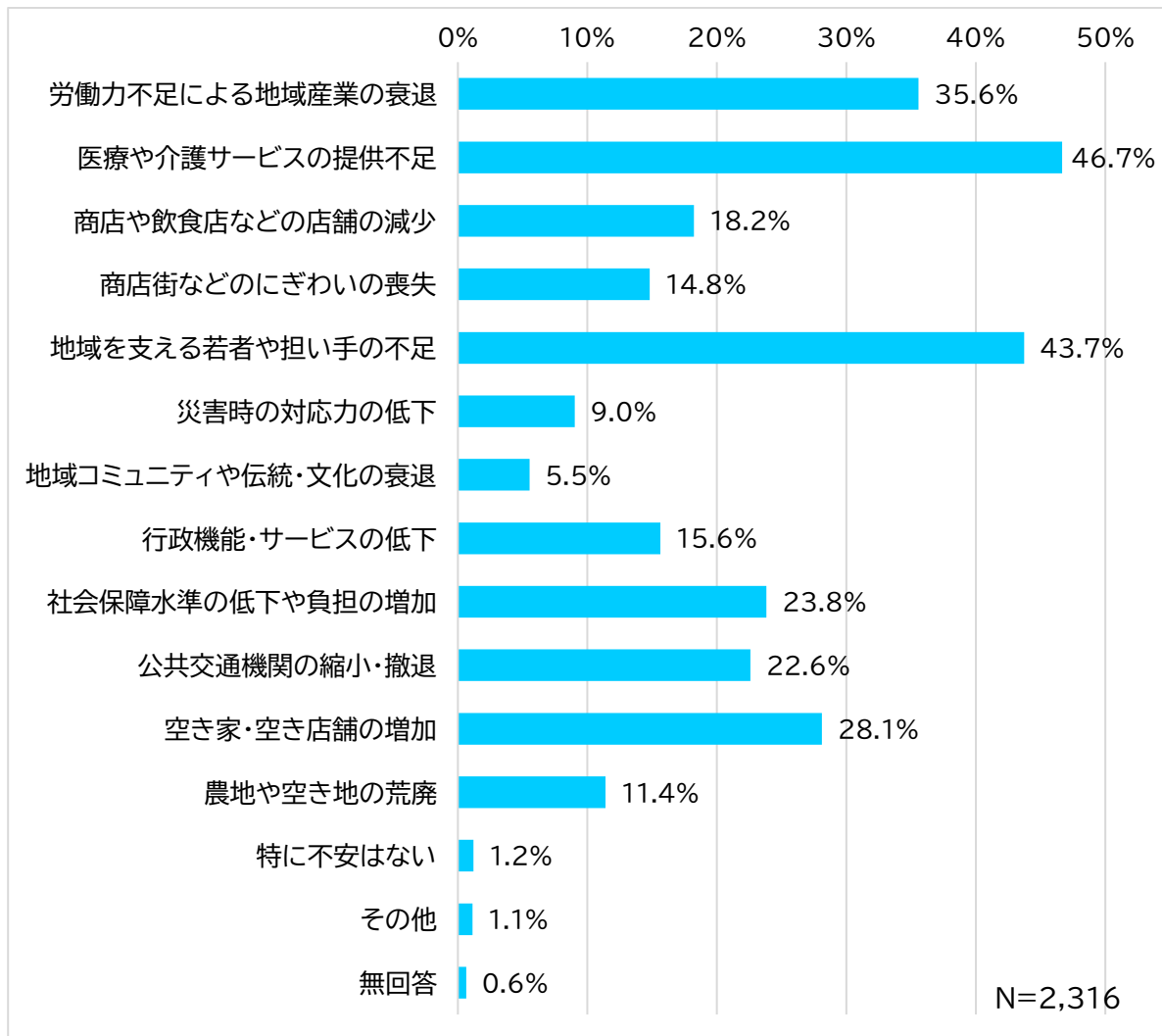
居住地域別にみると、伏木校区で『影響がある』という評価が83.3%と市全体の傾向と比べ多い。これは、令和6年能登半島地震による人口減少の深刻化が影響しているものと考えられる。

職業別にみると、公務員・団体職員で『影響がある』が87.4%と市全体の傾向と比べ多い。

単位：%		n	1	2	3	4	5
			深刻な影響がある	ある程度の影響がある	あまり影響はない	むしろ良い影響がある（例…混雑が緩和されるなど）	わからない
合計		2,334	34.3	43.7	12.9	0.6	7.3
性別	男性	885	39.3	39.7	13.7	0.8	6.2
	女性	1,009	30.4	45.9	13.2	0.5	8.3
	回答しない	20	30.0	45.0	10.0	0.0	15.0
年齢別	18～19歳	30	13.3	56.7	23.3	0.0	6.7
	20～29歳	151	25.8	47.0	21.2	1.3	4.0
	30～39歳	241	36.9	39.8	13.7	0.0	8.7
	40～49歳	360	35.8	41.9	13.9	0.6	7.5
	50～59歳	437	36.4	44.4	10.8	0.5	7.6
	60～69歳	450	34.0	44.4	12.7	0.9	6.4
	70歳以上	638	34.2	43.7	11.1	0.5	8.0
居住地域別	高陵	150	35.3	45.3	10.7	0.7	6.7
	高岡西部	197	34.0	47.7	10.2	0.0	7.1
	南星	311	30.9	46.9	16.1	0.3	4.5
	志貴野	328	33.2	43.3	12.5	0.9	7.6
	芳野	412	35.4	42.2	13.8	0.7	6.1
	伏木	173	37.6	45.7	11.6	0.0	4.6
	国吉	49	28.6	49.0	4.1	2.0	14.3
	牧野	131	35.9	37.4	15.3	0.0	9.9
	五位	138	37.7	39.9	10.9	0.0	10.9
	戸出	178	32.6	43.3	15.2	0.0	8.4
職業別	中田	74	33.8	47.3	13.5	0.0	5.4
	福岡	168	34.5	40.5	11.9	2.4	10.7
	会社員	794	36.8	42.2	13.6	0.5	6.2
	会社役員	75	45.3	36.0	9.3	1.3	6.7
	公務員・団体職員	151	45.0	42.4	8.6	1.3	2.0
	学生	49	16.3	59.2	18.4	0.0	6.1
	自営業	163	29.4	48.5	14.1	0.0	6.7
	パートタイム・アルバイト・派遣	384	31.8	43.2	14.1	0.3	10.2
	家事専業	199	25.1	53.3	12.1	0.5	6.0
無職	451	34.1	40.8	12.2	0.9	9.8	
その他	48	37.5	47.9	8.3	0.0	6.3	

■問5（2） 人口減少が進むことについて、あなたが不安に感じることは何ですか。
 次のうちあてはまるものを3つ以内で選んで番号に○印をつけてください。

人口減少の進行によって不安に感じることについては、「医療や介護サービスの提供不足」が46.7%と最も多く、次いで「地域を支える若者や担い手の不足」が43.7%、「労働力不足による地域産業の衰退」が35.6%となっている。



■問5（2）人口減少による不安×性別、年齢別、居住地域別、職業別

性別、年齢別、居住地域別のほとんどの項目で「医療や介護サービスの提供不足」が最も多い。「地域を支える若者や担い手の不足」が最も多いのは、性別では男性、年齢別では60代以上、居住地域別では高岡西部校区、南星校区、伏木校区、国吉校区、中田校区、職業別では会社役員、学生、自営業となっている。「労働力不足による地域産業の衰退」が最も多いのは、年齢別では30代、職業別では会社員となっている。

年齢別にみると、市全体の傾向と比べ20代で「商店や飲食店などの店舗の減少」が著しく多いなど、若い年代で店舗の減少に対する不安が高い傾向がみられる。また、30代で「労働力不足による地域産業の衰退」が著しく多いなど、勤労世代で地域産業の衰退に対する不安が高い傾向がみられる。

居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ国吉校区、五位校区で「農地や空き地の荒廃」、中田校区で「公共交通機関の縮小・撤退」が著しく多く、牧野校区で「地域を支える若者や担い手の不足」が著しく少ない。

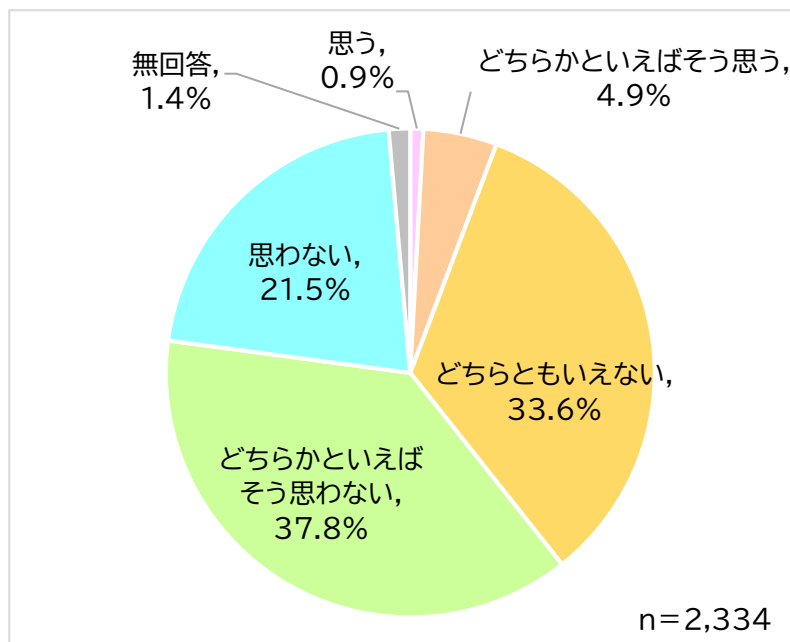
職業別にみると、「労働力不足による地域産業の衰退」について、市全体の傾向と比べ会社役員で著しく多く、無職で著しく少ないなど、主に有職者で人口減少に伴う地域産業の衰退に対する不安が高い傾向がみられる。また、会社役員で「医療や介護サービスの提供不足」が著しく少ない。

単位：%		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
n		労働力不足による地域産業の衰退	医療や介護サービスの提供不足	商店や飲食店などの店舗の減少	商店街などにぎわいの喪失	地域を支える若者や担い手の不足	災害時の対応力の低下	良 地域コミュニティや伝統・文化の衰	行政機能・サービスの低下	社会保障水準の低下や負担の増加	公共交通機関の縮小・撤退	空き家・空き店舗の増加	農地や空き地の荒廃	特に不安はない	その他	
合計	2,316	35.6	46.7	18.2	14.8	43.7	9.0	5.5	15.6	23.8	22.6	28.1	11.4	1.2	1.1	
性別	男性	885	41.9	41.4	21.6	15.4	42.4	6.8	6.9	15.7	21.7	19.4	27.7	11.2	1.2	1.5
	女性	1,009	30.0	51.7	17.5	14.2	45.3	10.0	4.7	15.8	25.1	23.3	26.7	9.8	1.2	0.6
	回答しない	20	45.0	40.0	10.0	15.0	30.0	10.0	5.0	15.0	20.0	40.0	25.0	10.0	5.0	10.0
年齢別	18～19歳	30	50.0	53.3	43.3	13.3	33.3	6.7	3.3	13.3	13.3	10.0	26.7	10.0	3.3	0.0
	20～29歳	151	38.4	45.7	29.1	17.9	35.8	11.3	4.6	14.6	17.2	25.8	13.2	6.6	2.0	0.7
	30～39歳	241	46.9	43.2	25.3	17.4	39.8	6.2	4.6	17.8	26.1	13.3	19.9	7.9	1.7	1.2
	40～49歳	360	43.3	48.1	21.1	14.4	37.8	9.2	4.7	15.8	22.8	21.4	23.1	8.6	3.1	1.4
	50～59歳	437	36.8	50.6	17.6	12.6	44.2	8.9	6.2	17.8	26.8	25.6	22.0	7.1	0.5	1.6
	60～69歳	450	30.7	46.4	16.2	12.9	46.7	8.4	5.3	12.2	25.1	23.8	32.7	12.4	0.2	1.1
	70歳以上	638	27.6	43.3	11.4	15.8	47.5	9.7	6.3	16.0	21.9	22.9	37.3	17.7	0.9	0.6
居住地別	高陵	150	33.3	48.0	16.0	16.7	44.7	8.7	4.7	16.0	20.7	27.3	34.7	4.7	2.7	0.7
	高岡西部	197	38.6	45.7	17.3	14.2	45.7	8.6	7.6	17.8	25.9	26.4	26.9	9.1	1.5	0.0
	南星	311	34.4	39.5	18.6	16.7	46.9	10.6	5.5	14.5	24.1	19.6	30.5	10.6	1.3	1.9
	志貴野	328	35.7	48.8	20.1	17.7	43.9	9.8	4.0	14.9	21.3	21.6	27.1	7.3	1.2	0.9
	芳野	412	38.3	47.1	15.8	15.8	41.0	8.7	4.9	18.9	26.0	19.9	23.3	8.5	0.7	1.5
	伏木	173	31.2	46.2	21.4	12.1	46.2	6.9	8.7	12.1	22.5	30.1	26.6	11.6	1.2	0.6
	国吉	49	28.6	44.9	10.2	8.2	46.9	6.1	2.0	10.2	30.6	22.4	18.4	30.6	2.0	2.0
	牧野	131	32.8	49.6	21.4	13.0	33.6	8.4	9.2	13.0	28.2	25.2	23.7	6.1	2.3	0.8
	五位	138	37.7	50.7	13.8	11.6	47.8	9.4	4.3	13.0	23.2	17.4	20.3	26.8	1.4	0.7
	戸出	178	33.7	47.2	18.0	12.4	42.7	7.9	3.4	12.9	20.8	16.9	37.1	16.3	0.0	1.7
	中田	74	32.4	43.2	21.6	13.5	44.6	6.8	4.1	13.5	17.6	36.5	31.1	12.2	1.4	0.0
福岡	168	36.9	47.6	20.2	11.9	37.5	11.3	7.1	20.8	23.8	22.0	29.8	15.5	0.6	1.2	
職業別	会社員	794	45.0	43.1	22.0	16.6	42.2	8.2	5.3	15.4	24.3	18.9	22.7	8.6	1.4	1.5
	会社役員	75	48.0	36.0	20.0	17.3	52.0	5.3	8.0	13.3	21.3	24.0	25.3	6.7	0.0	0.0
	公務員・団体職員	151	41.1	52.3	18.5	14.6	41.7	6.6	6.0	19.2	25.2	21.9	20.5	11.3	0.0	2.0
	学生	49	40.8	44.9	38.8	24.5	44.9	4.1	4.1	14.3	10.2	22.4	22.4	10.2	0.0	0.0
	自営業	163	30.1	38.7	17.2	12.3	53.4	6.1	9.2	13.5	19.6	16.6	37.4	15.3	2.5	1.8
	パートタイム・アルバイト・派遣	384	31.0	50.8	15.6	12.0	36.5	10.2	4.9	16.1	27.1	27.6	30.5	9.6	1.3	0.5
	家事専業	199	27.6	52.3	11.6	14.6	45.7	11.1	5.0	17.6	24.6	24.6	29.1	13.6	0.0	0.5
	無職	451	24.4	48.6	13.7	13.3	46.3	10.4	4.0	15.1	21.7	24.6	32.4	15.5	1.6	0.9
その他	48	27.1	45.8	16.7	10.4	39.6	18.8	12.5	10.4	29.2	29.2	31.3	16.7	2.1	0.0	

問6：若者・女性に選ばれるまちづくり

- 問6（1） あなたは高岡市が若者・女性に選ばれるまちだと思えますか。
次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

高岡市が若者・女性に選ばれるまちだと思うかについては、0.9%が「思う」、4.9%が「どちらかといえばそう思う」と回答しており、「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』という評価は全体の5.8%である。一方で、21.5%が「思わない」、37.8%が「どちらかといえばそう思わない」と回答しており、「思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』という評価は全体の59.3%である。



■問6（1）若者・女性に選ばれるまちについて×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

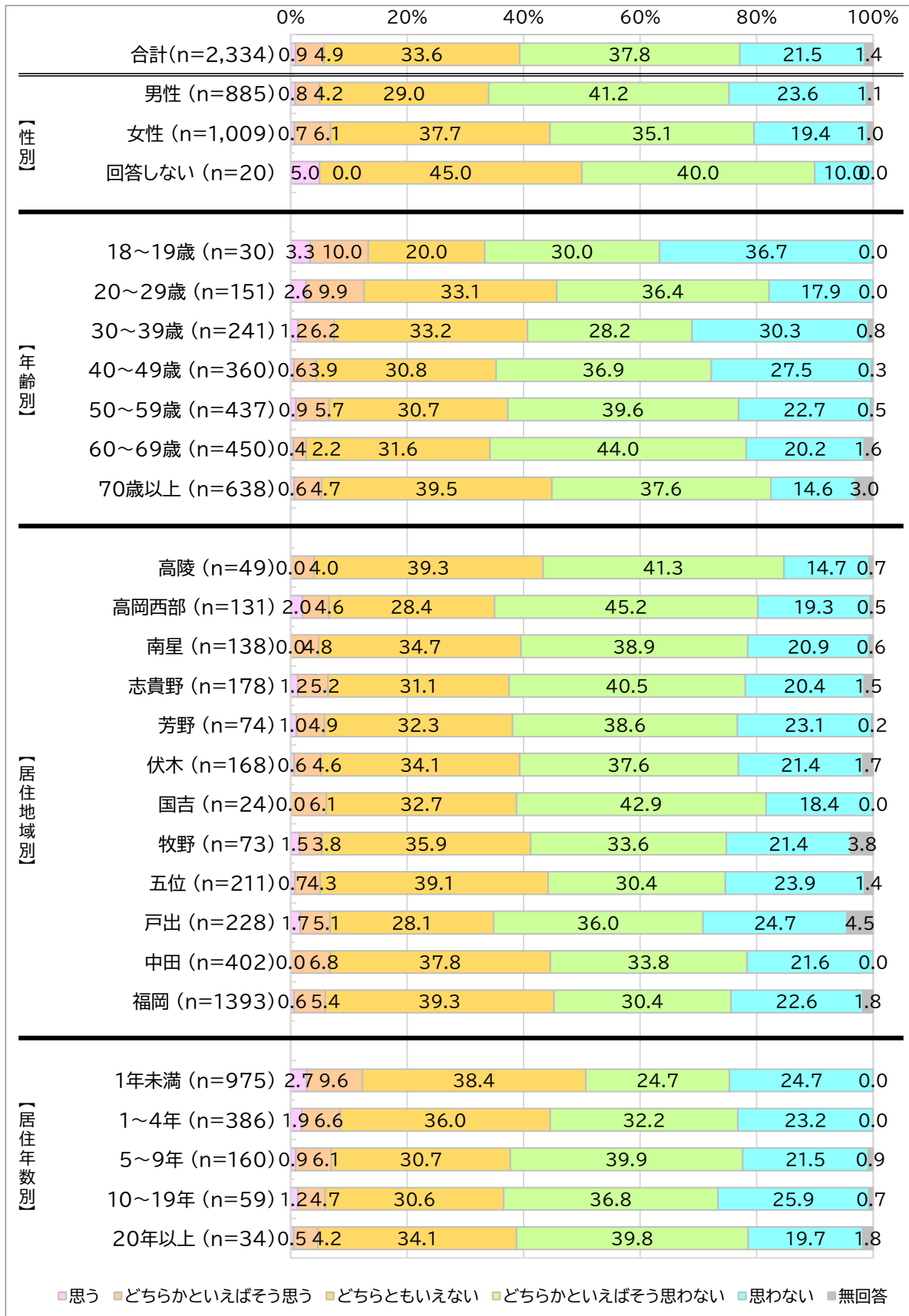
性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のすべての項目で、どちらかといえば「思う」を合わせた『思う』という評価が高く、多くの市民から本市が若者・女性に選ばれるまちとして評価されていない結果となっている。

性別で見ると、男性で『思う』が64.8%と女性の54.5%に比べ多い。

年齢別にみると、『思う』が30代以上に比べ20代で12.5%と若い年代が多い。『思う』は40代で64.4%と市全体の傾向と比べ多く、70歳以上で52.2%と少なくなっており、主に子育て世代で本市が若者や女性に選ばれるまちとして評価されていない傾向がみられる。

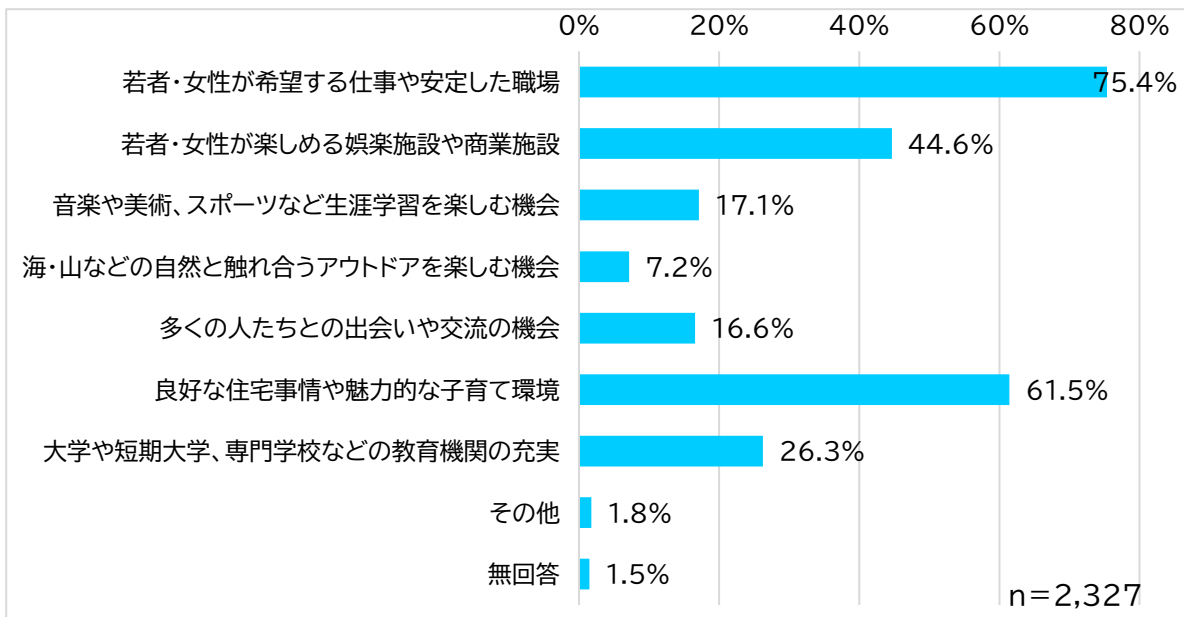
居住地域別にみると、高岡西部校区で『思う』が64.5%と多く、福岡校区で53.0%と少ない。

居住年数別にみると、1年未満で『思う』が12.3%と多く、継続居住者に比べ直近の転居者でやや評価が高い傾向がみられる。



- 問6（2） あなたは高岡市が若者・女性に選ばれるためには何が重要だと思いますか。次のうちあてはまるものを3つ以内で選んで番号に○印をつけてください。また選択した項目についてイメージする内容を自由に記載してください。

高岡市が若者・女性に選ばれるために重要なことは、「若者・女性が希望する仕事や安定した職場」が75.4%と最も多く、次いで「良好な住宅事情や魅力的な子育て環境」が61.5%、「若者・女性が楽しめる娯楽施設や商業施設」が44.6%となっている。



■問6（2）若者・女性に選ばれるために重要なこと×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のすべての項目で「若者・女性が希望する仕事や安定した職場」が最も多い。

年齢別にみると、市全体の傾向と比べ 20～30 代で「若者・女性が楽しめる娯楽施設や商業施設」が著しく多く、高齢になるにつれ減少し、70 歳以上で著しく少ない。このように、若い年代を中心に娯楽施設や商業施設の充実を望む声が高い傾向がみられる。また、30 代で「大学や短期大学、専門学校などの教育機関の充実」が著しく少ない。

居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ国吉校区で「良好な住宅事情や魅力的な子育て環境」が著しく多い。

単位：％	n	1	2	3	4	5	6	7	8	
		若者・女性が希望する仕事や安定した職場	若者・女性が楽しめる娯楽施設や商業施設	音楽や美術、スポーツなど生涯学習を楽しむ機会	海・山などの自然と触れ合うアウトドアを楽しむ機会	多くの人たちとの出会いや交流の機会	良好な住宅事情や魅力的な子育て環境	大学や短期大学、専門学校などの教育機関の充実	その他	
合計	2,327	75.4	44.6	17.1	7.2	16.6	61.5	26.3	1.8	
性別	男性	885	74.6	48.2	16.5	9.6	18.8	58.9	25.5	1.5
	女性	1,009	76.1	42.5	17.1	5.8	14.0	65.8	25.3	1.9
	回答しない	20	80.0	80.0	10.0	0.0	10.0	50.0	10.0	10.0
年齢別	18～19歳	30	80.0	53.3	16.7	10.0	23.3	46.7	43.3	0.0
	20～29歳	151	65.6	57.6	11.3	7.9	13.9	62.9	25.2	2.6
	30～39歳	241	69.7	59.8	17.0	13.3	11.2	67.2	16.2	3.3
	40～49歳	360	70.0	49.4	17.2	5.8	12.8	66.4	27.5	2.5
	50～59歳	437	76.7	49.0	17.2	6.4	11.4	65.7	26.5	1.4
	60～69歳	450	77.8	43.8	16.4	5.8	14.4	62.2	24.2	1.8
	70歳以上	638	79.6	30.4	18.2	7.1	25.9	53.0	29.8	0.8
居住地域別	高陵	150	79.3	44.0	16.7	3.3	14.0	58.7	32.0	2.7
	高岡西部	197	74.1	45.7	17.8	8.1	17.3	57.9	33.0	2.0
	南星	311	76.2	44.1	15.8	7.1	19.0	66.6	22.8	1.9
	志貴野	328	74.7	45.7	19.2	8.2	20.7	59.5	26.2	0.9
	芳野	412	73.8	42.0	18.4	7.8	13.3	60.0	28.2	2.4
	伏木	173	74.6	42.8	19.1	10.4	13.9	69.9	19.7	1.7
	国吉	49	79.6	38.8	16.3	2.0	10.2	75.5	20.4	0.0
	牧野	131	71.0	51.1	14.5	2.3	15.3	61.8	19.8	1.5
	五位	138	78.3	44.2	15.2	8.7	15.2	59.4	26.1	0.0
	戸出	178	75.8	44.4	15.7	6.7	18.0	52.2	25.3	2.2
居住年数別	中田	74	70.3	43.2	21.6	6.8	17.6	54.1	33.8	2.7
	福岡	168	78.0	50.0	11.9	7.1	17.9	67.3	26.2	1.2
	1年未満	73	64.4	50.7	19.2	9.6	9.6	63.0	23.3	2.7
	1～4年	211	72.5	50.2	10.9	10.9	12.3	69.2	26.5	2.4
	5～9年	228	68.4	51.3	17.1	7.0	13.6	66.2	25.0	3.1
	10～19年	402	72.6	51.0	17.9	7.5	12.4	62.9	26.9	1.2
20年以上	1,393	78.1	40.6	17.4	6.5	19.3	59.1	26.4	1.5	

■問6（2）＜イメージする内容＞

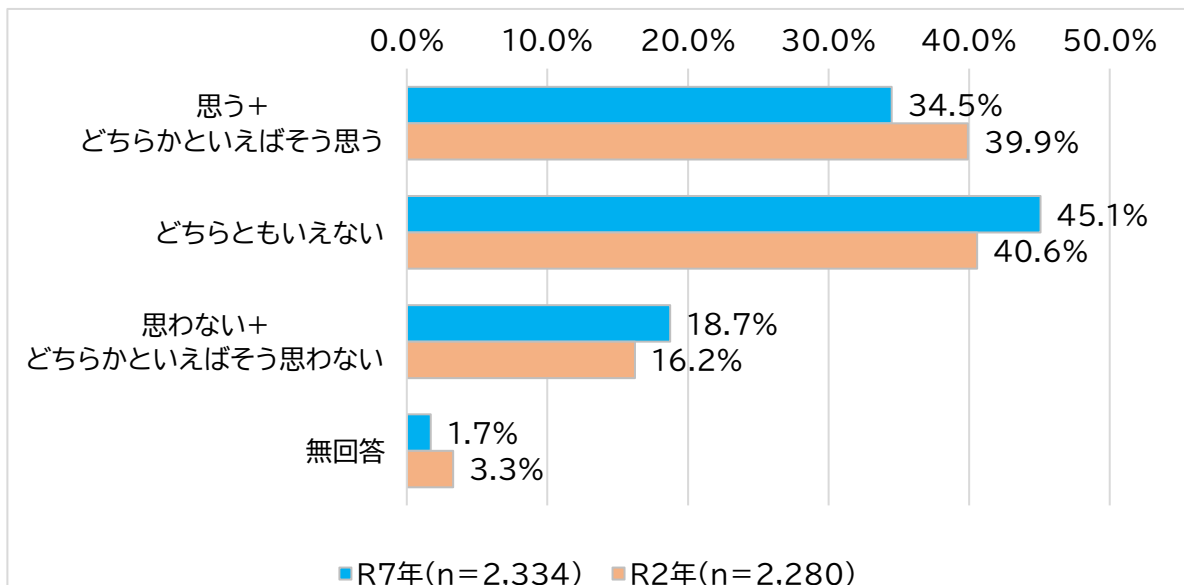
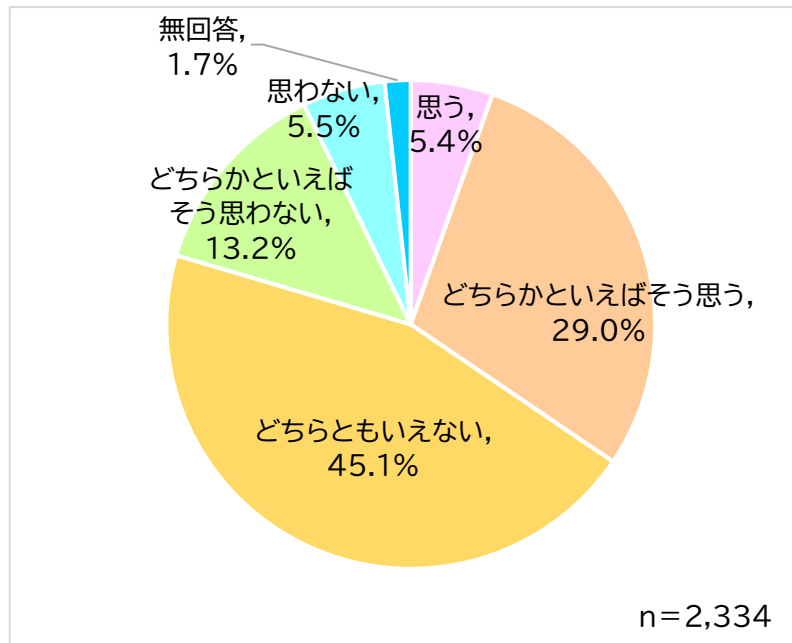
選択した項目のイメージする内容についてご意見をいただき、それらをカテゴリ分類し、意見の集計を行った。イメージする内容については、カテゴリ別ではカテゴリ1「仕事・雇用・産業の充実」に係る意見が他のカテゴリに比べ突出して多く、次いでカテゴリ5「娯楽・商業・文化・スポーツ・観光」に係る意見が多い。内容別にみると、カテゴリ1の「①安定した収入・やりがいのある仕事・多様な職種が高岡市内にあることを重視」が最も多く、次いで、カテゴリ1の「③大企業や成長企業の誘致、起業・開業への支援、賃金水準の底上げ」が多い。

回答カテゴリ	回答の内容	回答数	回答率	カテゴリ合計
カテゴリ1: 仕事・雇用・ 産業の充実	①安定した収入・やりがいのある仕事・多様な職種が高岡市内にあることを重視	83	26.9%	155
	②製造業一辺倒から、IT・メディア・観光・クールジャパン・物流など多様な産業への転換・拡大	22	7.1%	
	③大企業や成長企業の誘致、起業・開業への支援、賃金水準の底上げ	28	9.1%	
	④Uターン・移住者の就労支援、「高岡では魅力的な仕事がない」というイメージへの問題意識	22	7.1%	
カテゴリ2: 働き方・職場文化・ ジェンダー意識	①在宅勤務や時短、柔軟なシフトなど「子育てと仕事の両立」を支える働き方	13	4.2%	42
	②育児休業・時短勤務を取りやすい雰囲気づくり、休んだ人のフォローに対する公正な報酬	8	2.6%	
	③女性への「女の子」扱い、男尊女卑、古い価値観（お局文化など）への批判	11	3.6%	
	④若者・女性が意見を言いやすく、活躍できる職場・地域コミュニティ	10	3.2%	
カテゴリ3: 教育機関・ 進学環境の充実	①高岡・呉西地域に大学・短大・専門学校・職業訓練校などが少なく、県外流出を招いているという認識	10	3.2%	43
	②医療・菓子・調理・クールジャパン系など、学びたい学科が地元でないことへの不満	7	2.3%	
	③中高一貫校、特色ある学部を持つ公立大学の誘致、学園都市化への期待	19	6.2%	
	④「教育機関がまちなかにあると活性化する」「卒業後に受け皿となる企業とのセットが必要」という視点	7	2.3%	
カテゴリ4: 子育て支援・ 少子化対策・ 福祉・医療	①子育て世帯への給付金・住宅手当・オムツ助成・保育料無償化などの金銭的支援	16	5.2%	37
	②保育園・認定こども園・学童・児童館・産後ケア施設などの施設整備の充実	8	2.6%	
	③共働き世帯の子どもの急病時や留守番の不安、病児保育・一時預かりニーズ	5	1.6%	
	④産婦人科・小児医療、福祉施設・高齢者福祉も含めた「ライフコース全体の安心」	8	2.6%	
カテゴリ5: 娯楽・商業・文化・ スポーツ・観光	①大型商業施設、駅直結のショッピングモール、若者向け飲食店やカフェ	21	6.8%	58
	②ライブ・コンサート会場、1万人規模のアリーナ、フェス開催など「人を呼べる箱もの」	14	4.5%	
	③ボウリング、カラオケ、屋内アスレチック、マイナースポーツ施設	7	2.3%	
	④海・山・キャンプ・BBQ・温泉・スパなど、自然と結びついたレジャーの整備	7	2.3%	
	⑤伝統工芸や大仏・古城公園・金屋町・雨晴などの観光資源の活用	9	2.9%	
カテゴリ6: 住環境・住宅・ 街並み・安全	①安全で暮らしやすい住宅地、公園・スーパーが近い生活圏	20	6.5%	34
	②空き家・空きビルの増加と、その安価な貸し出し・買い取り、市による借り上げ	8	2.6%	
	③道路・側溝の老朽化、外観の古さ・廃墟看板による「古びた街」イメージ	5	1.6%	
	④外灯・夜間の安心、安全な生活動線づくり	1	0.3%	
カテゴリ7: 交通・インフラ・除雪	①通学・通勤・習い事への公共交通の利便性	7	2.3%	27
	②バス減便への不満、工業団地・郊外へのアクセス路線の不足	4	1.3%	
	③万葉線の延伸・路面電車・駅ナカ施設の充実、新高岡駅と高岡駅の連携	9	2.9%	
	④除雪・融雪装置の整備、駅南地域の渋滞など道路インフラ	7	2.3%	
カテゴリ8: 行政施策・ 都市イメージ・ 情報発信・地域性	①「暗い」「お金がない」「高齢者重視」「保守的・排他的」といったイメージの改善	16	5.2%	16
	②他市（射水・砺波・富山・金沢など）との比較の中での遅れ・魅力不足	14	4.5%	
	③特色ある分野で「県内一」を目指す政策、税金の使い方の見直し	7	2.3%	
	④SNS・広報による魅力発信、市民参加のイベントや対話の場	7	2.3%	

問7：子育てに関するまちづくり

■問7（1） あなたは高岡市が安心して子どもを産み育てられるまちだと思いますか。
次のうちあてはまるものを1つだけ選んで番号に○印をつけてください。

高岡市が安心して子どもを産み育てられるまちだと思うかについて、5.4%が「思う」、29.0%が「どちらかといえばそう思う」と回答しており、「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』という評価は全体の34.4%である。一方、5.5%が「思わない」、13.2%が「どちらかといえばそう思わない」と回答しており、「思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』という評価は全体の18.7%である。前回調査結果と比較すると、『思う』が減少しており、市民から最近の子育て環境が十分に評価されていないものと考えられる。



■問7（1）子育て環境の良さ×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のほぼすべての項目で「どちらともいえない」が最も多い。また、すべての項目で、「思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『思う』が「思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『思わない』を上回っており、多くの市民から最近の子育て環境に一定の評価が得られているものと考えられる。

年齢別にみると、『思わない』は、30代で24.9%と市全体の傾向と比べ多いなど、子育て世代を中心に最近の子育て施策に対してやや厳しい評価がみられる。

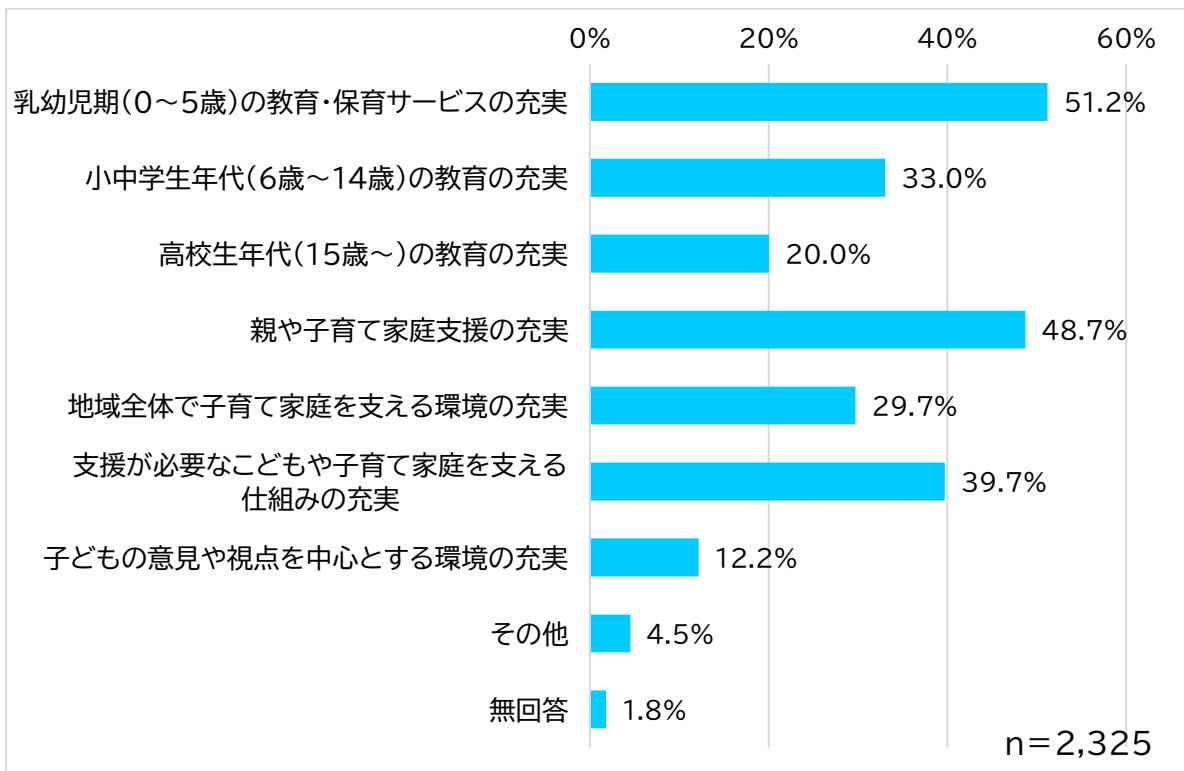
居住地域別にみると、『思う』が牧野校区で27.5%、国吉校区で26.6%と市全体の傾向と比べ少ない一方、中田校区で41.9%と多い。『思わない』が高陵校区で12.0%、中田校区で10.9%と市全体の傾向と比べ少ない。

居住年数別にみると、5～9年で『思わない』が23.7%と市全体の傾向と比べ多い。

単位：%		n	1	2	3	4	5
			思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	い どちらかといえばそう思わな	思わない
合計		2,334	5.4	29.0	45.1	13.2	5.5
性別	男性	885	6.1	28.8	45.4	12.1	6.3
	女性	1,009	5.8	31.7	43.0	13.4	4.4
	回答しない	20	5.0	25.0	35.0	30.0	5.0
年齢別	18～19歳	30	13.3	40.0	30.0	13.3	3.3
	20～29歳	151	7.9	27.2	49.0	9.9	5.3
	30～39歳	241	7.1	29.9	38.2	14.1	10.8
	40～49歳	360	6.1	29.4	42.8	14.4	6.9
	50～59歳	437	5.3	33.0	39.8	15.8	5.7
	60～69歳	450	3.8	26.0	51.1	13.3	4.2
	70歳以上	638	4.9	28.4	47.6	11.4	3.6
居住地域別	高陵	150	8.0	30.7	48.0	9.3	2.7
	高岡西部	197	6.1	27.9	47.7	12.7	4.1
	南星	311	4.2	34.4	42.4	12.2	5.8
	志貴野	328	4.6	31.1	46.0	11.9	3.7
	芳野	412	4.1	29.9	44.7	14.3	6.1
	伏木	173	7.5	24.3	43.9	16.2	7.5
	国吉	49	8.2	18.4	51.0	14.3	8.2
	牧野	131	3.8	23.7	48.9	14.5	6.9
	五位	138	5.8	29.7	42.0	12.3	8.0
	戸出	178	3.4	26.4	44.4	16.3	6.7
居住年数別	中田	74	5.4	36.5	45.9	9.5	1.4
	福岡	168	9.5	25.6	44.0	13.7	6.0
	1年未満	73	13.7	23.3	47.9	9.6	5.5
	1～4年	211	8.5	26.5	42.7	11.8	10.0
	5～9年	228	7.5	31.6	36.8	14.5	9.2
	10～19年	402	5.2	32.6	43.8	12.4	5.7
20年以上	1,393	4.3	28.2	47.1	13.8	4.2	

- 問7（2） あなたは高岡市が安心して子どもを産み育てやすいまちであるためには何が重要だと思いますか。
次のうちあてはまるものを3つ以内で選んで番号に○印をつけてください。

高岡市が安心して子どもを産み育てやすいまちであるために重要なことは、「乳幼児期（0～5歳）の教育・保育サービスの充実」が51.2%と最も多く、次いで「親や子育て家庭支援の充実」が48.7%、「支援が必要な子どもや子育て家庭を支える仕組みの充実」が39.7%となっている。



■問7(2) 子育て環境が良いまちであるために重要なこと×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のほとんどの項目で「乳幼児期(0～5歳)の教育・保育サービスの充実」が最も多い。「親や子育て家庭支援の充実」が最も多いのは、年齢別では40代、70歳以上、居住地域別では南星校区、志貴野校区、伏木校区、国吉校区、福岡校区、居住年数別では20年以上となっている。

年齢別にみると、市全体の傾向と比べ30代以下で「乳幼児期(0～5歳)の教育・保育サービスの充実」、30代で「小中学生年代(6歳～14歳)の教育の充実」が著しく多い一方、30代で「支援が必要な子どもや子育て家庭を支える仕組みの充実」が著しく少ない。このように、親世代の子育てのステージの進行に応じて重要視する施策が変化することが示唆されている。

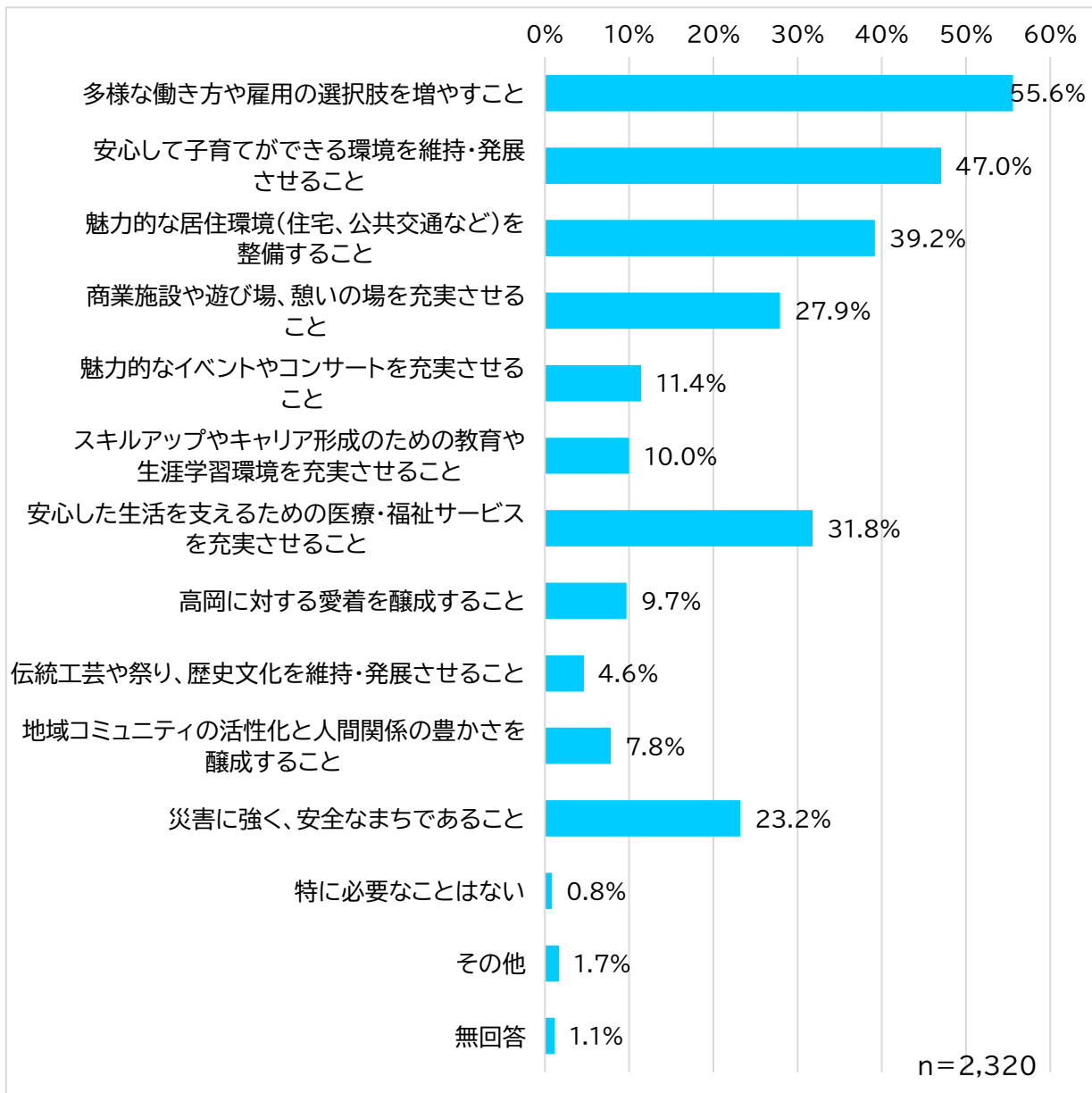
居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ中田校区で「高校生年代(15歳～)の教育の充実」が著しく多く、「支援が必要な子どもや子育て家庭を支える仕組みの充実」が著しく少ない。

居住年数別にみると、市全体の傾向と比べ1年未満で「支援が必要な子どもや子育て家庭を支える仕組みの充実」が著しく少なく、1～4年で「乳幼児期(0～5歳)の教育・保育サービスの充実」が著しく多い。

単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	8	
		の充 実	の教 育	乳幼 児期 ・保 育(0 ～5 歳)	1小 4中 歳学 ～生 の年 代(6 ～14 歳)	高 校 生 年 代 (15 ～19 歳)	充 実	親 や 子 育 て 家 庭 支 援 の	を地 域 全 体 で 環 境 の 育 ち 支 援 を 充 実	組 み 支 援 の 充 実
合計	2,325	51.2	33.0	20.0	48.7	29.7	39.7	12.2	4.5	
性別										
男性	885	54.6	36.3	22.5	51.4	27.9	35.6	11.8	4.2	
女性	1,009	49.6	29.8	19.2	49.1	30.8	42.2	12.6	4.6	
回答しない	20	55.0	20.0	10.0	50.0	30.0	40.0	10.0	10.0	
年齢別										
18～19歳	30	63.3	33.3	43.3	36.7	20.0	40.0	33.3	3.3	
20～29歳	151	61.6	37.1	19.9	58.3	19.9	31.1	15.2	4.0	
30～39歳	241	62.2	43.6	22.4	56.0	26.1	27.8	9.1	7.1	
40～49歳	360	48.9	41.4	26.4	49.4	22.2	35.0	13.9	6.1	
50～59歳	437	51.0	34.1	26.5	44.2	26.5	42.3	12.4	4.3	
60～69歳	450	51.1	30.4	16.4	45.6	32.9	39.8	10.4	6.0	
70歳以上	638	45.0	24.6	12.1	48.6	37.3	46.9	11.9	1.7	
居住地域別										
高陵	150	48.7	34.7	21.3	45.3	28.7	36.7	14.7	5.3	
高岡西部	197	58.9	34.0	17.3	52.8	28.4	42.1	14.2	3.0	
南星	311	48.6	33.4	18.3	49.8	31.8	41.2	12.9	6.4	
志貴野	328	50.3	32.6	19.2	51.5	27.1	44.5	13.4	4.3	
芳野	412	53.6	33.3	22.6	44.4	29.9	34.2	12.1	4.4	
伏木	173	43.4	28.9	16.8	57.8	30.6	42.8	11.6	4.6	
国吉	49	49.0	34.7	18.4	57.1	34.7	34.7	8.2	0.0	
牧野	131	51.1	34.4	18.3	44.3	30.5	36.6	15.3	1.5	
五位	138	50.7	30.4	21.7	42.8	29.7	42.0	10.9	2.2	
戸出	178	51.1	33.7	21.3	46.1	27.0	37.6	5.1	7.9	
中田	74	51.4	36.5	33.8	40.5	27.0	25.7	12.2	4.1	
福岡	168	51.2	32.1	16.7	53.0	32.1	47.6	11.3	3.6	
居住年数別										
1年未満	73	60.3	39.7	24.7	49.3	20.5	26.0	8.2	2.7	
1～4年	211	62.6	41.2	20.9	53.6	25.1	33.2	12.8	5.7	
5～9年	228	53.9	42.5	27.2	44.7	24.1	39.0	13.2	4.4	
10～19年	402	48.3	37.3	28.6	45.8	26.9	35.3	14.7	5.5	
20年以上	1,393	49.3	28.6	15.8	49.3	32.5	42.6	11.6	4.2	

- 問7（3） あなたは高岡市の子どもたちが、将来、高岡市で暮らし続けたいと思えるまちにするために、どのようなことが必要だと思いますか。
次のうちあてはまるものを3つ以内で選んで番号に○印をつけてください。

高岡市の子どもたちが、将来、高岡市で暮らし続けたいと思えるまちにするために必要なことは、「多様な働き方や雇用の選択肢を増やすこと」が55.6%と最も多く、次いで「安心して子育てができる環境を維持・発展させること」が47.0%、「魅力的な居住環境（住宅、公共交通など）を整備すること」が39.2%となっている。



■問7（3）子どもたちが高岡市で暮らし続けるために必要なこと×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のほとんどの項目で「多様な働き方や雇用の選択肢を増やすこと」が最も多い。「安心して子育てができる環境を維持・発展させること」が最も多いのは、年齢別では20～30代、居住地域別では伏木校区となっている。

年齢別にみると、市全体の傾向と比べ30代以下で「商業施設や遊び場、憩いの場を充実させること」が著しく多く、「安心した生活を支えるための医療・福祉サービスを充実させること」が著しく少ない。また、70歳以上で、「商業施設や遊び場、憩いの場を充実させること」が著しく少ない。

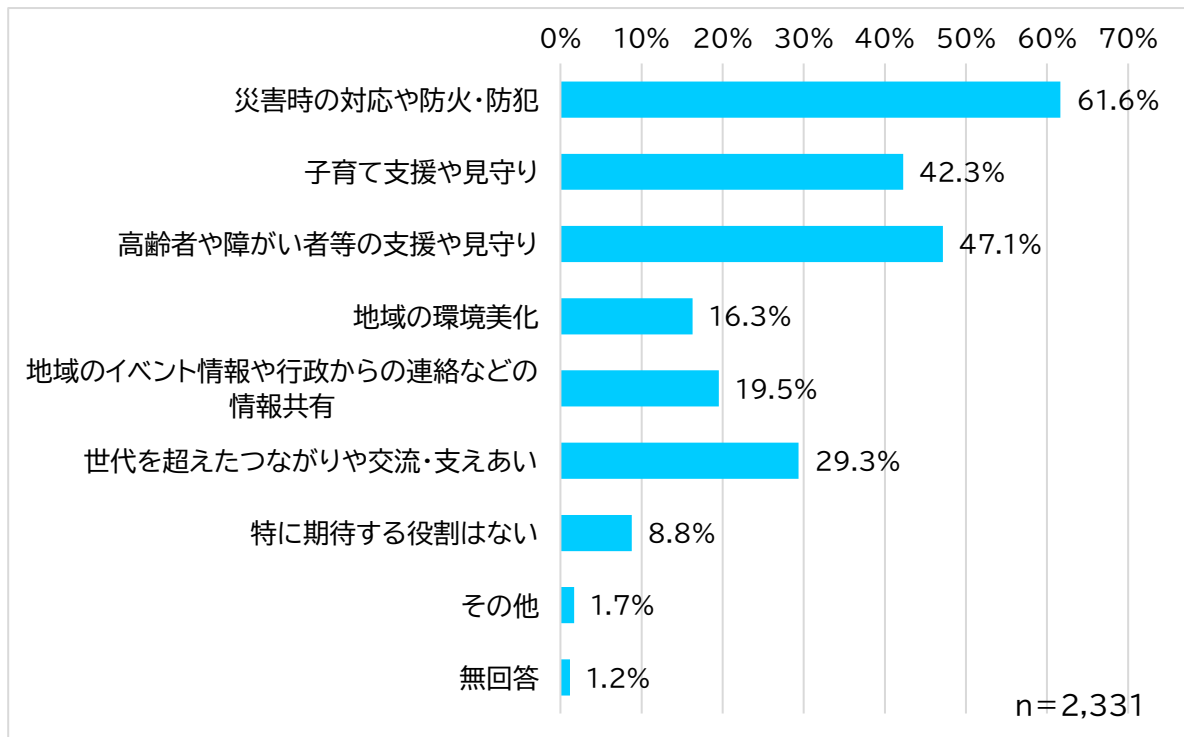
居住年数別にみると、市全体の傾向と比べ4年以下で「安心した生活を支えるための医療・福祉サービスを充実させること」が著しく少なく、5～9年で「商業施設や遊び場、憩いの場を充実させること」が著しく多い。

単位：％	n	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
		多様な働き方や雇用の選択肢を増やすこと	持・発展させること 安心して子育てができる環境を維持・発展させること	魅力的な居住環境（住宅、公共交通など）を整備すること	させること 商業施設や遊び場、憩いの場を充実させること	魅力的なイベントやコンサートを充実させること	の教育や生涯学習環境を充実させること	スキルアップやキャリア形成のための福祉サービスを充実させること	安心した生活を支えるための医療・福祉サービスを充実させること	高岡に対する愛着を醸成すること	発展させること 伝統工芸や祭り、歴史文化を維持・発展させること	地域の豊かさを醸成すること 地域コミュニティの活性化と人間関係の豊かさを醸成すること	災害に強く、安全なまちであること	特に必要なことはない
合計	2,320	55.6	47.0	39.2	27.9	11.4	10.0	31.8	9.7	4.6	7.8	23.2	0.8	1.7
性別														
男性	885	55.8	46.6	40.0	31.0	11.6	10.3	26.7	11.5	5.3	8.6	20.3	1.0	2.1
女性	1,009	56.0	48.7	38.5	26.9	11.4	9.2	34.0	8.6	3.9	6.4	26.3	0.5	0.9
回答しない	20	45.0	50.0	50.0	30.0	5.0	0.0	50.0	0.0	5.0	5.0	25.0	0.0	10.0
年齢別														
18～19歳	30	63.3	13.3	33.3	60.0	30.0	20.0	20.0	13.3	3.3	6.7	16.7	0.0	0.0
20～29歳	151	52.3	53.0	37.7	38.4	11.9	9.3	20.5	7.9	7.3	4.0	20.5	1.3	2.0
30～39歳	241	50.2	56.4	39.4	42.7	14.5	11.2	21.6	8.3	3.7	2.1	18.3	0.8	2.1
40～49歳	360	53.3	48.9	41.1	33.1	11.1	11.1	26.7	10.8	5.8	6.1	18.1	1.1	2.2
50～59歳	437	56.3	44.4	46.0	30.4	14.0	8.9	31.6	11.0	3.7	6.6	21.7	0.7	1.4
60～69歳	450	62.0	46.9	38.7	24.4	10.4	8.2	34.7	7.8	3.8	7.3	23.8	0.4	2.4
70歳以上	638	53.4	43.9	33.5	15.0	7.8	10.5	39.0	10.2	5.0	12.9	29.5	0.9	0.8
居住地域別														
高陵	150	60.7	38.0	40.0	24.7	15.3	14.0	28.7	14.0	6.7	8.7	16.0	0.7	1.3
高岡西部	197	51.8	43.1	42.1	26.9	12.2	10.7	32.0	9.6	4.6	9.1	27.9	1.0	1.5
南星	311	58.2	49.8	37.6	27.0	11.9	10.3	23.2	14.1	4.8	5.8	21.5	1.3	2.3
志貴野	328	55.2	43.6	39.0	31.1	14.9	9.1	29.3	10.7	2.7	7.9	21.3	0.9	1.5
芳野	412	55.8	48.5	39.3	27.4	11.9	9.0	31.8	10.4	4.4	9.7	20.9	0.5	1.5
伏木	173	49.7	54.3	44.5	31.2	10.4	6.9	38.7	5.2	8.1	5.8	23.1	0.6	0.0
国吉	49	61.2	30.6	32.7	22.4	12.2	14.3	34.7	18.4	6.1	8.2	28.6	0.0	0.0
牧野	131	58.8	40.5	40.5	26.0	8.4	13.0	37.4	6.1	4.6	6.1	26.7	2.3	0.0
五位	138	54.3	51.4	39.9	25.4	9.4	6.5	32.6	8.0	5.1	6.5	26.8	0.7	1.4
戸出	178	52.2	43.8	33.7	29.8	9.0	9.6	32.0	5.1	4.5	7.9	23.0	0.0	5.6
中田	74	56.8	52.7	43.2	25.7	9.5	10.8	33.8	9.5	2.7	9.5	21.6	0.0	0.0
福岡	168	54.8	54.2	34.5	27.4	6.0	11.3	38.7	5.4	3.6	7.7	28.0	0.6	1.2
居住年数別														
1年未満	73	56.2	43.8	35.6	27.4	13.7	17.8	13.7	16.4	9.6	9.6	20.5	0.0	1.4
1～4年	211	56.4	53.6	45.5	35.1	11.4	9.5	21.3	4.7	1.4	4.7	18.0	2.4	2.8
5～9年	228	52.2	51.3	41.2	39.5	13.2	9.2	25.0	13.2	5.3	4.4	16.2	0.0	1.3
10～19年	402	59.2	46.5	41.0	31.1	13.2	10.2	27.6	9.7	5.2	5.5	21.4	0.2	1.7
20年以上	1,393	54.6	45.4	37.3	23.8	10.4	9.7	36.4	9.5	4.6	9.3	25.5	0.9	1.5

問8：地域コミュニティについて

- 問8（1） 近年、少子高齢化や核家族化の進展、ライフスタイルの多様化などにより、地域における人々のつながりが希薄になりつつあると言われています。あなたは地域コミュニティ※にどのような役割を期待しますか。次のうちあてはまるものを**3つ以内**で選んで番号に○印をつけてください。
※地域コミュニティ…自治会・町内会、PTA や子ども会、敬老会等のこと

地域コミュニティに期待する役割は、「災害時の対応や防火・防犯」が61.6%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者等の支援や見守り」が47.1%、「子育て支援や見守り」が42.3%となっている。



■問8（1）地域コミュニティの役割×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のほぼすべての項目で「災害時の対応や防火・防犯」が最も多い。

年齢別にみると、市全体の傾向と比べ30代以下で「高齢者や障がい者等の支援や見守り」が著しく少ない一方、70歳以上で著しく多い。また、20代以下で「世代を超えたつながりや交流・支えあい」が著しく少ない一方、70歳以上で著しく多い。そのほか、30代で「子育て支援や見守り」が著しく多い。このように、高齢者が地域コミュニティに「高齢者や障がい者等の支援や見守り」、「世代を超えたつながりや交流・支えあい」に期待する一方、若年世代ではこれらに期待しない傾向がみられることが大きな特徴である。

居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ五位校区で「子育て支援や見守り」、中田校区で「災害時の対応や防火・防犯」が著しく少ない。

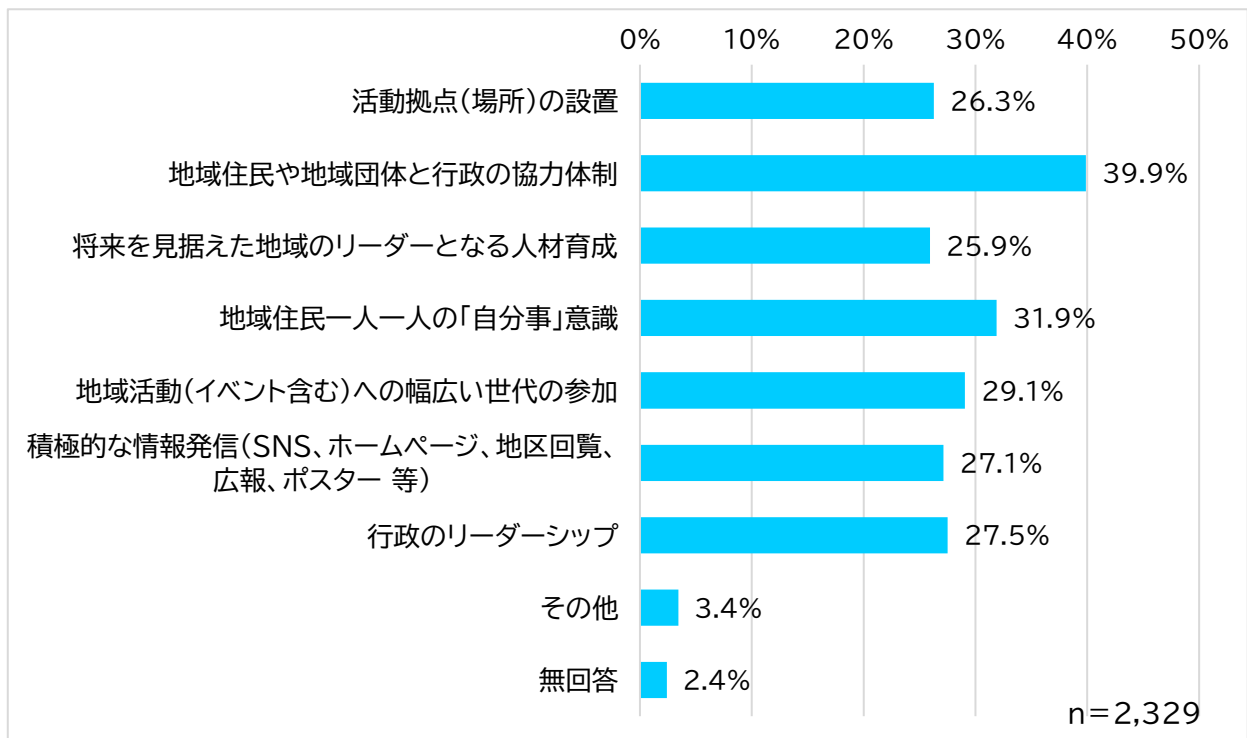
居住年数別にみると、市全体の傾向と比べ4年以下で「高齢者や障がい者等の支援や見守り」が著しく少ない。

単位：%		n		1	2	3	4	5	6	7	8
		災害時の対応や防火・防犯	子育て支援や見守り	高齢者や障がい者等の支援や見守り	地域の環境美化	地域のイベント情報や行政からの連絡などの情報共有	世代を超えたつながりや交流・支えあい	特に期待する役割はない	その他		
合計	2,331	61.6	42.3	47.1	16.3	19.5	29.3	8.8	1.7		
性別	男性	885	60.1	42.0	42.6	18.4	20.6	27.5	11.3	2.1	
	女性	1,009	63.7	44.4	48.7	14.3	18.6	29.6	7.2	1.5	
	回答しない	20	75.0	40.0	25.0	20.0	15.0	10.0	20.0	0.0	
年齢別	18～19歳	30	43.3	50.0	36.7	16.7	20.0	13.3	20.0	0.0	
	20～29歳	151	57.0	47.7	25.8	19.9	19.2	18.5	10.6	3.3	
	30～39歳	241	56.8	54.4	27.8	23.7	17.4	19.9	13.7	1.7	
	40～49歳	360	59.2	48.6	39.2	20.0	15.3	23.3	12.5	2.5	
	50～59歳	437	65.7	43.2	48.1	14.6	22.0	27.0	8.0	1.1	
	60～69歳	450	64.4	39.6	52.9	14.4	19.1	30.7	7.6	1.6	
	70歳以上	638	62.4	33.7	59.6	13.0	21.3	40.3	5.2	1.4	
居住地域別	高陵	150	61.3	40.0	43.3	18.0	22.7	28.0	10.0	1.3	
	高岡西部	197	65.0	33.5	45.7	13.7	22.3	27.9	8.6	1.5	
	南星	311	62.4	41.5	49.2	12.2	17.7	34.4	9.6	2.6	
	志貴野	328	62.8	41.5	47.9	17.7	19.2	28.7	6.7	1.5	
	芳野	412	60.2	44.7	46.1	16.5	17.5	25.0	11.2	1.5	
	伏木	173	67.1	43.9	47.4	17.3	24.3	33.5	5.2	1.7	
	国吉	49	55.1	49.0	51.0	14.3	20.4	26.5	6.1	0.0	
	牧野	131	62.6	48.1	44.3	14.5	20.6	28.2	9.2	0.0	
	五位	138	64.5	31.9	46.4	21.0	15.2	27.5	10.9	2.2	
	戸出	178	59.0	39.9	50.6	19.1	19.1	29.2	8.4	2.8	
	中田	74	51.4	50.0	48.6	20.3	25.7	35.1	2.7	2.7	
福岡	168	58.9	50.6	45.8	16.1	16.7	32.1	10.1	1.2		
居住年数別	1年未満	73	52.1	43.8	34.2	20.5	23.3	23.3	13.7	1.4	
	1～4年	211	56.4	50.2	33.6	22.7	20.4	20.9	14.7	3.8	
	5～9年	228	61.0	50.9	40.4	21.1	16.2	23.2	11.8	1.8	
	10～19年	402	60.4	47.3	40.0	14.7	18.9	23.9	10.0	2.0	
	20年以上	1,393	63.7	38.3	52.8	14.7	19.9	33.7	6.9	1.3	

■問8（2） コミュニティを活性化するためには、どのような取組が必要だと思いますか。

次のうちあてはまるものを3つ以内で選んで番号に○印をつけてください。

コミュニティを活性化するために必要な取組は、「地域住民や地域団体と行政の協力体制」が 39.9%と最も多く、次いで「地域住民一人一人の「自分事」意識」が 31.9%、「地域活動（イベント含む）への幅広い世代の参加」が 29.1%となるなど、回答が分散している。



■問8（2）コミュニティ活性化のために必要な取組×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のほとんどの項目で「地域住民や地域団体と行政の協力体制」が最も多い。

年齢別にみると、30代で「積極的な情報発信（SNS、ホームページ、地区回覧、広報、ポスター等）」が最も多い。また、市全体の傾向と比べ20代で「将来を見据えた地域のリーダーとなる人材育成」が著しく少ないなど、若年層の多くでコミュニティの活性化に対する人材育成の必要性を感じない傾向がうかがえる。

居住地域別にみると、中田校区で「将来を見据えた地域のリーダーとなる人材育成」が最も多い。これに加え、伏木校区で「地域住民や地域団体と行政の協力体制」が市全体の傾向と比べ著しく多い。また、国吉校区で「地域活動（イベント含む）への幅広い世代の参加」が市全体の傾向と比べ著しく少ない。

居住年数別にみると、1年未満で「積極的な情報発信（SNS、ホームページ、地区回覧、広報、ポスター等）」が最も多い。このほか、市全体の傾向と比べ1年未満で「地域住民一人一人の「自分事」意識」、1～4年で「将来を見据えた地域のリーダーとなる人材育成」が著しく少ない。

単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	8
		活動拠点（場所）の設置	地域住民や地域団体と行政の協力体制	将来を見据えた地域のリーダーとなる人材育成	地域住民一人一人の「自分事」意識	地域活動（イベント含む）への幅広い世代の参加	等） ページ、地区回覧、広報、ポスター	積極的な情報発信（SNS、ホームページ、地区回覧、広報、ポスター	行政のリーダーシップ
合計	2,329	26.3	39.9	25.9	31.9	29.1	27.1	27.5	3.4
性別									
男性	885	26.2	40.5	28.2	30.8	29.0	23.6	32.8	4.5
女性	1,009	25.9	39.5	23.1	32.4	28.8	30.9	24.3	2.9
回答しない	20	50.0	50.0	15.0	10.0	20.0	45.0	25.0	0.0
年齢別									
18～19歳	30	30.0	26.7	23.3	30.0	33.3	30.0	33.3	6.7
20～29歳	151	23.2	41.1	15.9	26.5	30.5	30.5	26.5	4.6
30～39歳	241	29.9	31.5	19.1	33.2	26.6	35.7	28.2	3.3
40～49歳	360	30.3	34.7	23.3	29.7	27.5	25.0	30.8	4.2
50～59歳	437	29.1	39.4	22.4	30.2	22.9	30.7	28.4	4.1
60～69歳	450	22.2	42.4	26.7	34.7	27.6	25.3	24.2	4.0
70歳以上	638	24.3	44.4	34.2	32.9	35.4	23.5	26.5	1.6
居住地域別									
高陵	150	26.0	36.7	18.0	36.0	22.0	30.0	30.7	7.3
高岡西部	197	31.5	47.2	21.8	32.5	25.4	25.9	29.4	3.6
南星	311	30.2	34.7	28.6	30.9	33.4	26.0	28.0	3.2
志貴野	328	27.1	42.1	25.3	31.7	30.2	29.0	26.2	1.8
芳野	412	26.0	35.0	29.4	29.9	25.5	26.0	31.1	3.2
伏木	173	22.0	51.4	23.1	32.4	35.3	30.1	28.3	1.2
国吉	49	22.4	40.8	32.7	36.7	16.3	20.4	26.5	2.0
牧野	131	29.0	44.3	19.1	31.3	26.7	29.0	27.5	3.1
五位	138	20.3	42.0	27.5	36.2	27.5	22.5	18.1	3.6
戸出	178	16.9	37.1	25.8	32.6	29.2	25.3	28.1	7.3
中田	74	28.4	31.1	40.5	32.4	29.7	32.4	27.0	4.1
福岡	168	27.4	38.7	23.8	29.2	35.7	31.5	22.6	2.4
居住年数別									
1年未満	73	35.6	32.9	26.0	19.2	24.7	41.1	27.4	2.7
1～4年	211	28.4	35.5	14.7	27.5	28.9	31.8	34.1	4.3
5～9年	228	23.2	37.3	21.9	33.8	25.0	29.8	29.8	3.9
10～19年	402	29.9	38.8	25.9	29.4	24.6	23.9	29.9	3.7
20年以上	1,393	25.0	41.6	28.1	33.7	31.2	26.3	25.5	3.2

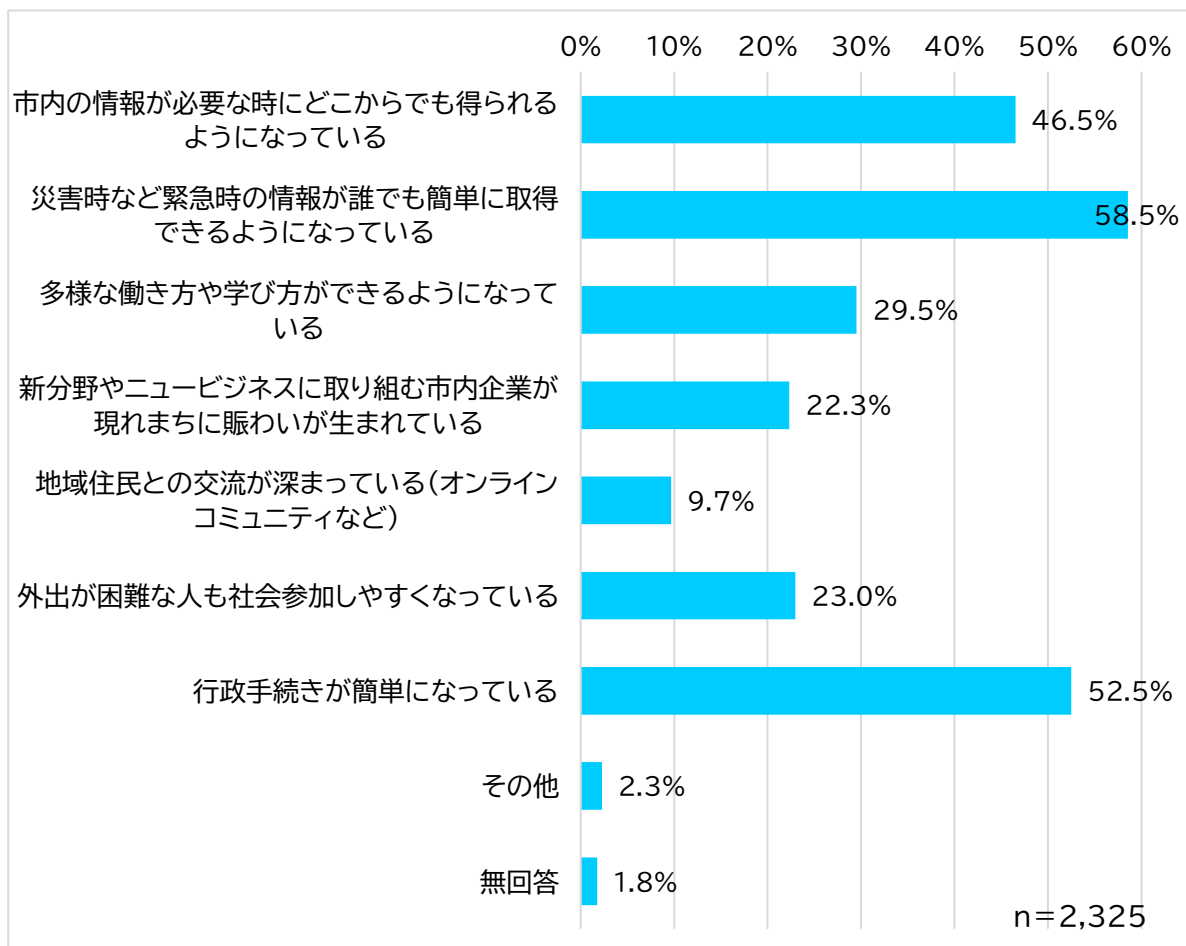
問9：デジタル化について

■問9（1） 人口減少に伴う社会問題等の解決には、デジタルを最大限に活用することが不可欠とされています。

デジタル化が進むことで、10年後、高岡市の暮らしはどのようになっていることが望ましいと考えますか。

次のうちあてはまるものを**3つ以内**で選んで番号に○印をつけてください。

デジタル化の推進によって10年後、高岡市の暮らしがどのようになっていることが望ましいかについては、「災害時など緊急時の情報が誰でも簡単に取得できるようになっている」が58.5%と最も多く、次いで「行政手続きが簡単になっている」が52.5%、「市内の情報が必要な時にどこからでも得られるようになっている」が46.5%となっている。



■問9（1）デジタル化の推進による望ましい暮らし×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のほとんどの項目で「災害時など緊急時の情報が誰でも簡単に取得できるようになっている」が最も多い。「行政手続きが簡単になっている」が最も多いのは、年齢別では30代、50代、居住地域別では高陵校区、芳野校区、居住年数別では5～9年となっている。

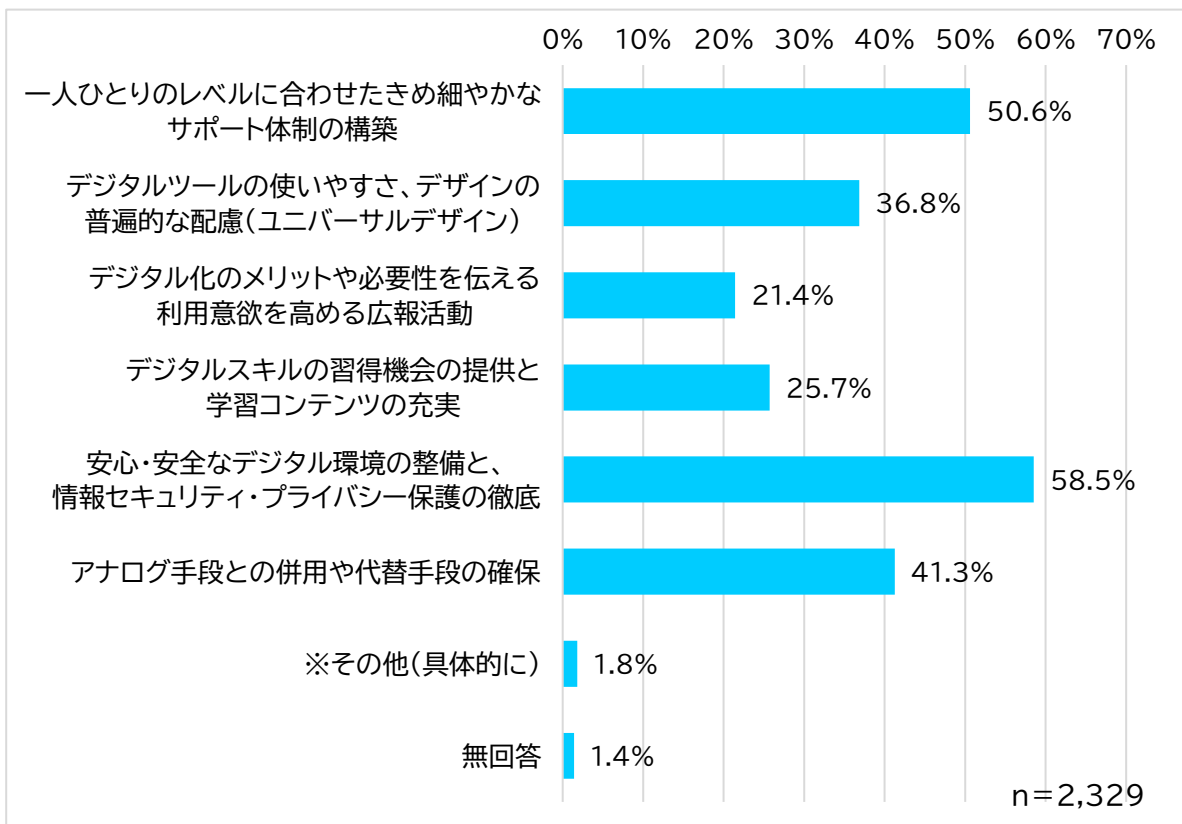
居住地域別にみると、市全体の傾向と比べ中田校区で「市内の情報が必要な時にどこからでも得られるようになっている」が著しく少ない。一方、国吉校区で「多様な働き方や学び方ができるようになっている」が市全体の傾向と比べ著しく多い。

居住年数別にみると、市全体の傾向と比べ1年未満で「多様な働き方や学び方ができるようになっている」が著しく多く、「外出が困難な人も社会参加しやすくなっている」が著しく少ない。

単位：%		n		1	2	3	4	5	6	7	8
		も得られるようになっている	市内の情報が必要な時にどこからでも簡単に取得できるようになっている	災害時など緊急時の情報が誰でも簡単に取得できるようになっている	多様な働き方や学び方ができるようになっている	様々な働き方や学び方ができるようになっている	新分野やニュービジネスに取り組む市内企業が現れまちに賑わいが生まれている	地域住民との交流が深まっている（オンラインコミュニティなど）	外出が困難な人も社会参加しやすくなっている	行政手続きが簡単になっている	その他
合計	2,325	46.5	58.5	29.5	22.3	9.7	23.0	52.5	2.3		
性別	男性	885	48.5	53.4	31.0	25.3	11.5	16.9	52.9	2.9	
	女性	1,009	46.0	64.0	28.4	19.1	8.1	26.9	54.3	1.4	
	回答しない	20	45.0	60.0	20.0	5.0	10.0	30.0	75.0	0.0	
年齢別	18～19歳	30	56.7	66.7	40.0	16.7	3.3	13.3	60.0	0.0	
	20～29歳	151	50.3	62.9	37.1	21.2	9.3	15.9	45.7	1.3	
	30～39歳	241	44.0	58.1	37.8	22.4	8.3	13.3	58.5	3.7	
	40～49歳	360	47.5	59.7	31.4	26.1	6.1	20.8	54.2	1.4	
	50～59歳	437	47.1	56.3	28.6	21.1	8.7	22.0	58.8	2.7	
	60～69歳	450	48.9	59.3	27.1	20.2	10.2	26.0	51.3	2.7	
	70歳以上	638	43.4	56.9	25.1	22.3	12.5	28.2	46.7	1.7	
居住地域別	高陵	150	46.7	48.7	30.0	28.0	8.7	20.0	49.3	3.3	
	高岡西部	197	50.3	62.9	26.9	23.4	7.6	22.8	52.8	1.5	
	南星	311	52.4	58.8	28.6	20.6	8.7	21.5	51.4	2.3	
	志貴野	328	47.3	54.9	35.4	26.2	7.9	22.6	49.7	0.9	
	芳野	412	45.9	58.5	24.0	22.1	11.7	23.3	58.5	2.2	
	伏木	173	45.7	58.4	32.9	27.2	7.5	30.1	48.0	1.2	
	国吉	49	55.1	55.1	40.8	20.4	8.2	18.4	51.0	0.0	
	牧野	131	49.6	60.3	28.2	13.7	14.5	19.8	51.9	0.8	
	五位	138	43.5	60.9	31.2	16.7	9.4	18.8	50.0	2.2	
	戸出	178	41.0	55.6	28.1	22.5	7.9	23.6	51.7	6.7	
中田	74	31.1	58.1	25.7	24.3	12.2	29.7	55.4	5.4		
福岡	168	42.3	66.1	31.5	16.1	12.5	25.0	53.6	1.2		
居住年数別	1年未満	73	39.7	53.4	46.6	31.5	6.8	12.3	46.6	0.0	
	1～4年	211	55.0	58.8	28.0	20.9	11.8	16.6	58.3	2.4	
	5～9年	228	49.6	57.5	35.1	20.6	7.0	21.1	59.2	1.8	
	10～19年	402	45.0	61.7	30.6	23.4	6.5	21.6	50.0	1.0	
	20年以上	1,393	45.4	58.1	27.5	21.9	10.7	25.1	51.5	2.7	

■問9（2） デジタル化を推進するにあたり、どのようなことが重要だと思いますか。次のうちあてはまるものを3つ以内で選んで番号に○印をつけてください。

デジタル化の推進にあたり重要だと思うことについては、「安心・安全なデジタル環境の整備と、情報セキュリティ・プライバシー保護の徹底」が58.5%と最も多く、次いで「一人ひとりのレベルに合わせたきめ細やかなサポート体制の構築」が50.6%、「アナログ手段との併用や代替手段の確保」が41.3%となっている。



■問9（2）デジタル化の推進にあたり重要なこと×性別、年齢別、居住地域別、居住年数別

性別、年齢別、居住地域別、居住年数別のほぼすべての項目で「安心・安全なデジタル環境の整備と、情報セキュリティ・プライバシー保護の徹底」が最も多い。「一人ひとりのレベルに合わせたきめ細やかなサポート体制の構築」が最も多いのは、年齢別では70歳以上、居住地域別では牧野校区、中田校区となっている。

年齢別にみると、「デジタルツールの使いやすさ、デザインの普遍的な配慮（ユニバーサルデザイン）」が市全体の傾向と比べ40代以下で著しく多い一方、70歳以上で著しく少ない。そのほか、30代では「一人ひとりのレベルに合わせたきめ細やかなサポート体制の構築」が著しく少ない。また、高齢になるにつれ「アナログ手段との併用や代替手段の確保」が増加する傾向もみられる。

居住地域別にみると、国吉校区で「安心・安全なデジタル環境の整備と、情報セキュリティ・プライバシー保護の徹底」が市全体の傾向と比べ著しく多く、「アナログ手段との併用や代替手段の確保」が著しく少ない。

居住年数別にみると、「デジタルツールの使いやすさ、デザインの普遍的な配慮（ユニバーサルデザイン）」が市全体の傾向と比べ1～9年で著しく多いほか、1年未満で「デジタル化のメリットや必要性を伝える利用意欲を高める広報活動」が著しく多い。一方、1～4年で「一人ひとりのレベルに合わせたきめ細やかなサポート体制の構築」が著しく少ない。

単位：%	n	1	2	3	4	5	6	7	
		やかなサポート体制の構築 一人ひとりのレベルに合わせたきめ細 やかなサポート体制の構築	イン） デジタルツールの使いやすさ、デザイ ンの普遍的な配慮（ユニバーサルデザ イン）	デジタル化のメリットや必要性を伝え る利用意欲を高める広報活動	習コンテンツの充実 デジタルスキルの習得機会の提供と学 習コンテンツの充実	の徹底 情報セキュリティ・プライバシー保護 の徹底	保 アナログ手段との併用や代替手段の確 保	その他	
合計	2,329	50.6	36.8	21.4	25.7	58.5	41.3	1.8	
性別	男性	885	47.8	41.4	25.2	27.7	55.1	36.3	2.6
	女性	1,009	51.6	35.5	20.5	23.9	62.0	44.3	1.0
	回答しない	20	45.0	40.0	5.0	20.0	70.0	55.0	0.0
年齢別	18～19歳	30	43.3	50.0	23.3	50.0	53.3	13.3	0.0
	20～29歳	151	41.7	51.0	23.2	27.2	57.6	33.1	0.7
	30～39歳	241	34.0	56.0	22.0	26.6	58.5	33.2	2.1
	40～49歳	360	43.3	51.1	20.8	25.3	59.2	38.6	1.7
	50～59歳	437	51.0	42.1	22.0	23.3	62.2	43.9	1.4
	60～69歳	450	55.6	31.3	19.6	24.2	58.7	44.0	2.9
	70歳以上	638	59.9	18.0	22.1	26.5	56.1	44.8	1.6
居住地別	高陵	150	45.3	41.3	18.0	27.3	58.0	47.3	2.7
	高岡西部	197	52.8	38.1	18.3	26.4	56.9	48.2	1.5
	南星	311	46.6	38.9	23.5	25.7	57.6	43.1	3.2
	志貴野	328	52.4	33.5	22.3	27.4	55.8	40.9	0.6
	芳野	412	46.4	38.1	20.9	24.5	64.1	42.0	1.5
	伏木	173	55.5	41.0	20.2	30.6	60.7	43.9	0.6
	国吉	49	57.1	38.8	22.4	22.4	69.4	26.5	0.0
	牧野	131	57.3	32.1	21.4	29.0	49.6	38.2	0.8
	五位	138	50.0	29.7	24.6	23.2	56.5	31.9	2.2
	戸出	178	48.9	37.1	19.7	20.2	56.2	37.1	3.4
居住年数別	中田	74	52.7	32.4	28.4	27.0	48.6	39.2	2.7
	福岡	168	56.5	38.7	23.2	22.6	64.3	36.9	1.8
	1年未満	73	41.1	46.6	31.5	23.3	49.3	31.5	0.0
	1～4年	211	37.4	51.2	25.6	28.0	59.7	34.6	2.8
	5～9年	228	49.6	49.1	18.4	24.1	59.6	40.4	0.9
	10～19年	402	46.5	44.0	19.7	26.4	57.2	38.3	1.7
20年以上	1,393	54.4	30.2	21.4	25.7	59.4	43.6	1.9	